

YAMAHA
PORTATONE
PSR-330

取扱説明書

はじめに

このたびはヤマハポータートーンPSR-330をお買い求めいただき、まことにありがとうございます。
PSR-330のいろいろな機能を十分に活用するために、この取扱説明書をよくお読みになってからご使用ください。
なお、ご一読いただいたあとも、不明な点が生じた場合に備えて、保証書とともに大切に保管いただきますようお願いいたします。

安全上のご注意

ご使用の前に、必ずこの「安全上のご注意」をよくお読みください。

ここに示した注意事項は、製品を安全に正しくご使用いただき、あなたや他の人々への危害や損害を未然に防止するためのものです。注意事項は、危害や損害の大きさと切迫の程度を明示するために、誤った取り扱いをすると生じることが想定される内容を「警告」と「注意」に区分しています。いずれもお客様の安全や機器の保全に関する重要な内容ですので、必ずお守りください。お子様がご使用になる場合は、保護者の方が以下の内容をお子様にご徹底くださいますようお願い致します。

記号表示について

△記号は、危険、警告または注意を示します。

⊘記号は、禁止行為を示します。記号の中に具体的な内容が描かれているものもあります。

●記号は、行為を強制したり指示したりすることを示します。記号の中に具体的な内容が描かれているものもあります。

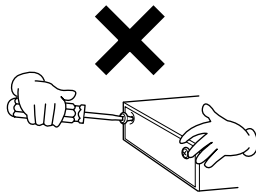
*お読みになった後は、使用される方がいつでも見られる所に必ず保管してください。

警告

この表示内容を無視した取り扱いをすると、死亡や重傷を負う可能性が想定されます。

⊘ この機器の内部を開けたり、内部の部品を分解したり改造したりしない。

感電や火災、または故障などの原因になります。異常を感じた場合など、機器の点検修理は必ずお買い上げの楽器店または巻末のヤマハ電気音響製品サービス拠点にご依頼ください。



⊘ 浴室や雨天時の屋外など湿気の多いところで使用しない。また、本体の上に花瓶や薬品など液体の入ったものを置かない。感電や火災、または故障の原因になります。

● 電源アダプターコード/プラグがいたんだ場合、または、使用中に音が出なくなったり異常なおいや煙が出た場合は、すぐに電源スイッチを切り電源プラグをコンセントから抜く。(乾電池を使用している場合は、乾電池を本体から抜く。) 感電や火災、または故障のおそれがあります。至急、お買い上げの楽器店または巻末のヤマハ電気音響製品サービス拠点に点検をご依頼ください。

● 電源は必ず交流100Vを使用する。エアコンの電源など交流200Vのものがあります。誤って接続すると、感電や火災のおそれがあります。

⊘ 電源アダプターを使用する場合は、指定の電源アダプター(PA-5, PA-5B, PA-5C)以外は使用しない。(異なった電源アダプターを使用すると故障、発熱、発火などの原因になります。)

● 手入れをするときは、必ず電源プラグをコンセントから抜く。また、濡れた手で電源プラグを抜き差ししない。感電のおそれがあります。

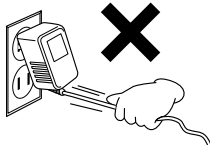
● 電源プラグにほこりが付着している場合は、ほこりをきれいに拭き取る。感電やショートのおそれがあります。

注意

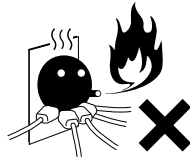
この表示内容を見逃した取り扱いをすると、傷害を負う可能性または物的損害が発生する可能性が想定されます。

⊘ 電源アダプターコードをストーブなどの熱器具に近づけたり、無理に曲げたり、傷つけたりしない。また、電源アダプターコードに重いものをのせない。
電源アダプターコードが破損し、感電や火災の原因になります。

❗ 電源プラグを抜くときは、電源アダプターコードを持たずに、必ず電源プラグを持って引き抜く。
電源アダプターコードが破損して、感電や火災が発生するおそれがあります。



⊘ タコ足配線をしない。
音質が劣化したり、コンセント部が異常発熱して発火したりすることがあります。



❗ 使用しないときや落雷のおそれがあるときは、必ずコンセントから電源プラグを抜く。
感電、ショート、発火などの原因になります。

❗ 乾電池はすべて+/-の極性表示通りに正しく入れる。
正しく入れていない場合、発熱、発火、液漏れのするおそれがあります。

⊘ 乾電池は一度に全部を交換する。乾電池は新しいものと古いものを一緒に使用しない。また、種類の異なったもの(アルカリとマンガン、メーカーの異なるもの、メーカーは同じでも商品の異なるものなど)と一緒に使用しない。
発熱、発火、液漏れの原因になります。

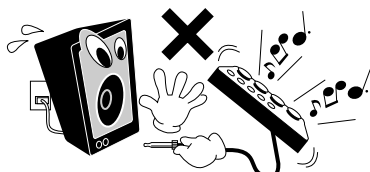
⊘ 乾電池を分解したり、火の中に入れてたりしない。
乾電池の中のものが入ると危険です。また、火の中に入れると破裂するおそれがあります。

⊘ 使い切りタイプの乾電池は、充電しない。
充電すると液漏れや破裂の原因になります。

❗ 長時間使用しない場合は、乾電池を本体から抜いておく。
乾電池が消耗し、乾電池から液漏れが発生し、本体を損傷するおそれがあります。

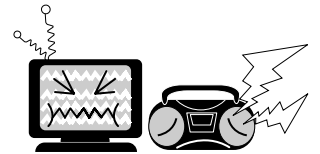
⊘ 乾電池は子供の手の届くところに置かない。
お子様が誤って飲み込むおそれがあります。また、電池の液漏れなどにより炎症を起こすおそれがあります。

❗ 他の機器と接続する場合は、すべての機器の電源を切った上で行う。また、電源を入れたり切ったりする前に、必ず機器のボリュームを最小(0)にする。
感電または機器の損傷のおそれがあります。



⊘ 直射日光のあたる場所(日中の車内など)やストーブの近くなど極端に温度が高くなる場所、逆に温度が極端に低い場所、またほこりや振動の多いところで使用しない。
本体のパネルが変形したり内部の部品が故障したりする原因になります。

⊘ テレビやラジオ、スピーカーなど他の電気製品の近くで使用しない。
デジタル回路を多用しているため、テレビやラジオなどに雑音が生じる場合があります。



⊘ 不安定な場所に置かない。
機器が転倒して故障したり、お客様がけがをしたりする原因になります。

❗ 本体を移動するときは、必ず電源アダプターコードなどの接続ケーブルをすべて外した上で行う。
コードをいためたり、お客様が転倒したりするおそれがあります。

⊘ 本体を手入れするときは、ベンジンやシンナー、洗剤、化学ぞうきんなどは絶対に使用しない。また、本体上にビニール製品やプラスチック製品などを置かない。
本体のパネルや鍵盤が変色/変質の原因になります。お手入れは、柔らかい布で乾拭きしてください。

⊘ 本体の上に乗ったり重いものをのせたりしない。また、ボタンやスイッチ、入出力端子などに無理な力を加えない。
本体が破損したり、お客様がけがをしたりする原因になります。

⊘ 指定のスタンド以外は使用しない。また、取り付けには必ず付属のネジを使用する。
本体が転倒し破損したり、内部の部品を傷つけたりする原因になります。

⊘ 大きな音量で長時間ヘッドフォンを使用しない。
聴覚障害の原因になります。



作成したデータの保存について

❗ 作成したデータは、故障や誤操作などのために失われることがあります。大切なデータはヤマハMIDIデータファイラーMDF2などの外部機器に保存されることをおすすめします。

不適切な使用や改造により故障した場合の保証はいたしかねます。また、データが破損したり失われたりした場合の保証はいたしかねますので、ご了承ください。

使用後は、必ず電源を切りましょう。

また、使用済みの乾電池は、各自治体で決められたルールに従って廃棄しましょう。

特長



微妙なニュアンスを表現できるタッチレス
スポンス付61鍵キーボード(31ページ参照)



高音質、バラエティ豊かなGM拡張パ
ネルボイス(126ボイス+ 10ドラムキット)+
GMボイス(128ボイス] 最大同時発音数31
音]



パネルボイスを選んだ時に、各ボイスに
最適なデュアルボイスやスプリットボイスなど
が自動的にセットされるボイスセット機能
(38ページ参照)



いろいろな音楽ジャンルの演奏が楽しめ
る100スタイルのオートアカンパニメント(自
動伴奏機能)(19ページ参照)



各スタイルに最適なパネル設定(ボイス
など)をボタンひとつで呼び出せるワンタッチ
セッティング機能(26ページ参照)



パネルの設定状況を一目で確認できる大
型ディスプレイ



ディスプレイ下のトラックボタンなど、
機能的なボタン配置による簡単操作



パネル設定(ボイス・スタイルなどの設
定)を記憶させ、演奏中もワンタッチで呼び出
せるレジストレーションメモリー機能(メモ
リーされたボイスデータだけを呼びだせるフ
リーズ機能付)(44ページ参照)



カラオケのようにパート練習できるマイ
ナスワン再生と、反復練習に最適なりピート再
生の2種類の練習機能(52, 54ページ参照)



演奏に効果的なデジタルエフェクト(リ
バース/ハーモニー)機能(27ページ参照)



アカンパニメント1トラック+メロディ
4トラック、合計5トラックに録音/再生できる
ソング機能(49, 58ページ参照)



プリセットされたアドリブやソロ演奏
を、ワンタッチで演奏できるマルチパッド
(コードに応じて音程が変化するコードマッチ
機能付)(47ページ参照)



ソングバリエーションを充実させる
ミュージックカートリッジが使用できるカール
リッジスロット付(56ページ参照)



音楽表現の可能性を広げるMIDI機能
(GMシステム・レベル1対応)(66ページ参
照)

音楽を楽しむエチケット



これは、日本電子機械工業会
「音のエチケット」キャンペ
ーンのマークです。

楽しい音楽も時と場所によっては気になるものです。隣り近所への配慮(おみやり)を十分にいたしましょう。静かな夜間には小さな音でもよく通り、特に低音は床や壁などを伝わりやすく、思わぬところで迷惑をかけてしまうことがあります。夜間の演奏には特に気を配りましょう。窓を締めたり、ヘッドフォンをご使用になるのも一つの方法です。お互いに心を配り、快い生活環境を守りましょう。

目次

演奏をはじめる前に	4	ボイスデータを変更しましょう(リボイス)	39
電源の準備をする	4	リボイスって何?	39
演奏の準備をする	5	ボイスのリボイス(R1/R2/Lボイスのボイスパラメーターの変更).....	40
各部の名称	6	スタイルのリボイス (各アカンパニメントトラックのボイスパラメーターの変更).....	42
同梱品	7	ソングのリボイス	43
デモソングを鳴らしましょう	8	パネルの設定を記憶させましょう(レジストレーションメモリー)	44
電源を入れる	8	レジストレーションを記憶する	44
音量を調整する	8	レジストレーションを呼び出す	46
デモソングをスタートする	9	ボイスデータだけを呼び出す(フリーズ機能).....	46
デモソングをストップする	9	パッドを鳴らしましょう(マルチパッド)	47
ディスプレイの基本的な操作方法を覚えましょう	10	マルチパッドを鳴らす	47
ディスプレイの表示(アイコン)について	10	コード変更に合わせてパッド演奏を移調する(コードマッチ)....	48
メニューの操作	12	ソングを鳴らしましょう(ソング)	49
ボイス(音色)を選んで演奏しましょう	14	ソングを鳴らす(デモソング・ユーザーソング).....	49
ボイスを選ぶ	14	ソングの音量を変更する(ソングボリューム).....	50
R1/R2/Lボイスって何?	16	曲の途中から再生する(ソングメジャー)	51
2つのボイスを同時に鳴らす(デュアルボイスモード).....	17	カラオケのように練習する(マイナスイオン再生).....	52
右手と左手で別々のボイスを鳴らす(スプリットボイスモード).....	17	マイナスイオンするチャンネルをトラックにアサインする	53
鍵盤で打楽器音を鳴らす(キーボードパーカッション).....	18	一部分を繰り返し演奏する(リピート再生).....	54
自動伴奏を鳴らしながら演奏しましょう(オートアカンパニメント)	19	ミュージックカートリッジのソングを鳴らす	56
オートアカンパニメント(自動伴奏)って何?	19	ミュージックカートリッジの挿入方法	56
オートアカンパニメント(自動伴奏)を鳴らす	20	ミュージックカートリッジ、 およびカートリッジスロット取扱上の注意	56
テンポの変更	22	録音しましょう	58
ビートランプについて	23	録音モードでできること	59
アカンパニメントセクションについて	23	ソングを録音する(ユーザーソング)	59
アカンパニメントトラックの構成	24	リハーサルモードについて	60
シンクロストップ機能	25	ソングデータのクリア	62
アカンパニメントの音量を変更する(アカンパニメントボリューム).....	25	ソングのボイスデータを書き替える(ユーザーソングのリボイス).....	64
スタイルに合ったパネル設定をワンタッチで 呼び出しましょう(ワンタッチセッティング)	26	MIDI機器を接続して演奏しましょう	66
ワンタッチセッティングを呼び出す	26	MIDIって何?	66
演奏に効果をかけましょう(デジタルエフェクト)	27	MIDI端子について	66
リバーブ効果をかける	27	外部機器にMIDIデータを送信する(MIDI送信設定).....	67
リバーブの種類を選ぶ	27	外部機器からMIDIデータを受信する(MIDI受信設定).....	68
ハーモニー効果をかける	28	その他のMIDI設定について	70
ハーモニーの種類を選ぶ	28	ローカルオン/オフ設定	70
ハーモニーの音量を変更する(ハーモニーボリューム).....	29	クロックの設定	70
全体のコントロールをしましょう	30	バルクダンプ送信/バルクダンプ受信	71
音程を変更する(トランスポーズ).....	30	PSR-330のパネル設定を送信する(イニシャルセンド)....	72
鍵盤タッチの感度を変更する(タッチセンス).....	31	資料	
楽器全体の音程を微調整する(チューニング).....	31	故障かな?と思ったら	73
鍵盤ごとの音程を調整する(スケールチューニング).....	32	ボイスリスト	74
メトロノームを鳴らす(メトロノーム).....	33	マルチパッドセットリスト	77
LボイスとRボイスの鍵域を変更する (スプリットボイスモードのスプリットポイント).....	33	ドラムキットリスト	78
アカンパニメント鍵域を変更する (オートアカンパニメントのスプリットポイント).....	34	MIDIインプリメンテーションチャート	80
2つのスプリットポイントについて	34	MIDIデータフォーマット	82
コード検出方法を変更する(フィンガリングモード).....	35	バックアップ/初期化(イニシャライズ)の方法	83
シングルフィンガー(SF).....	35	オプション商品のご紹介	83
フィンガード1(F1).....	36	インデックス	84
フィンガード2(F2).....	37	PSR-330仕様	86
フルキーボード(FuL).....	37	保証とアフターサービス	87
マルチフィンガー(MuL).....	38		
ボイスセットを活用する(ボイスセット).....	38		

演奏をはじめる前に

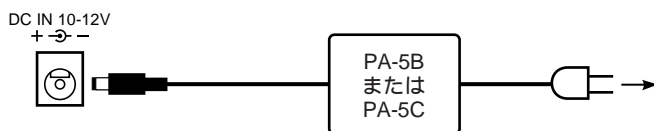
電源の準備をする

PSR-330は電源として電源アダプターか乾電池をご使用になれますが、基本的には付属の電源アダプターをご使用になることをおすすめします。

家庭用コンセントから電源をとるときは

付属の電源アダプターPA-5BまたはPA-5Cをご使用ください。

- 1 アダプターのACプラグを家庭用(AC100V)コンセントにさし込みます。
- 2 アダプターのDCプラグをリアパネルのDC IN 10-12V(電源アダプター接続)端子にさし込みます。



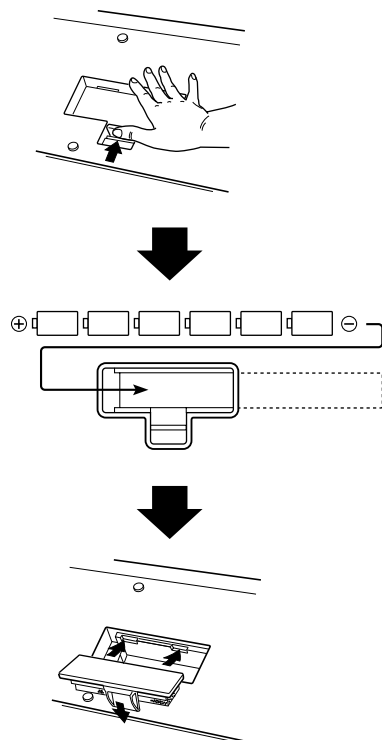
アダプターを抜くときは、必ず逆の手順(DCプラグを先に抜く)で行ってください。

⊘ 電源アダプターをご使用になる場合は、必ず付属の専用アダプターPA-5BまたはPA-5Cをご使用ください。他の電源アダプターの使用は故障、発熱、発火などの原因になります。このような場合は、保証期間内でも保証いたしかねる場合がございますので、充分にご注意ください。

! 使用しないときや落雷の恐れがあるときは、必ずコンセントから電源プラグを抜いてください。

乾電池を使うときは

- 1 PSR-330を柔らかい布などの上で裏返し、電池ブタをはずします。
- 2 市販の乾電池(単1乾電池)を6本入れます。イラストに合わせて、向きを間違えないように入れてください。
- 3 電池ブタを閉めます。



乾電池はお早めにお取りかえいただくことをおすすめします。電池が少なくなると、音量が小さくなったり、音質が劣化したりディスプレイの表示が消えたりします。このようなときは、以下のことに注意して乾電池を交換してください。

! 乾電池はすべて+/-の極性表示どおりに正しく入れてください。正しく入れていない場合、発熱、発火、液漏れのおそれがあります。

⊘ 乾電池は一度に全部を交換してください。乾電池は新しいものと古いものを一緒に使用しないでください。また、種類の異なったもの(アルカリとマンガン、メーカーの異なるもの、メーカーは同じでも商品が異なるものなど)を一緒に使用しないでください。発熱、発火、液漏れの原因になります。

! 長時間使用しない場合は、乾電池を本体から抜いてください。乾電池が消耗し、乾電池から液漏れが発生し、本体を損傷するおそれがあります。

メモ

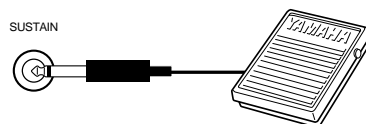
乾電池が入っていても、電源アダプターが接続されると、自動的に電源アダプターから電源が供給されるようになります。

演奏の準備をする

サステインペダル端子 (SUSTAIN端子)

サステインとは、押鍵音に余韻を付け加える機能です。

SUSTAIN端子にフットスイッチ(FC4またはFC5：別売)を接続すると、サステインのオン/オフ操作をフットスイッチで行えます。



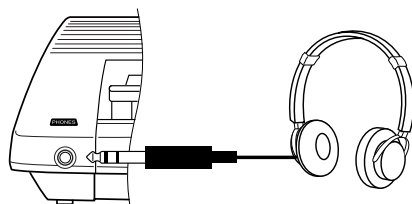
メモ

フットスイッチの抜き差しは電源を切った状態で行ないましょう。

フットスイッチを踏みながら電源を入れると、フットスイッチのオン/オフが逆になります。

ヘッドフォン端子 (PHONES端子)

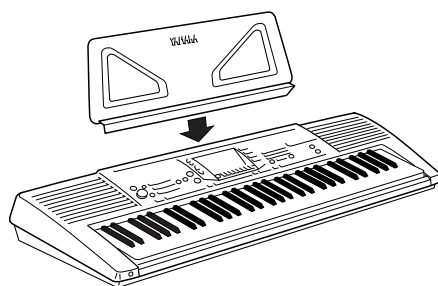
ヘッドフォンを使用する場合は、この端子に接続します。接続すると同時に、PSR-330のスピーカーからは音が出なくなります。



大きな音量で長時間ヘッドフォンを使用しないでください。聴覚障害の原因になります。

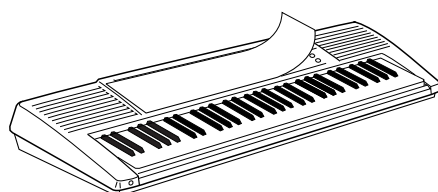
譜面立て

楽譜を見ながら演奏する場合は、付属の譜面立てを利用すると便利です。譜面立ての下の部分をPSR-330のパネル上のスロットに差し込んでください。



和文シート

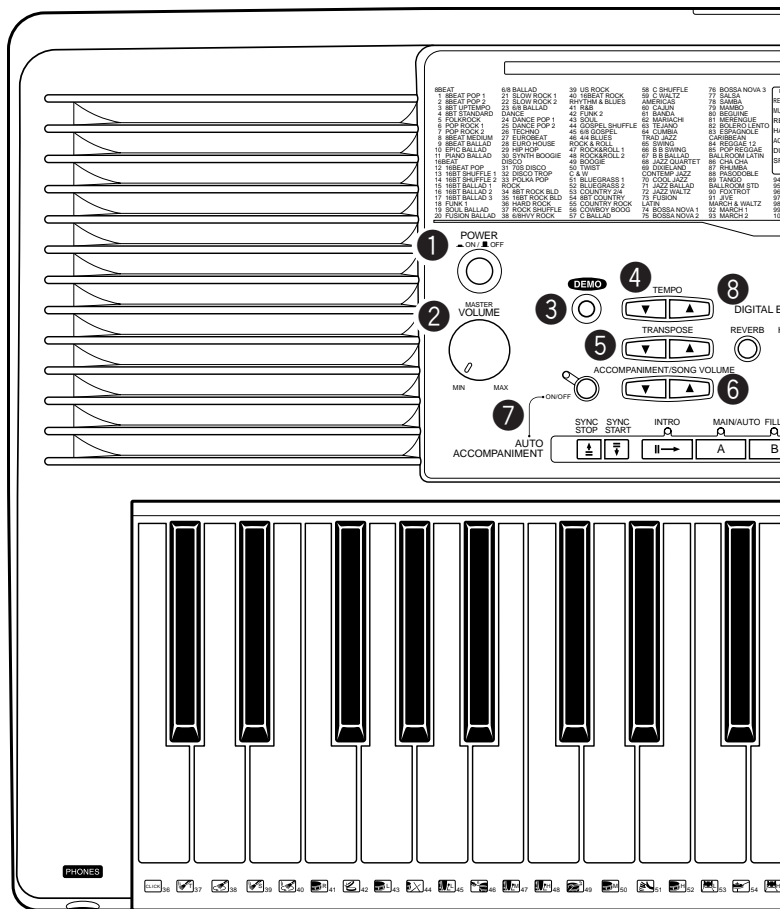
PSR-330のパネルは英語で表記されています。この取扱説明書の操作説明は英語表記を使用しますが、付属の和文シートをパネルにのせてご利用になることもできます。和文シートは粘着式になっていますので、パネル面に貼り付けることもできます。



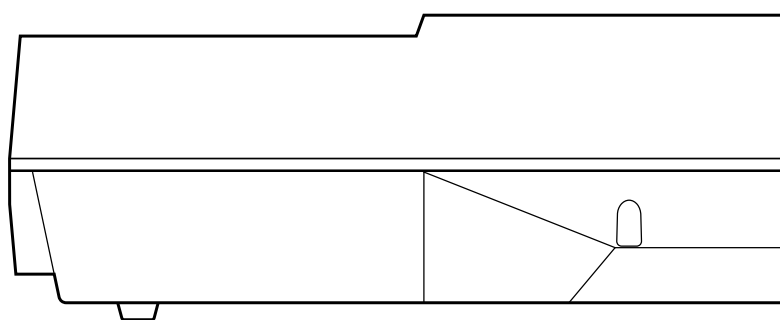
各部の名称

フロントパネル

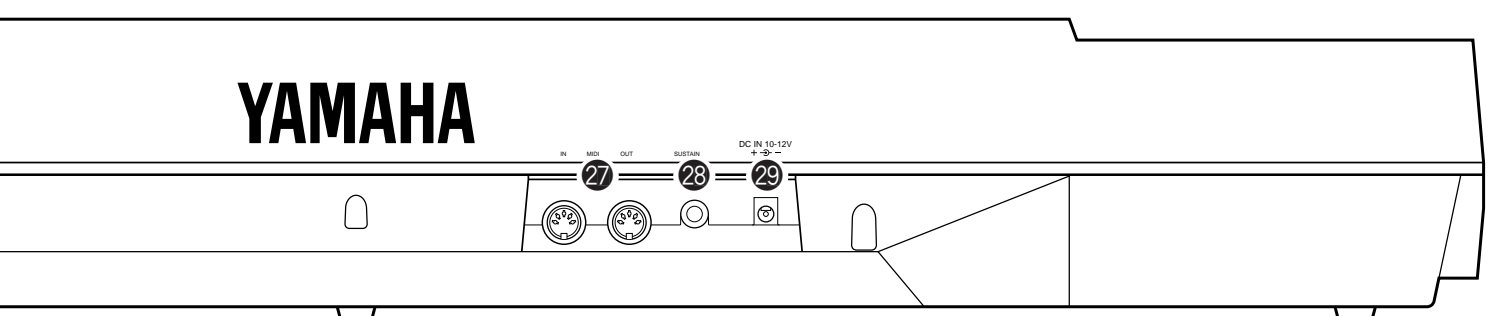
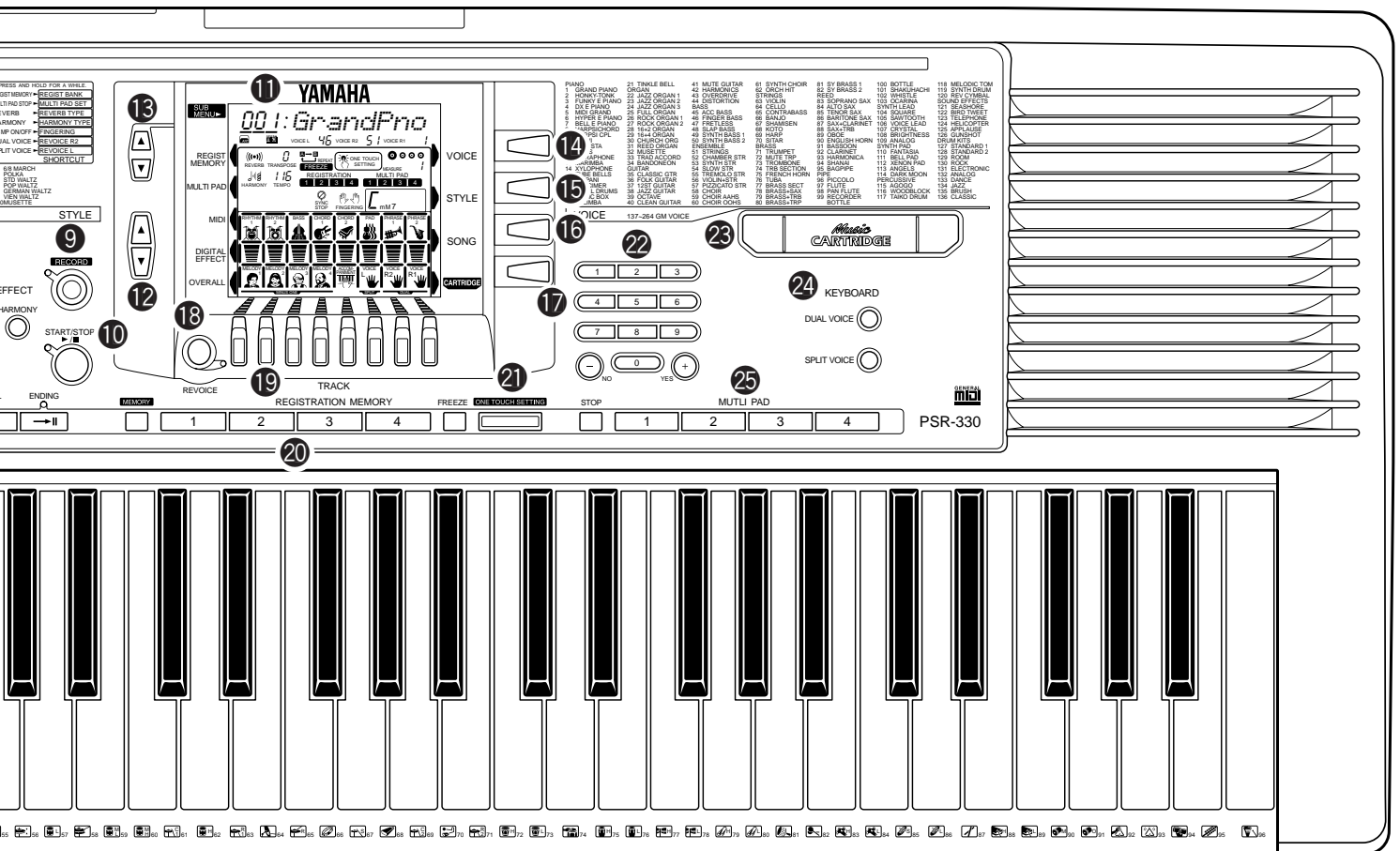
- ① POWER ON/OFF(電源オン/オフ)スイッチ 8
- ② MASTER VOLUME(マスターボリューム)コントロール 8
- ③ DEMO(デモ)ボタン 9
- ④ TEMPO (テンポ)ボタン 22
- ⑤ TRANPOSE (トランスポーズ)ボタン 30
- ⑥ ACCOMPANIMENT/SONG VOLUME (アカンパニメント/ソングボリューム)ボタン 25, 50
- ⑦ AUTO ACCOMPANIMENT(オートアカンパニメント)部
 AUTO ACCOMPANIMENT ON/OFF (オートアカンパニメントオン/オフ)ボタン 20
 SYNC STOP(シンクロストップ)ボタン 25
 SYNC START(シンクロスタート)ボタン 21
 INTRO(イントロ)ボタン 21
 MAIN/AUTO FILL A, B (メイン/オートフィルA, B)ボタン 23
 ENDING(エンディング)ボタン 22
- ⑧ DIGITAL EFFECT(デジタルエフェクト)部
 REVERB(リバーブ)ボタン 27
 HARMONY(ハーモニー)ボタン 28
- ⑨ RECORD(録音)ボタン 59
- ⑩ START/STOP(スタート/ストップ)ボタン 21, 22
- ⑪ ディスプレイ 10
- ⑫ MENU (メニュー)ボタン 12
- ⑬ SUB MENU (サブメニュー)ボタン 12
- ⑭ VOICE(ボイス)ボタン 12, 14
- ⑮ STYLE(スタイル)ボタン 12, 20
- ⑯ SONG(ソング)ボタン 12, 49
- ⑰ CARTRIDGE(カートリッジ)ボタン 12, 57
- ⑱ REVOICE(リボイス)ボタン 40
- ⑲ TRACK(トラック)ボタン 17, 24, 52
- ⑳ REGISTRATION MEMORY (レジストレーションメモリー)部
 MEMORY(メモリー)ボタン 45
 1~4ボタン 26, 45
 FREEZE(フリーズ)ボタン 46
- ㉑ ONE TOUCH SETTING (ワンタッチセッティング)ボタン 26
- ㉒ ナンバーボタン[1]~[0]
 [+ YES][- NO]ボタン 12



26



- ㉓ Music CARTRIDGE (ミュージックカートリッジ挿入口) 56
- ㉔ KEYBOARD(キーボード)部
 DUAL VOICE(デュアルボイス)ボタン 17
 SPLIT VOICE(スプリットボイス)ボタン 17
- ㉕ MULTI PAD(マルチパッド)部
 STOP(ストップ)ボタン 48
 1~4ボタン 48
- ㉖ PHONES(ヘッドフォン)端子 5



リアパネル

- 27 MIDI IN/OUT端子 66
- 28 SUSTAIN(サステイン)端子 5
- 29 DC IN 10-12V(電源アダプター接続)端子 4

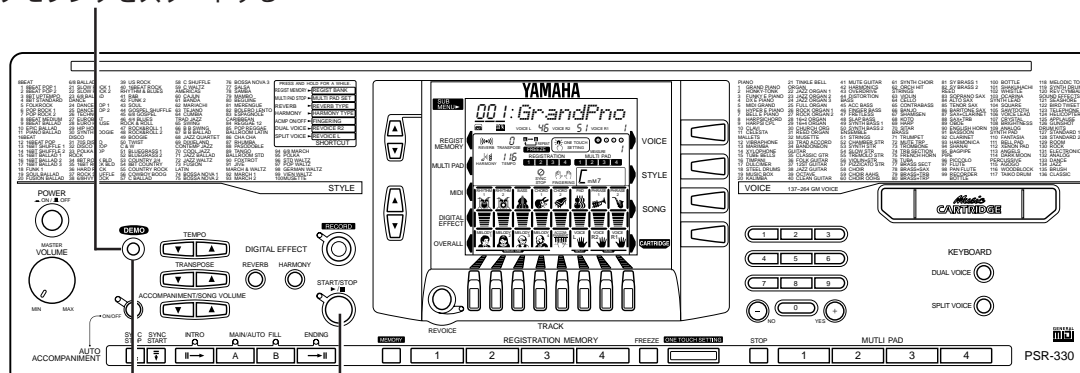
同梱品

- 取扱説明書
- 保証書
- 電源アダプター(PA-5BまたはPA-5C)
- 譜面立て
- 和文シート
- ミュージックカートリッジ

デモソングを鳴らしましょう

PSR-330には20曲のデモソングが内蔵されています。最初にデモソングを鳴らしてみましょう。

デモソングをスタートする



デモソングをストップする

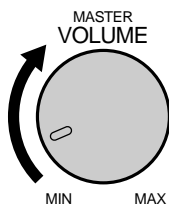
電源を入れる

POWER ON/OFF (電源オン/オフ)スイッチを押して電源を入れます。もう一度押すと電源が切れます。



音量を調整する

全体の音量は、MASTER VOLUME(マスターボリューム)コントロールで調整します。鍵盤を弾きながらMASTER VOLUMEコントロールを回して、適度な音量になるように調整します。



デモソングをスタートする

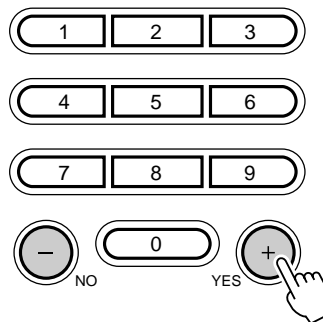
DEMOボタンを押すと、デモソングが1曲目から順番に演奏されます。この時、ディスプレイの最上段にはデモソングのソングナンバー(曲番号)とソング名(曲名)が表示されます。



01: DancePop

デモソングの演奏中に[+] [-] ボタンを押して、ソングナンバーを変更すると、変更したソングナンバーの演奏になります。

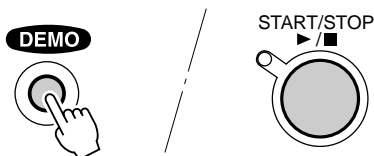
02: W_Rock



デモソングをストップする

もう一度DEMOボタンを押す、またはSTART/STOPボタンを押すと、デモソングの演奏はストップします。

デモソングはストップするまで、順番に何度も繰り返し演奏されます。



メモ

デモソングをストップし、START/STOPボタンを押してデモソングをスタートした場合、デモソングの再生は、その曲の演奏が終わると自動的にストップします。

PSR-330のアカンパニメントスタイルを使ったデモソングを再生すると、再生データに従ってコード名がディスプレイに表示されます。

デモソングの演奏が始まると、ディスプレイは「SONG」メニューに変わります。

ディスプレイの基本的な操作方法を覚えましょう

PSR-330は、各機能の設定状況や、メニューやサブメニューの設定状況を、フロントパネル中央のディスプレイに表示します。

ここでは、基本的な操作方法とディスプレイのアイコン(絵記号)の意味を覚えましょう。

ディスプレイの表示(アイコン)について



カートリッジ

ミュージックカートリッジのソングが選ばれた時に表示されます。(57ページ参照)



GENERAL MIDI

GMボイスを選ぶと表示されます。(14ページ参照)

VOICE L 46 VOICE R2 51 VOICE R1 1

ボイスナンバー(VOICE R1/VOICE R2/VOICE L)

R1ボイス(14ページ参照) R2ボイス(16ページ参照) Lボイス(16ページ参照)に選ばれているボイスナンバーを表示します。



リバーブ(REVERB)

リバーブのオン/オフを表示します。(27ページ参照)



ハーモニー(HARMONY)

ハーモニーのオン/オフを表示します。(28ページ参照)



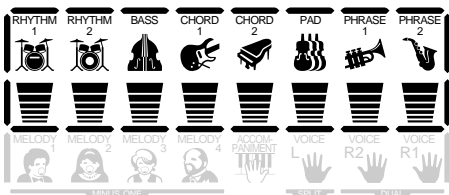
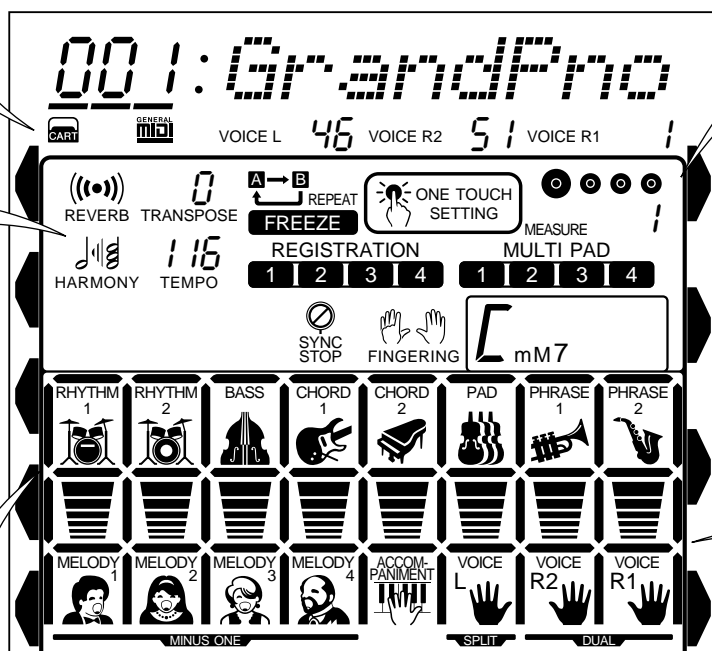
トランスポーズ(TRANPOSE)

鍵盤演奏、オートアカンパニメント、ソングの音程を表示します。(30ページ参照)



テンポ(TEMPO)

アカンパニメントやソングなどのテンポを表示します。(22ページ参照)



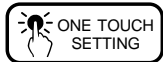
スタイル演奏時のディスプレイ表示

アカンパニメントトラック
(ACCOMPANIMENT TRACK)

8つのアカンパニメントトラックそれぞれのトラックオン/オフ、ボリューム/ペロシティ設定を表示します。また、リボイスモードではリボイストラックを表示します。(24ページ参照)



リピート再生(REPEAT)
 リピート再生の設定状態(A, Bポイント)を表示します。(54ページ参照)



**ワンタッチセッティング
 (ONE TOUCH SETTING)**
 ワンタッチセッティングのオン/オフを表示します。(26ページ参照)



**レジストレーション1~4
 (REGISTRATION 1 ~ 4)**
 現在選ばれているレジストレーションナンバー(または、ワンタッチセッティングナンバー)を表示します。(26, 45ページ参照)



フリーズ(FREEZE)
 レジストレーションのフリーズオン/オフを表示します。(46ページ参照)



**マルチパッド1~4
 (MULTI PAD 1 ~ 4)**
 現在演奏中のマルチパッドナンバーを表示します。(48ページ参照)



ビート(BEAT)
 ソングやオートアカンパニメントを鳴らすと、テンポにしたがって点滅し、ビート(拍数)を表示します。(23ページ参照)



メジャー[小節] MEASURE)
 ソングの小節ナンバーを表示します。(51ページ参照)



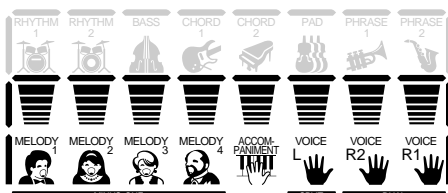
**シンクロストップ
 (SYNC STOP)**
 シンクロストップのオン/オフを表示します。(25ページ参照)



フィンガリング(FINGERING)
 選ばれているフィンガリングモードを表示します。(35ページ参照)



コード
 アカンパニメント演奏や、ソングの再生時に、コードを表示します。(21ページ参照)



ソング再生時のディスプレイ表示

**メロディ1~4トラック、アカンパニメントトラック
 (MELODY 1 ~ 4, ACCOMPANIMENT)**

5つのソングトラックそれぞれの再生のオン/オフ(52ページ「マイナスインスワン再生」参照) ボリューム/ペロシティ設定を表示します。また、録音モードでは録音トラックを、リボイスモードではリボイストラックを表示します。(40ページ参照)

鍵盤設定(VOICE R1/VOICE R2/VOICE L)

R1ボイス、R2ボイス、Lボイスのオン/オフ(デュアルボイス、スプリットボイス)、ボリューム/ペロシティ設定を表示します(17ページ)。また、リボイスモードでは、リボイスする(設定を変更する)ボイスを表示します。(40ページ参照)

メニューの操作

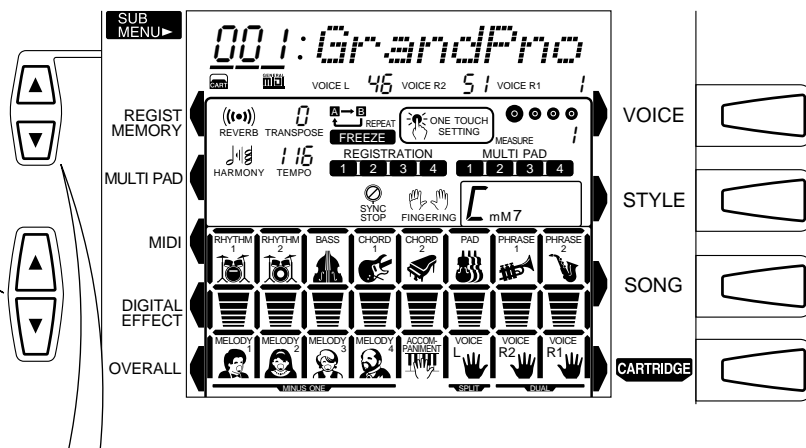
メニュー

代表的なメニューの選択(VOICE/STYLE/SONG/CARTRIDGEボタン)

ディスプレイ右のVOICE/STYLE/SONG/CARTRIDGEボタンを押すと、メニューアイコン▶が点灯し、代表的な4種類のメニュー「VOICE」STYLE」SONG」CARTRIDGE」を選ぶことができます。

その他のメニューの選択(MENU ボタン)

ディスプレイ左下のMENU ボタンを押すと、メニューアイコン◀が点灯し、ディスプレイの左側に表示されている5種類のメニュー「REGIST MEMORY」MULTI PAD」MIDI」DIGITAL EFFECT」OVERALL」を選ぶことができます。



サブメニューの選択(SUB MENU ボタン)

ディスプレイ左上のSUB MENU ボタンを押すと、メニューの中のサブメニューを選ぶことができます。

ディスプレイの最上段の右側には選ばれたメニュー/サブメニューが、左側にはそのメニュー/サブメニューの現在の設定(値)などが表示されます。

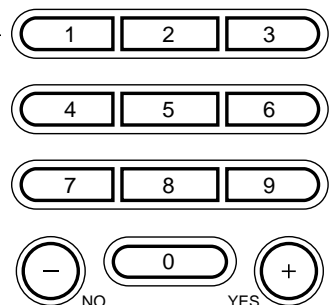
ナンバーボタン[1]~[0][+][YES][-][NO]ボタン

設定(値)の変更はナンバーボタン[1]~[0][+][-]ボタンを使用します。[+]を押すとディスプレイに表示された値が1つ増加、[-]を押すと1つ減少、長く押すと連続で増減します。

また、[+][YES][-][NO]を押してオン/オフ設定を切り替えたり、YES/NOを入力することができます。初期設定値を持つものは[+][-]ボタンを同時に押すと、初期設定値に戻ります。



ディスプレイに表示される数値には、[+]または[-]を長く押すと、スタイルナンバーのように最大値と最小値の間で循環する(...99 100 1 2 ... 2 1 100 99 ...)先のと、トランスポーズのように最大値または最小値でストップするものがあります。



[メニュー/サブメニューリスト]

メニュー	サブメニュー	内 容	参照ページ
VOICE	例) GrandFnc(R1ボイス名).....	R1ボイスの選択	14
	例) SBtPop1(スタイル名).....	アカンパニメントスタイルの選択	20
SONG	例) DancePop(ソング名).....	ソングの選択	49
	Measure	再生開始小節の設定	51
	MinusCh[MinusOne]	マイナスワンチャンネルの設定	53
	A-b : Repeat	リピート再生の設定	54
	SongClr?*	ソングクリア	63
	TrkClr?*	トラッククリア	62
CARTRIDGE	例) St_Life(ソング名).....	カートリッジソングの選択	57
REGIST MEMORY	Bank 1(バンク名)..... REGISTRATION MEMORYボタン	レジストレーションバンクの選択	45
MULTI PAD	例) Funk(マルチパッドセット名)..... MULTI PAD STOPボタン	マルチパッドセットの選択	47
	Pad1Chd	コードマッチの設定(パッド1).....	48
	Pad2Chd	コードマッチの設定(パッド2).....	48
	Pad3Chd	コードマッチの設定(パッド3).....	48
	Pad4Chd	コードマッチの設定(パッド4).....	48
MIDI	Tr. Ch	送信チャンネルの設定	67
	Tr. Trk	送信トラックの設定	68
	Rcv. Ch	受信チャンネルの設定	69
	Rcv. Mod	受信モードの設定	69
	Local	ローカルオン/オフの設定	70
	ExtClock	クロックの設定	70
	BlkSnd?	バルクダンプ送信	71
	InitSnd?	パネル設定送信(イニシャルセンド).....	72
DIGITAL EFFECT	例) Hall1[Reverb 1(リバーブタイプ名)]..... REVERBボタン	リバーブタイプの選択	27
	例) Duet[Harmony 1(ハーモニータイプ名)]..... HARMONYボタン	ハーモニータイプの選択	28
	HarmVol	ハーモニーボリュームの設定	29
OVERALL	TouchSns	タッチセンスの設定	31
	Tuning	チューニングの設定	31
	SC. Note	スケールチューニング(ノート)の設定	32
	SC. Tune	スケールチューニング(チューン)の設定	32
	Metronom	メトロノームの設定	33
	S. Split	スプリットモードのスプリットポイントの設定	33
	AccSPnt	オートアカンパニメントのスプリットポイントの設定	34
	FngrngMd	AUTO ACCOMPANIMENT ON/OFFボタン フィンガリングモードの設定	35
	VoiceSet	ボイスセットの設定	38

* のついたサブメニューは、録音モード時に表示されます。

のついたサブメニューは、録音モード以外の時に表示されます。

のついたサブメニューは、ショートカットすることができます。
ショートカットは、ボタンを長く押すことで、ディスプレイを目的のサブメニューに簡単に切り替えることができる機能です。


メモ

この取扱説明書では、本文欄外の の項で、各ショートカットを説明しています。上記サブメニュー以外にも、DUAL VOICEボタンを長く押すとR2ボイスのリボイス(ボイスナンバー)画面に、SPLIT VOICEボタンを長く押すとLボイスのリボイス(ボイスナンバー)画面にショートカットできます。

ボイス(音色)を選んで演奏しましょう

PSR-330には264種類のボイス(音色)が内蔵されています。

ボイスナンバー1~136はパネルボイスです。パネルボイスは、GMボイスをベースに音質を向上した「GM拡張ボイス」です。PSR-330の本体パネルには、パネルボイス名が印刷されています。

ボイスセット(38ページ参照)がオンの場合、R1ボイスに(16ページ参照)パネルボイスを選ぶと、そのボイスに最適なR2ボイス(16ページ参照) Lボイス(16ページ参照) デジタルエフェクト(27ページ参照)などの設定が自動的にパネルにセットされるため、すぐに演奏を始めることができます。ボイスナンバー137~264は、GMシステムレベル1の音色配列に対応したGMボイスです。GMボイスを選ぶと、ディスプレイ最上段のボイスナンバーの下にGENERAL MIDIアイコンが表示されます。

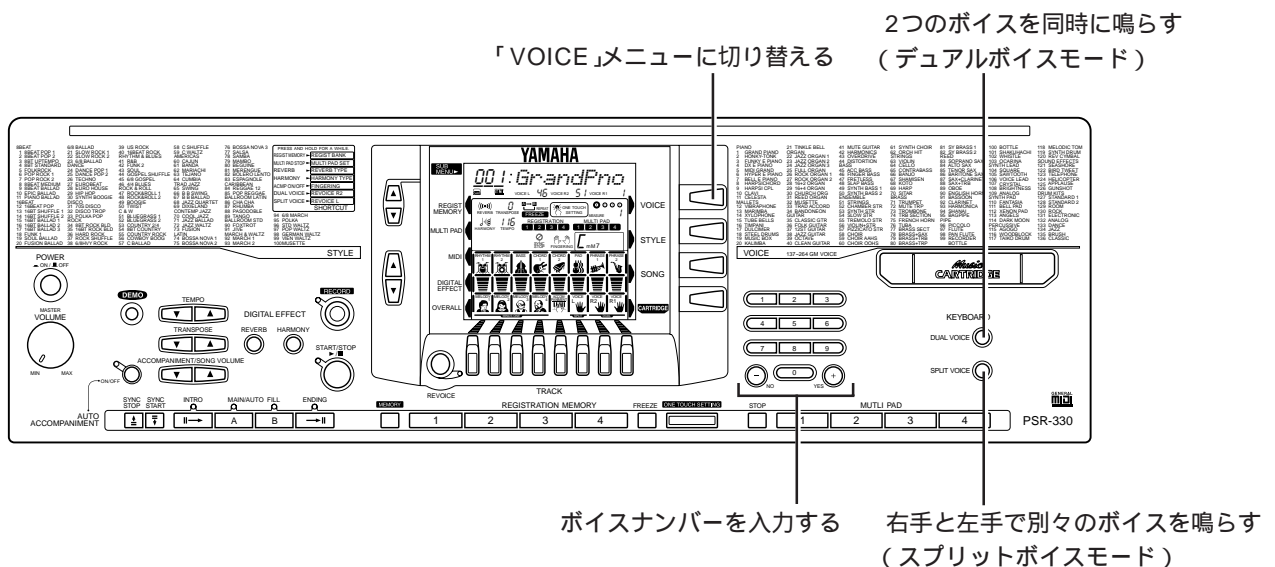
パネルボイス	ボイスナンバー	1~126
ドラムキット	ボイスナンバー	127~136
GMボイス	ボイスナンバー	137~264

好きなボイスを選んで、演奏してみましょう。

メモ


ボイスを選ぶ時は、パネルボイスリスト、GMボイスリスト(74ページ)を参照してください。

GMシステムレベル1については82ページを参照してください。



ボイスを選ぶ

1 メニューを「VOICE」に切り替えます。

VOICEボタンを押すと、ディスプレイのVOICEメニューアイコンが点灯し「VOICE」メニューに切り替わります。ディスプレイの最上段には、現在選ばれているボイス(R1ボイス)が表示されます。



2 ボイスナンバーを入力します。

ナンバーボタン[1]~[0]を押して、ボイスナンバーを1~3桁入力します。ディスプレイ最上段に、入力したボイスナンバーと、ボイス名が表示されます。
また、ボイスナンバーは「VOICE R1」の右側にも表示されます。

1桁、2桁のボイスナンバーを選ぶ場合

例)ボイスナンバー12「ビブラフォン」を選ぶ場合
ナンバーボタンを[1][2]の順番に続けて押します。ナンバーの下のバーが点滅します。

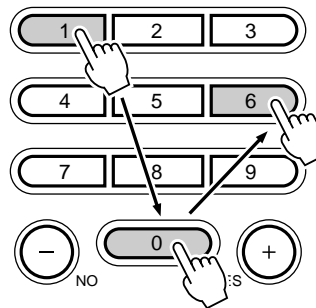
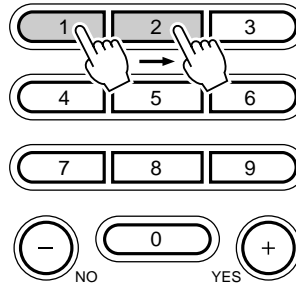
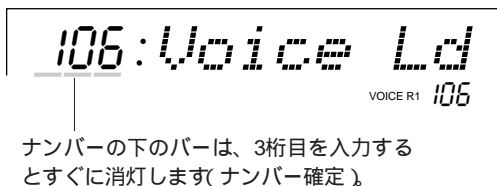


しばらくすると、「012」が表示され、ナンバーの下のバーが消灯します。バーの消灯は、入力したナンバーが確定したことを表します。



3桁のボイスナンバーを選ぶ場合

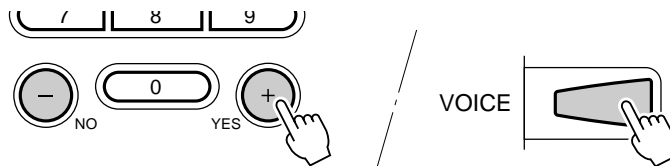
例)ボイスナンバー106「ボイスリード」を選ぶ場合
ナンバーボタンを[1][0][6]の順番に続けて押します。



メモ

1桁、2桁のボイスナンバーを選ぶ場合、ナンバーの頭に「0」をつけて3桁で入力すると、ナンバーはすぐに確定します。たとえば、ボイスナンバー12「ビブラフォン」を選ぶ場合は、ナンバーボタンを[0][1][2]の順番に続けて押します。

[+][-]ボタンを使って、ボイスナンバーを変更することもできます。またVOICEボタンを押すとボイスナンバーが増加し、長く押すと連続して増加します。



3 演奏しましょう。

選んだボイスで鍵盤演奏できます。いろいろなボイスを選んで演奏しましょう。



R1/R2/Lボイスって何?

PSR-330の鍵盤で演奏できるボイスには、R1ボイス、R2ボイス、Lボイスの3種類があります。ディスプレイには、現在選ばれているR1ボイス、R2ボイス、Lボイスのボイスナンバーが表示されています。

VOICE L 46 VOICE R2 51 VOICE R1 1

R1は右手(Right)1のボイス、R2は右手(Right)2のボイス、Lは左手(Left)のボイスを表します。

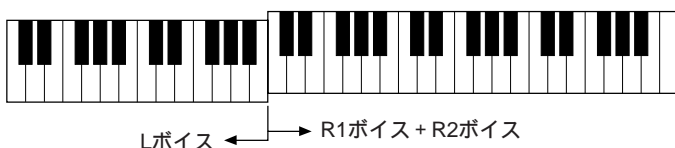
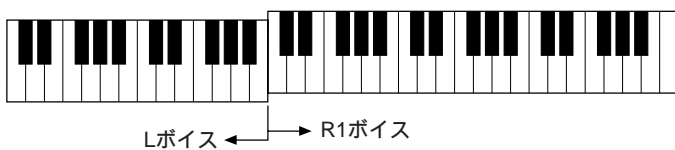
1つのボイスを鳴らす



2つのボイスを鳴らす(デュアルボイスモード)



右手と左手で別々のボイスを鳴らす(スプリットボイスモード)

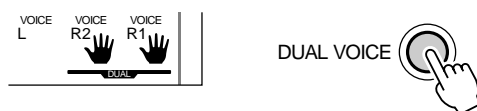


(スプリットボイスモード + デュアルボイスモード)

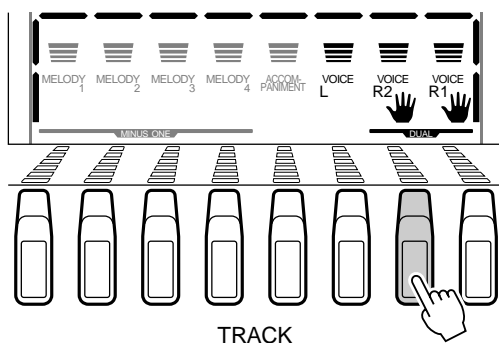
2つのボイスを同時に鳴らす(デュアルボイスモード)

2つのボイス(R1ボイスとR2ボイス)を同時に鳴らすことができます。これをデュアルボイスモードと呼びます。

DUAL VOICEボタンを押すと、ディスプレイのR1アイコンとR2アイコンが点灯し、デュアルボイスモードになります。もう一度DUAL VOICEボタンを押すと、R2アイコンが消灯し、R1ボイスだけが鳴ります。



ディスプレイ下のTRACKボタン(右から2番目)を押して、R2ボイスのオン/オフを切り替えることもできます。



メモ

R1/R2ボイスの設定(ボイスパラメーター)を変更する(リボイスする)ことができます。(39ページ参照)

R1ボイスをオフにすることはできません。

ディスプレイのTRACKボタンで、R2ボイスのオン/オフを切り替えることができるのは、ディスプレイ最下段のMELODY 1～VOICE R1とボリューム表示が大きな枠で囲まれて表示されている時です。

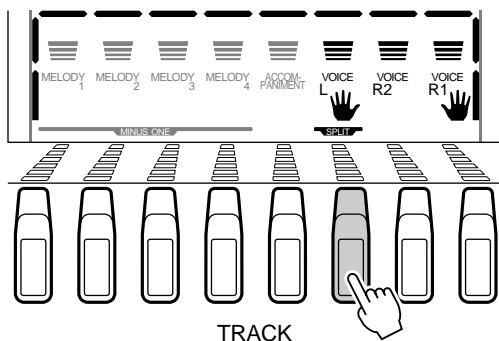
右手と左手で別々のボイスを鳴らす(スプリットボイスモード)

右手と左手で別々のボイスを鳴らすことができます。スプリットポイントを境にキーボードの右側でRボイス、左側でLボイスが鳴ります。これをスプリットボイスモードと呼びます。

SPLIT VOICEボタンを押すと、ディスプレイのLアイコンが点灯し、スプリットボイスモードになります。もう一度SPLIT VOICEボタンを押すと、Lアイコンが消灯し、Rボイス(R1ボイス、またはR1 + R2ボイス)だけが鳴ります。



ディスプレイ下のTRACKボタン(右から3番目)を押して、Lボイスのオン/オフを切り替えることもできます。



メモ

Lボイスの設定(ボイスパラメーター)を変更する(リボイスする)ことができます。(39ページ参照)

スプリットポイントの設定については33ページを参照してください。

アコーディオン鍵域(19ページ参照)との関係については34ページを参照してください。

ディスプレイのTRACKボタンで、Lボイスのオン/オフを切り替えることができるのは、ディスプレイ最下段のMELODY 1～VOICE R1とボリューム表示が大きな枠で囲まれて表示されている時です。

鍵盤で打楽器音を鳴らす(キーボードパーカッション)

ドラムキット(ボイスナンバー127~136)を選ぶと、鍵盤を押してさまざまなパーカッションボイス(打楽器音色)を鳴らすことができます。



メモ

PSR-330の鍵盤下部には、ボイスナンバー127「Std. Kit1」を選んだときに、各鍵盤に設定される打楽器音色を示すイラストが付いています。

各キットの具体的な内容は78ページの「ドラムキットリスト」を参照してください。

R1ボイスにドラムキットを選ぶとハーモニー(28ページ参照)をオンにできません。また、ハーモニーがオンの時に、R1ボイスにドラムキットを選ぶとハーモニーは自動的にオフになります。

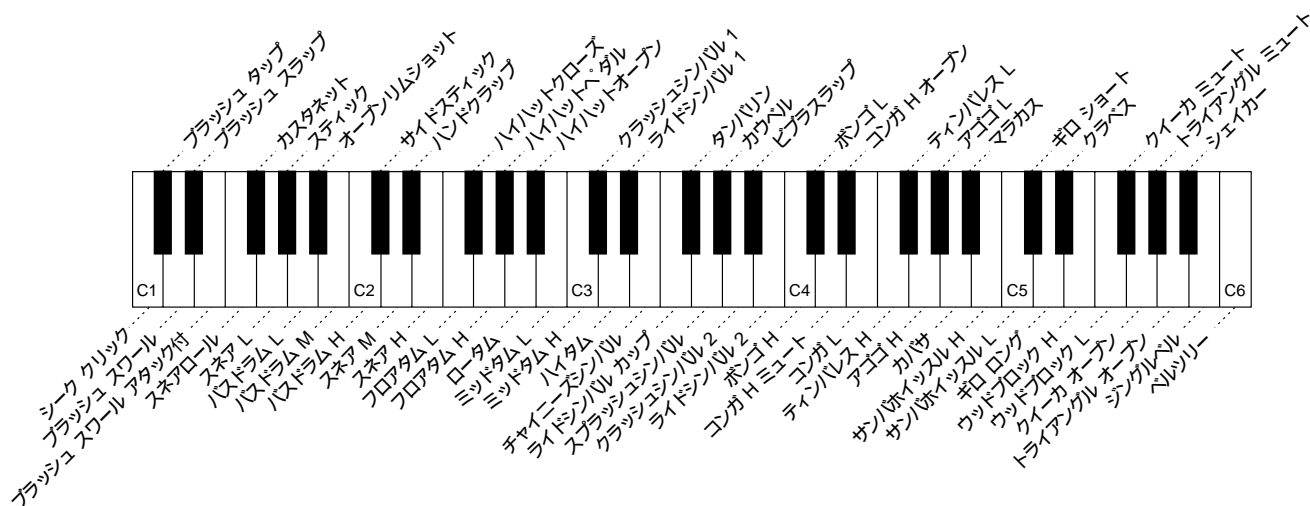
ドラムキットを選んだ時、トランスポーズ(30ページ参照)はかかりません。

ドラムキットを選ぶと、オクターブの設定(39ページ参照)は自動的に「-1」になります。

[ドラムキットリスト]

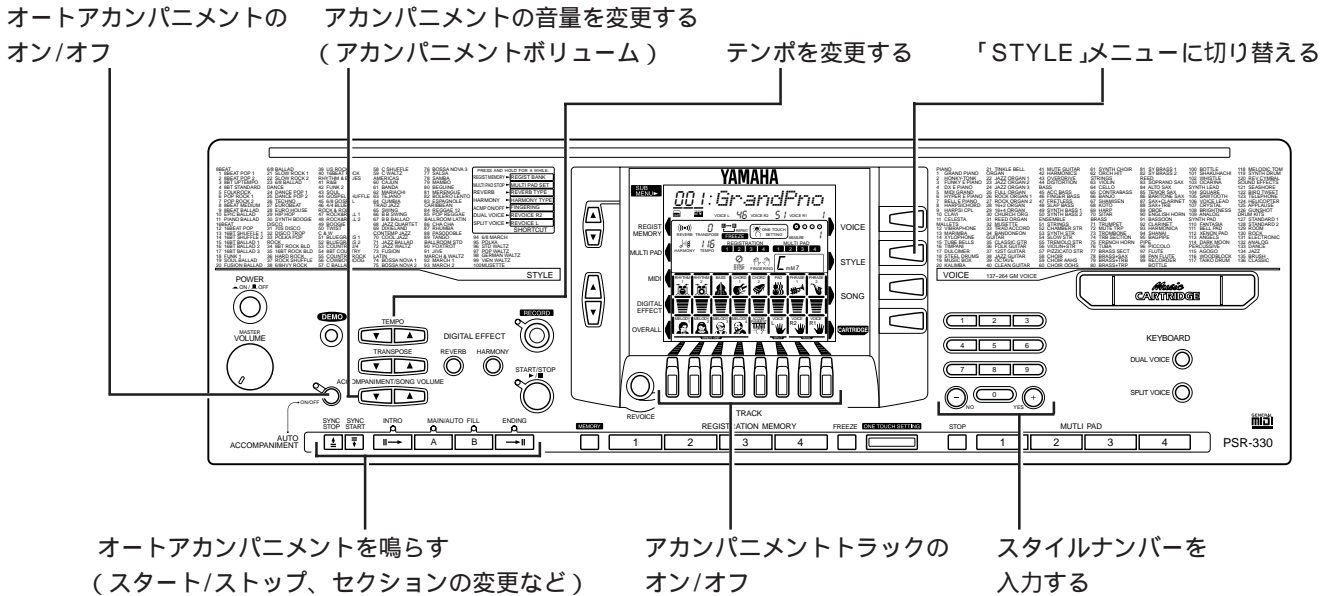
127	スタンダードキット1(Standard Kit1)
128	スタンダードキット2(Standard Kit2)
129	ルームキット(Room Kit)
130	ロックキット(Rock Kit)
131	エレクトロニックキット(Electronic Kit)
132	アナログキット(Analog Kit)
133	ダンスキット(Dance Kit)
134	ジャズキット(Jazz Kit)
135	ブラッシュキット(Brush Kit)
136	クラシックキット(Classic Kit)

例) 127 Std.Kit1(スタンダードキット1)



自動伴奏を鳴らしながら演奏しましょう(オートアカンパニメント)

PSR-330にはいろいろなジャンルの100スタイル(スタイルナンバー1~100)が内蔵されています。いろいろなスタイルを選んで、オートアカンパニメント(自動伴奏)を鳴らしながら演奏してみましょう。



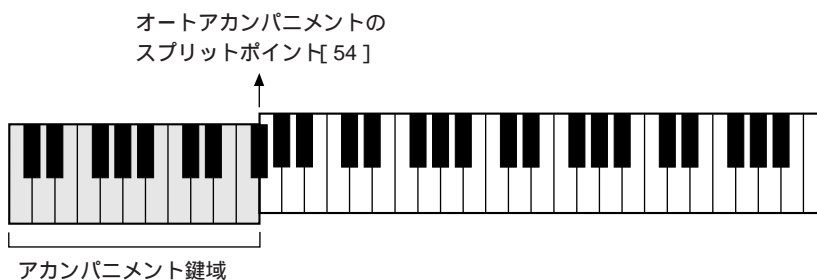
オートアカンパニメント(自動伴奏)って何?

オートアカンパニメントは、楽譜のコード進行にしたがってコードだけ押さえれば、曲の雰囲気合った伴奏が自動的に演奏される機能です。オートアカンパニメントを使えば、一人で演奏しても、バンドやオーケストラの伴奏付きの演奏を楽しむことができます。

オートアカンパニメントをオンにすると...

鍵盤の左手側(低音鍵域)がアカンパニメント鍵域になります。

アカンパニメント鍵域でコードを押さえると、選ばれたスタイルに合わせて、伴奏を自動的に演奏します。



メモ

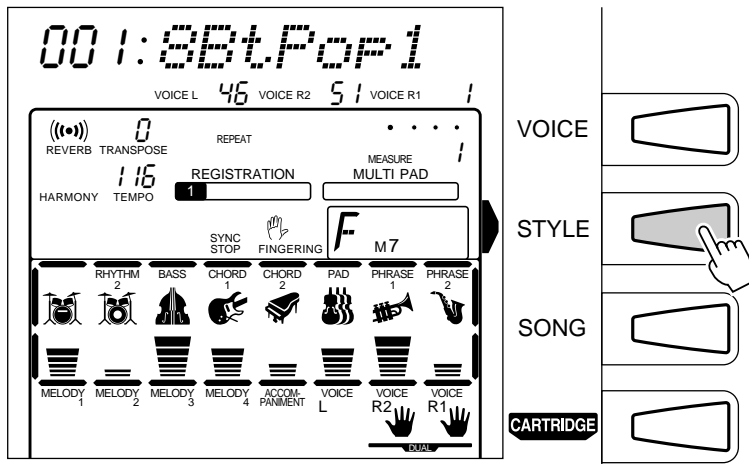
オートアカンパニメントスプリットポイントの初期設定は[54]です(アカンパニメント鍵域は[54]より左側です)。オートアカンパニメントスプリットポイントの変更は、34ページを参照してください。

オートアカンパニメント(自動伴奏)を鳴らす

1 スタイルナンバーを入力します。

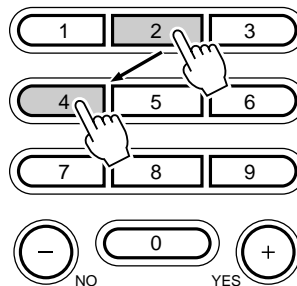
STYLEボタンを押すと、ディスプレイのSTYLEメニューアイコン▶が点灯し、「STYLE」メニューに切り替わります。

現在選ばれているスタイルがディスプレイの最上段に表示され、アカンパニメントトラック全体がディスプレイ下段に枠で囲まれて表示されます。



PSR-330の本体パネルには、スタイル名が印刷されていますので、スタイルリストを参考に、ナンバーボタン[1]~[0]を押して、スタイルナンバーを1~3桁入力します。

例)スタイルナンバー24「ダンスポップ1」を選ぶ場合
ナンバーボタンを2][4]の順番に押します。



[+][-]ボタンを使って、スタイルナンバーを変更することもできます。またSTYLEボタンを押すとスタイルナンバーが増加し、長く押すと連続して増加します。

メモ

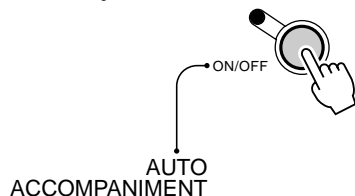
ボイスナンバー同様、1桁、2桁のスタイルナンバーを選ぶ場合、ナンバーの頭に「0」をつけて3桁で入力すると、ナンバーはすぐに確定します。たとえば、スタイルナンバー95「ボルカ」を選ぶ場合は、ナンバーボタンを[0][9][5]の順番に続けて押します。

メモ

オートアカンパニメントをオフ(ランプ消灯)にすると、アカンパニメントはリズムだけを演奏します。アカンパニメントトラックについては24ページを参照してください。

2 オートアカンパニメントをオンにします。

AUTO ACCOMPANIMENT ON/OFFボタンを押して、ランプを点灯させ、オートアカンパニメントをオンにします。



3 アカンパニメントをスタートします。

アカンパニメントのスタート方法には以下の3種類があります。

スタート

START/STOPボタンを押すと同時に、リズムがスタートします。コードを押さえるまで、リズムだけを演奏します。



シンクロスタート

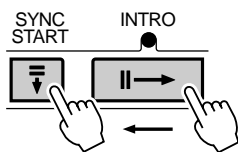
SYNC STARTボタンを押すと、ディスプレイのビートルンプ(4つすべて)が点滅して、シンクロスタートの待機状態になります。アカンパニメント鍵域でコードを押さえるとオートアカンパニメントがスタートします。

コードの押さえ方 (35ページ「コード検出方法を変更する」参照)



イントロシンクロスタート

INTROボタンを押して、INTROランプを点灯させた後、SYNC STARTボタンを押すと、ディスプレイのビートルンプ(4つすべて)が点滅して、イントロシンクロスタートの待機状態になります。コードを押さえるとオートアカンパニメントがイントロセクションからスタートします。



シンクロスタート待機状態でもう一度SYNC STARTボタンを押すと、シンクロ待機状態はキャンセルされます。

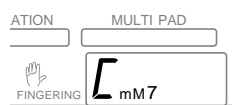
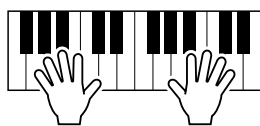


イントロシンクロスタート待機状態でMAIN/AUTO FILL(A, B)ボタンを押せば、イントロセクション演奏後のセクション(MAIN A, B)を指定できます。

イントロ演奏中にMAIN/AUTO FILL(A, B)ボタンを押すと、すぐにフィルインが演奏され、メインセクションの演奏が継続されます。

4 オートアカンパニメントに合わせてメロディ演奏します。

スタート後、アカンパニメント鍵域でコードを押さえると、コードに合った伴奏が自動的に演奏されます。押さえられたコードは、ディスプレイのコードに表示されます。



コードは、フィンガリングモードのコード押鍵ルールに従って検出されます。

コードの押さえ方 (35ページ「コード検出方法を変更する」参照)

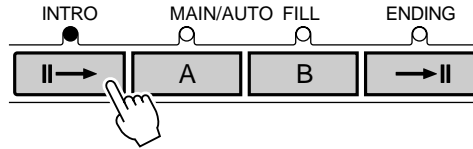
オートアカンパニメントは鍵盤から左手を離しても続きます。いろいろなコードを押さえ、オートアカンパニメントに合わせてメロディ演奏しましょう。



フィンガリングモードが「シングルフィンガー」「フィンガード1」「フィンガード2」「マルチフィンガー」の時、リズム停止中にアカンパニメント鍵域でコードを押さえると「ベース+コード音」が鳴ります。(全スタイル共通)ただし、オートアカンパニメントのスプリットポイントとスプリットボイスのスプリットポイントが同じ値の時、リズム停止中にアカンパニメント鍵域でコードを押さえると「ベース+Lボイス」が鳴ります。

5 セクションを変更します。

INTRO, MAIN/AUTO FILL(A/B), ENDINGボタンを押すと、セクション(23ページ参照)が切り替わり、曲に変化をつけることができます。自由にセクションボタンを押してみましょう。

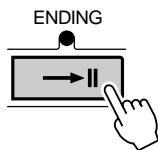


6 アカンパニメントをストップします。

START/STOPボタンを押すとアカンパニメントがストップします。



エンディングを演奏してからストップしたい場合は、ENDINGボタンを押してください。次の小節からエンディングを演奏し、エンディング演奏終了後、アカンパニメントがストップします。



メモ

エンディングの演奏中にINTROボタンを押すと、次の小節からイントロセクションの演奏が継続されます。

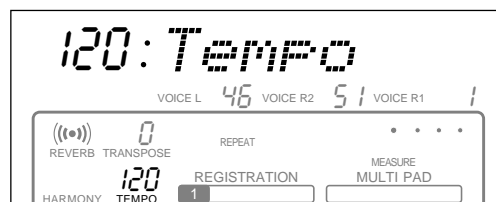
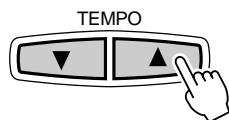
エンディングの演奏中にMAIN/AUTO FILL(A, B)ボタンを押すと、すぐにフィルインが演奏され、メインセクションの演奏が継続されます。

アカンパニメント演奏中にSYNC STARTボタンを押すと、アカンパニメントをストップし、シンクロスタート待機状態になります。

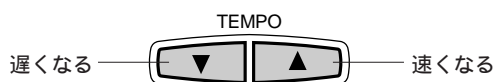
テンポの変更

アカンパニメントやソングなどのテンポを変更することができます。

TEMPO ボタンを押すと、ディスプレイの最上段に現在のテンポが表示されます。(ディスプレイ最上段のテンポ表示はしばらくするともとの表示に戻ります。)
また、テンポはディスプレイ中央(TEMPO部)にも常に表示されています。



TEMPO ボタンを使って、32 ~ 280(♩=1分間の4分音符の数)の範囲でテンポを変更します。TEMPO ボタンを押すとディスプレイに表示された値が1増加、TEMPO ボタンを押すと1減少、長く押すと連続で増減します。



メモ

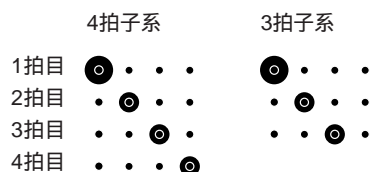
ディスプレイの最上段にテンポが表示されている間は、ナンバーボタン[1] ~ [0], [+], [-]ボタンを使ってテンポを変更することもできます。

TEMPO ボタンと ボタンを同時に押すと、アカンパニメントスタイルそれぞれの初期設定テンポに戻ります。

リズムがストップしているときにアカンパニメントスタイルを変更すると、自動的にそのスタイルの初期設定テンポがセットされますが、リズム演奏中にアカンパニメントスタイルを変更してもテンポは変わりません(ワンタッチセッティングがONの場合を除く)。

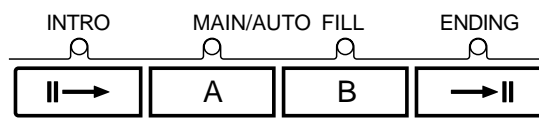
ビートランプについて

オートアカンパニメントやソングがスタートすると、ディスプレイの4つのランプが、設定されたテンポに従って図のように点滅し、ビート (BEAT : 拍数) を表示します。



アカンパニメントセクションについて

オートアカンパニメントは、曲の構成に応じてアカンパニメントの編曲をいろいろと変化させるために、イントロ、メインA/B、フィルイン(AA, AB, BA, BB)、エンディング、合計8種類のセクションを持っています。これらを演奏中に切り替えることによって、自由に1つの曲を作ることができます。



イントロ (INTRO) セクション

イントロダクション (曲の始まりの部分) です。イントロセクションの演奏が終了するとメインセクションに移行します。

メイン (MAIN) セクション

曲のメイン部分の演奏で、A/B2つのバリエーションがあります。演奏したコードに基づいたオートアカンパニメントが自動的に演奏されます。

フィルインセクション

フィルインは、曲の流れに区切りをつけて演奏を盛り上げます。演奏中に MAIN/AUTO FILL (A, B) ボタンを押すと、フィルインが自動的に演奏され (AUTO FILL : オートフィル)、アカンパニメントにアクセントをつけることができます。フィルインには4つのバリエーション (AA, AB, BA, BB) があり、状況に応じて最適なバリエーションが演奏されます。

エンディング (ENDING) セクション

エンディング (曲の終わりの部分) です。

エンディングセクションの演奏が終わると、アカンパニメントはストップします。

メモ

電源を入れた時は、必ず MAIN A のランプが点灯します。

フィルイン演奏中は、MAIN A、または MAIN B のランプが点滅してフィルイン後の行き先のセクションを知らせます。点滅中に MAIN/AUTO FILL (A, B) ボタンを押せば、行き先を変更することができます。

曲中で INTRO ボタンを押すと、イントロ演奏を曲中でも使うことができます。

小節内の最後の拍以降に MAIN/AUTO FILL (A, B) ボタンを押すと、次の小節からフィルインが始まります。

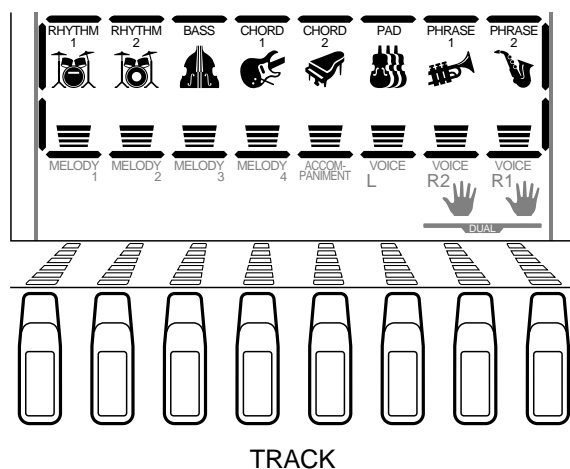
アカンパニメントトラックの構成

それぞれのアカンパニメントスタイルは、最大8つのトラック(RHYTHM 1/2, BASS, CHORD 1/2, PAD, PHRASE 1/2)で構成されています。スタイルを選んだときに、いずれかのセクション(23ページ参照)でそのトラックにデータがある場合は、それぞれのトラックのアイコンが点灯します。

演奏中にそれぞれのTRACKボタンを押してアイコンを消灯させると、そのトラックはオフになりミュート(消音)されます。トラックのオン/オフを組み合わせれば、1つのアカンパニメントスタイルをいくつもの伴奏アレンジとして楽しむことができます。

メモ

各アカンパニメントトラックのボイスパラメーターの設定を変更(リボイス)することができます。(42ページ参照)



それぞれのトラックデータは以下のような特長を持っています。

RHYTHM 1, RHYTHM 2(リズム1/2)

リズムトラック。ドラム、パーカッションを演奏します。

BASS(ベース)

ベーストラック。ベースラインを演奏します。

CHORD 1, CHORD 2(コード1/2)

コードトラック。コード伴奏のさまざまなパターンを演奏します。

PAD(パッド)

パッドトラック。ストリングスやオルガンなどのパッド系のコードを演奏します。

PHRASE 1, PHRASE 2(フレーズ1/2)

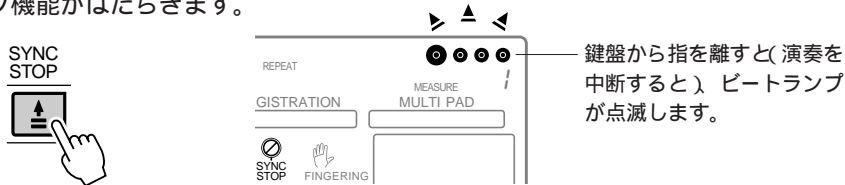
フレーズコードトラック。パンチのきいたブラスフレーズやアルペジオコードなどのフレーズを演奏します。オートアカンパニメントの中でひととき華やかなパートです。

シンクロストップ機能

シンクロストップは、アкомпニメント演奏中にアкомпニメント鍵域からすべての指を離すと、演奏を中断する機能です。

鍵盤を押さえると、アкомпニメント演奏が再開します。演奏にブレイク(中断)を入れる場合に便利です。

SYNC STOPボタンを押すと、ディスプレイのSYNC STOPアイコンが点灯し、シンクロストップ機能がはたらきます。



もう一度押すとアイコンが消灯して、シンクロストップ機能がオフになります。

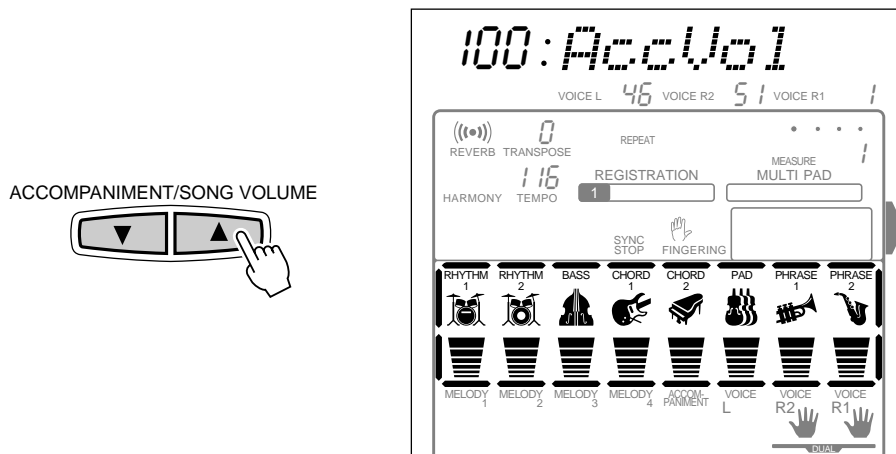
メモ

フィンガリングモードが「フルキーボード」の時は、シンクロストップをオンにできません。また、フィンガリングモードに「フルキーボード」を選ぶとシンクロストップは自動的にオフになります。

アкомпニメントの音量を変更する(アкомпニメントボリューム)

アкомпニメント全体のボリュームを変更して、鍵盤演奏とのバランスをとることができます。

ディスプレイ下段のアкомпニメントトラック全体が枠で囲まれて表示されている時に、ACCOMPANIMENT/SONG VOLUME ボタンを押すと、ディスプレイの最上段に現在のアкомпニメントボリュームが表示されます。(ディスプレイ最上段のアкомпニメントボリューム表示はしばらくするともとの表示に戻ります。)



ACCOMPANIMENT/SONG VOLUME ボタンを使って、0~127の範囲でアкомпニメントボリュームを変更します。ACCOMPANIMENT/SONG VOLUME ボタンを押すとディスプレイに表示された値が1増加、ACCOMPANIMENT/SONG VOLUME ボタンを押すと1減少、長く押すと連続で増減します。

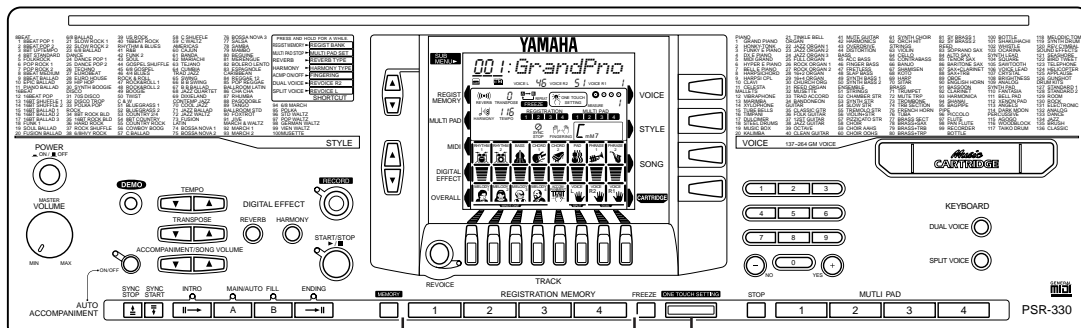


メモ

ディスプレイの最上段にアкомпニメントボリュームが表示されている間は、ナンバーボタン[1]~[0],[+],[-]ボタンを使ってアкомпニメントボリュームを変更することもできます。

スタイルに合ったパネル設定をワンタッチで呼び出しましょう(ワンタッチセッティング)

PSR-330には100種類のアカンパニメントスタイルそれぞれに、最も適したパネル設定(ボイス、デジタルエフェクトなどの組み合わせ)が4種類ずつプリセットされています。ワンタッチセッティングを活用すれば、その設定をワンタッチで呼び出すことができるため、ボイスやデジタルエフェクトなどをひとつひとつ設定しなくても、アカンパニメントにぴったりのサウンドですぐに演奏を始めることができ、たいへん便利です。

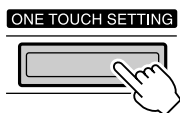


ワンタッチセッティングを呼び出す

ワンタッチセッティングを呼び出す

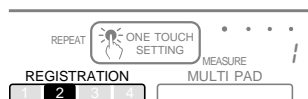
1 スタイルを選びます。(20ページ参照)

2 ONE TOUCH SETTINGボタンを押すと、ディスプレイのONE TOUCH SETTINGアイコンが点灯し、ワンタッチセッティングタイプ1の設定がパネルに呼び出されます。ディスプレイには、ワンタッチセッティングタイプナンバー「1」が表示されます。また、オートアカンパニメントが自動的にオンになり、シンクロスタート待機状態になります。タイプ1の設定で演奏しましょう。



3 REGISTRATION MEMORY 2 ~ 4ボタンを押して、別のワンタッチセッティングタイプ(パネル設定)に切り替えます。

REGISTRATION MEMORY 1 ~ 4ボタンのいずれかを押すとそのタイプのパネル設定が呼び出され、ディスプレイには、パネルにセットされたタイプのナンバー「1」~「4」のいずれかが表示されます。



もう一度ONE TOUCH SETTINGボタンを押すと、アイコンが消灯し、ワンタッチセッティングがオフになります。

メモ

ワンタッチセッティングがオンの時に、スタイルを変更すると新しく選ばれたスタイルに適した同じワンタッチセッティングナンバーのパネル設定がすぐに呼び出されます。

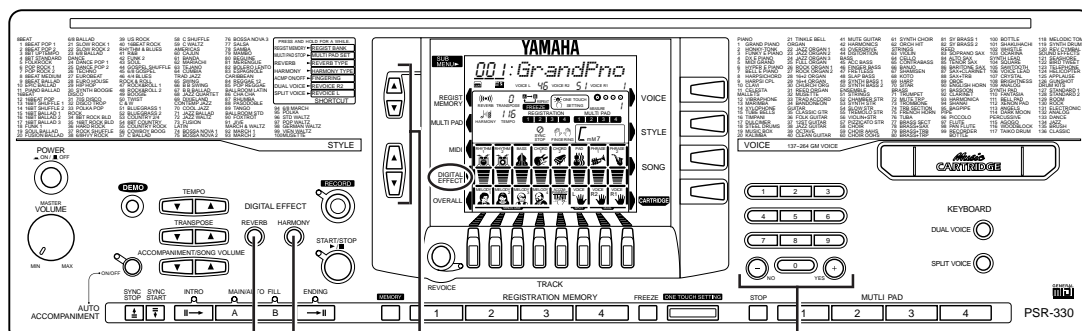
ワンタッチセッティングで呼び出したパネルの設定を変更して、オリジナルのセッティングを作ってみましょう。オリジナルのセッティングは、レジストレーションメモリー(44ページ参照)に記憶すれば、いつでも呼び出すことができます。

ワンタッチセッティング設定内容

- ・ R1ボイス(ボイスナンバー、ボリューム、オクターブ、パン、リバーブセンドレベル)
- ・ デュアルボイスオン/オフ
- ・ R2ボイス(ボイスナンバー、ボリューム、オクターブ、パン、リバーブセンドレベル)
- ・ スプリットボイスオン/オフ
- ・ Lボイス(ボイスナンバー、ボリューム、オクターブ、パン、リバーブセンドレベル)
- ・ スプリットボイスのスプリットポイント = 59
- ・ オートアカンパニメントのスプリットポイント = 54
- ・ 選ばれているスタイルの初期設定テンポ
- ・ オートアカンパニメント = オン
- ・ アカンパニメントセクション(メインA, B)
- ・ アカンパニメントトラックデータ (各スタイルの初期設定、トラックオン/オフ)
- ・ シンクロスタート = オン
- ・ アカンパニメントボリューム = 100
- ・ ハーモニーオン/オフ、タイプ、およびハーモニーボリューム
- ・ リバーブオン/オフ、およびタイプ
- ・ マルチパッドセットナンバー
- ・ コードマッチオン/オフ (マルチパッド1~4)= 初期設定

演奏に効果をかけましょう(デジタルエフェクト)

PSR-330のデジタルエフェクトには、リバーブとハーモニーの2種類があります。



リバーブ効果をつける ———— ハーモニー効果をつける ———— リバーブの種類を選ぶ
 ———— ハーモニーの種類を選ぶ

リバーブ効果をつける

REVERBボタンを押してディスプレイのREVERBのアイコンを点灯させると、リバーブエフェクトがオンになり、リバーブタイプの設定にしたがって、PSR-330の演奏全体にリバーブエフェクトがかかります。



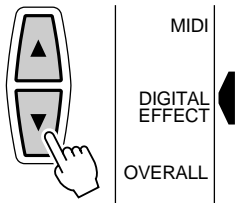
メモ

ボイスセット(38ページ参照)がオンの場合、R1ボイスにパネルボイスを選ぶと、リバーブのオン/オフが自動的に変更されます。

リバーブの種類を選ぶ

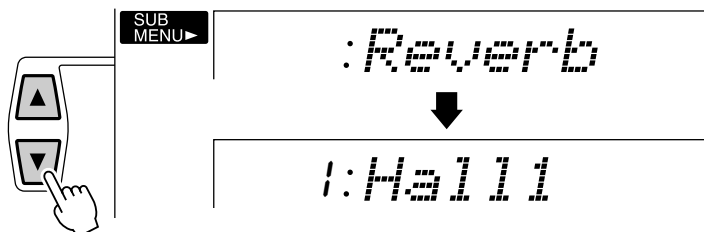
リバーブタイプを9種類の中から選びます。

MENU ボタンを押してDIGITAL EFFECTメニューアイコンを点灯させて、「DIGITAL EFFECT」メニューを選びます。



SUB MENU ボタンを押してサブメニュー「Reverb」を選びます。しばらくすると現在選ばれているリバーブタイプがディスプレイの最上段に表示されます。

リストを参考に、ナンバーボタン[1]-[0]+[+]-[-]ボタンを使って、リバーブのタイプを選びます。



[リバーブタイプリスト]

1, 2	Hall(ホール) 1, 2
3, 4	Room(ルーム) 1, 2
5, 6	Plat(プレート) 1, 2
7, 8	Delay(ディレイ) 1, 2
9	OFF(オフ)

ショートカット

REVERBボタンを長く押すと、ダイレクトにメニュー「DIGITAL EFFECT」のサブメニュー「Reverb」(リバーブタイプ選択画面)を呼び出すことができます。

ハーモニー効果をかける

HARMONYボタンを押してディスプレイのアイコンを点灯させると、ハーモニーがオンになり、R1ボイスに選ばれているタイプのハーモニーがかけられます。



ハーモニータイプ(下記参照)の1~4は、左手鍵域で検出されたコードに従って、R1ボイスに対してかけられます。また、ハーモニータイプ5~25は右手鍵域の押鍵に対してかけられます。

メモ

R1ボイスにドラムキットが選ばれている場合は、ハーモニーをオンにできません。

ハーモニーがオンの時にR1ボイスにドラムキットを選ぶと、ハーモニーは自動的にオフになります。

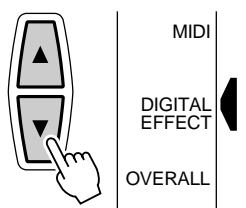
オートアカンパニメントがオンで、フィンガリングモード(35ページ参照)が「フルキーボード」の時は、ハーモニーをオンにできません。また、オートアカンパニメントがオンの時に、フィンガリングモードに「フルキーボード」を選ぶと、ハーモニーは自動的にオフになります。

ソング(50ページ参照)を再生すると、ハーモニーは自動的にオフになり、鍵盤演奏にハーモニーをかけることはできません。

ハーモニーの種類を選ぶ

ハーモニータイプを25種類の中から選びます。ハーモニーのタイプによって、押鍵音に高い音は何音が付け加えられたり、低い音は何音が付け加えられたり、さまざまな効果が得られます。

MENU ボタンを押してDIGITAL EFFECTメニューアイコンを点灯させて、「DIGITAL EFFECT」メニューを選びます。



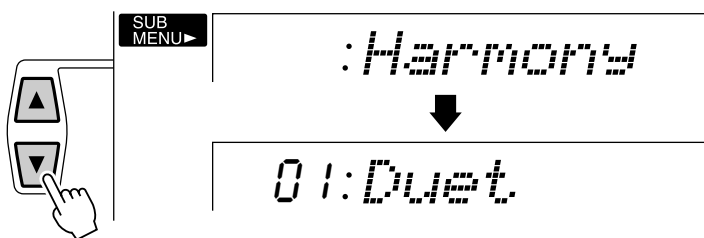
ショートカット

HARMONYボタンを長く押し、メニュー「DIGITAL EFFECT」のサブメニュー「Harmony」(ハーモニータイプ選択画面)に入ることができます。

メモ

ボイスセット(38ページ参照)がオンの場合、R1ボイスにパネルボイスを選ぶと、ハーモニータイプの設定も自動的に変更されます。

SUB MENU ボタンを押してサブメニュー「Harmony」を選びます。しばらくすると、現在選ばれているハーモニータイプがディスプレイの最上段に表示されます。



次頁の「ハーモニータイプリスト」を参考に、ナンバーボタン[1]~[0][+][-]ボタンを使って、1~25の中からハーモニータイプを選びます。

[ハーモニータイプリスト]

1	デュエット(Duet)	メロディに音が重なり、2音のハーモニーになります。	12	トレモロ1/4(Tremolo1/4)		メロディに、設定されたテンポでトレモロ効果がかけられます。
2	トリオ(Trio)	メロディより下の2音がメロディに付加され、3音のハーモニーになります。	13	トレモロ1/6(Tremolo1/6)		
3	カンントリー(Country)	メロディ押鍵音よりも高い音が1音付加され、カンントリー調のハーモニーになります。	14	トレモロ1/8(Tremolo1/8)		
4	オクターブ(Octave)	メロディに1オクターブ下の音が1音付加されたハーモニーになります。	15	トレモロ1/12(Tremolo1/12)		
5	トリル1/4(Trill1/4)	2つの音を押さえると、それぞれの音が交互に、設定されたテンポで繰り返し発音します。	16	トレモロ1/16(Tremolo1/16)		メロディに、設定されたテンポでエコー(こだま)効果がかけられます。
6	トリル1/6(Trill1/6)		17	トレモロ1/24(Tremolo1/24)		
7	トリル1/8(Trill1/8)		18	トレモロ1/32(Tremolo1/32)		
8	トリル1/12(Trill1/12)		19	エコー1/4(Echo1/4)		
9	トリル1/16(Trill1/16)		20	エコー1/6(Echo1/6)		
10	トリル1/24(Trill1/24)		21	エコー1/8(Echo1/8)		
11	トリル1/32(Trill1/32)		22	エコー1/12(Echo1/12)		
			23	エコー1/16(Echo1/16)		
			24	エコー1/24(Echo1/24)		
			25	エコー1/32(Echo1/32)		

メモ

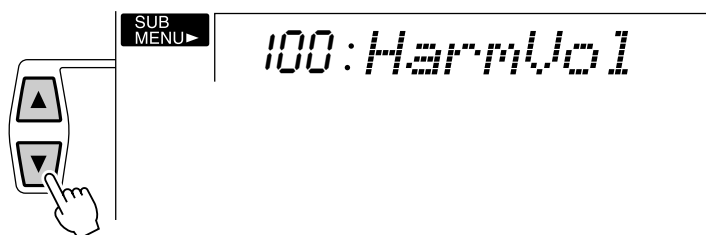
タイプ5~11のトリルを選択した場合は、2つの鍵盤を押さえてください。2つの音が交互に設定されたスピードで、繰り返し発音されます。

ハーモニーの音量を変更する(ハーモニーボリューム)

ハーモニータイプ1~4のハーモニー音(付加音)の音量を調節します。

MENU ボタンを押してDIGITAL EFFECTメニューアイコンを点灯させて、「DIGITAL EFFECT」メニューを選びます。

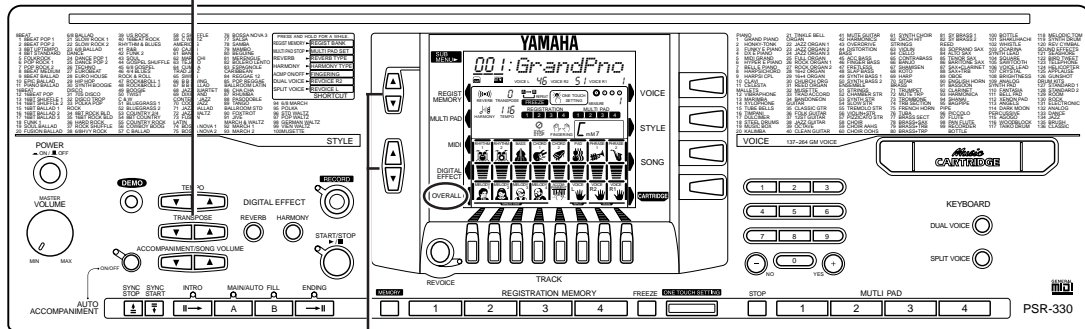
SUB MENU ボタンを押してサブメニュー「HarmVol」を選びます。現在設定されているハーモニーボリュームの値がディスプレイの最上段に表示されます。



ナンバーボタン[1]~[0][+][−]ボタンを使って、0~127の範囲でハーモニーボリュームを変更します。

全体のコントロールをしましょう

音程を変更する



「OVERALL」メニュー

鍵盤タッチの感度を変更する
楽器全体の音程を微調整する
鍵盤ごとの音程を調整する

メトロノームを鳴らす
LボイスとRボイスの鍵域を変更する
アカンパニメント鍵域を変更する

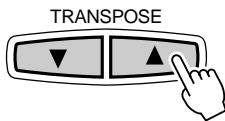
コード検出方法を変更する
ボイスセットを活用する

音程を変更する(トランスポーズ)

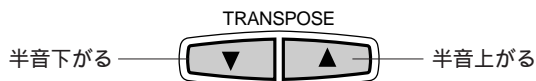
鍵盤演奏、オートアカンパニメント、ソングの音程(トランスポーズ)を変更します。

TRANSPOSE ボタンを押すと、ディスプレイの最上段に現在設定されているトランスポーズの値が表示されます。(ディスプレイ最上段のトランスポーズ表示は、しばらくするともとの表示に戻ります。)

また、トランスポーズはディスプレイ中央(TRANSPOSE部)にも常に表示されています。



TRANSPOSE ボタンを使って、-12~+12(±1オクターブ)の範囲で音程を変更します。TRANSPOSE ボタンを押すとディスプレイに表示された値が1(半音)増加、TRANSPOSE ボタンを押すと1(半音)減少、長く押しすと連続で増減します。



メモ

ドラムキット 18ページ参照
選んだボイスに、トランスポーズはかかりません。

メモ

ディスプレイの最上段にトランスポーズが表示されている間は、ナンバーボタン[1]~[0]、[+]、[-]ボタンを使ってトランスポーズを変更することもできます。

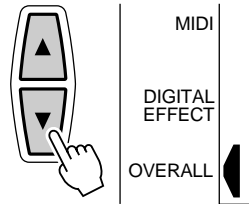
トランスポーズ変更後、次の押鍵から新しく設定したトランスポーズで発音します。

ソングの再生中、録音モード時は、トランスポーズを変更できません。

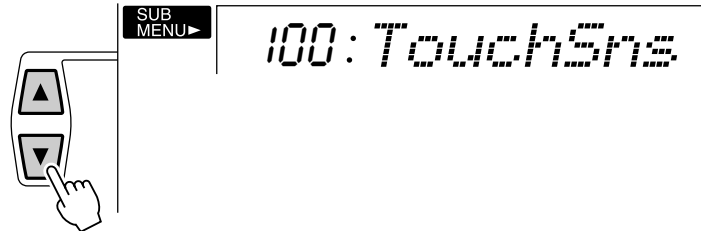
鍵盤タッチの感度を変更する(タッチセンス)

タッチセンスは、鍵盤を押さえる強さによって音量が変化するタッチレスポンスの感度を変更する機能です。

MENU ボタンを押してOVERALLメニューアイコン \blacktriangleleft を点灯させて、「OVERALL」メニューを選びます。



SUB MENU ボタンを押してサブメニュー「TouchSns」を選びます。現在設定されているタッチセンスの値がディスプレイの最上段の左側に表示されます。



ナンバーボタン[1]~[0][+][−]ボタンを使って、タッチセンスを0~127の範囲で変更します。数値が大きくなるほど、タッチレスポンスの感度が高まります。

タッチセンス「0」を設定するとディスプレイに「oFF」が表示され、タッチレスポンスはオフになります。この状態では、鍵盤を押さえる強弱に関らず一定音量で演奏できますので、ハーシコードやオルガンなどの本来タッチレスポンスのないボイスの演奏に適しています。

楽器全体の音程を微調整する(チューニング)

楽器全体のチューニング(音程 ピッチ)の微調整をします。

MENU ボタンを押してOVERALLメニューアイコン \blacktriangleleft を点灯させて、「OVERALL」メニューを選びます。

SUB MENU ボタンを押してサブメニュー「Tuning」を選びます。現在設定されているチューニングの値がディスプレイの最上段の左側に表示されます。

00: Tuning


ナンバーボタン[1]~[0][+][−]ボタンを使って、チューニング値を-50~+50(単位: セント)の範囲で変更します。

メモ

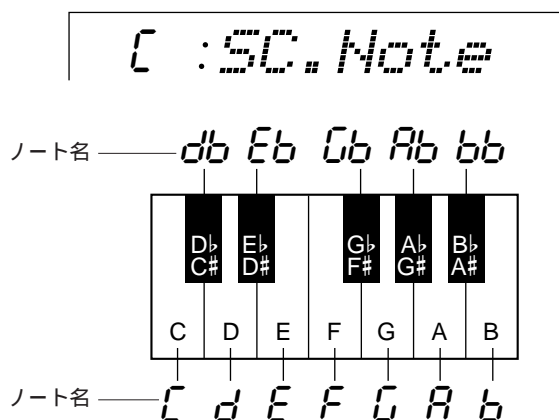
チューニングの単位:
1セント=1/100半音

鍵盤ごとの音程を調整する(スケールチューニング)

ノート(鍵盤)ごとにチューニング(音程、ピッチ)の調整)します。ノートごとにチューニングすれば、さまざまなスケール(音階)で演奏することができます。

1 MENU ボタンを押してOVERALLメニューアイコンを点灯させて、「OVERALL」メニューを選びます。

SUB MENU ボタンを押してサブメニュー「SC.Note」を選びます。ディスプレイの最上段の左側にノート名が表示されます。[+][-]ボタンを使って、チューニングしたいノート名を選びます。



2 1の状態からSUB MENU ボタンを押してサブメニュー「SC.Tune」を選びます。ディスプレイの最上段の左側に音程が表示されます。ナンバーボタン[1][0][+][-]ボタンを使って、-64 ~ +63(単位：セント)の範囲でチューニング値を設定します。

-50 : SC. Tune

3 1~2を繰り返し、各ノートのチューニング値を変更します。



チューニングの単位:
1セント=1/100半音




ノートごとのチューニング値は全オクターブ共通になります。

スケールチューニングを行うと、鍵盤演奏だけでなく、オートアカンパニメントやソング、マルチパッドの演奏など、PSR-330全体がチューニングされます。

メトロノームを鳴らす(メトロノーム)

アカンパニメント演奏時、ソング再生時、ユーザーソング録音時に、設定されたテンポにしたがってメトロノームを鳴らすことができます。

MENU ボタンを押してOVERALLメニューアイコンを点灯させて、「OVERALL」メニューを選びます。


SUB MENU ボタンを押してサブメニュー「Metronom」を選びます。現在のメトロノームのオン/オフ設定がディスプレイ最上段の左側に表示されます。

on:Metronom

[+] [-] ボタンを使って、on/offを変更します。

LボイスとRボイスの鍵域を変更する(スプリットボイスモードのスプリットポイント)

スプリットボイスモード(17ページ参照)のスプリットポイント(LボイスとR1/2ボイスの境界点)の設定を変更することができます。

MENU ボタンを押してOVERALLメニューアイコンを点灯させて、「OVERALL」メニューを選びます。

SUB MENU ボタンを押してサブメニュー「S.Split」を選びます。現在設定されているスプリットボイスモードのスプリットポイントが、ディスプレイ最上段の左側にMIDIノートナンバー(鍵盤下部参照)で表示されます。

059:S.Split

ナンバーボタン[1]-[0] [+] [-] ボタンを使って、スプリットポイントを0~127の範囲で変更することができます。また、直接鍵盤を押さえてもスプリットポイントを変更できます。この時選んだ鍵盤が左手鍵域の最高音になります。




スプリットボイスモードのスプリットポイントの初期設定は「59」です。



オートアカンパニメント演奏中は、直接鍵盤を押さえてスプリットポイントを変更することはできません。

アカンパニメント鍵域を変更する(オートアカンパニメントのスプリットポイント)

オートアカンパニメント演奏時 (19ページ参照) のスプリットポイント(メロディ鍵域とアカンパニメント鍵域の境界点)の設定を変更することができます。

MENU ボタンを押してOVERALLメニューアイコンを点灯させて、「OVERALL」メニューを選びます。

SUB MENU ボタンを押してサブメニュー「AccSpPnt」を選びます。現在設定されているオートアカンパニメントのスプリットポイントが、ディスプレイ最上段の左側にMIDIノートナンバー(鍵盤上部参照)で表示されます。

054: AccSpPnt

ナンバーボタン[1]~[0][+][−]ボタンを使って、スプリットポイントを0~127の範囲で変更することができます。また、直接鍵盤を押さえてもスプリットポイントを変更できません。

この時選んだ鍵盤がアカンパニメント鍵域の最高音になります。



設定したスプリットポイントは、フィンガリングモード(35ページ参照)の設定に関らず有効です。オートアカンパニメントのスプリットポイントの初期設定は「54」です。



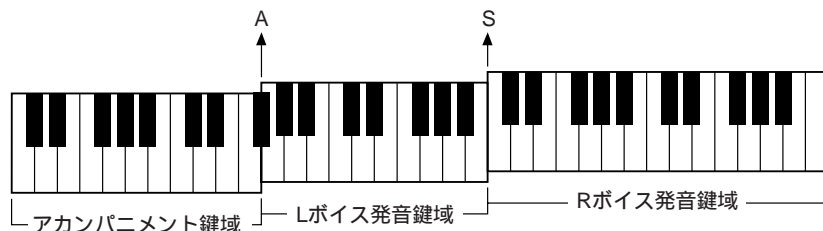
オートアカンパニメント演奏中は、直接鍵盤を押さえてスプリットポイントを変更することはできません。

2つのスプリットポイントについて

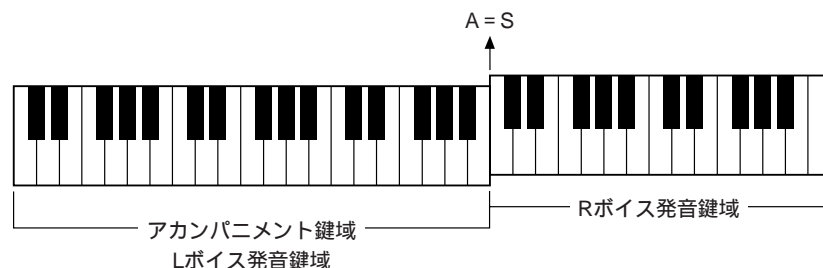
PSR-330には、「スプリットボイスモード」と「オートアカンパニメント」の2種類のスプリットポイントがあります。

オートアカンパニメント「オン」、スプリットボイス「オン」の場合、それぞれのスプリットポイントの設定により、鍵盤演奏で発音するボイスは下記のようにになります。

オートアカンパニメントS.P(A) < スプリットボイスモードS.P(S)




オートアカンパニメントS.P(A) = スプリットボイスモードS.P(S)



スプリットボイスのスプリットポイントをオートアカンパニメントのスプリットポイントより左側に(小さく)設定することはできません。設定すると、オートアカンパニメントのスプリットポイントがスプリットボイスモードのスプリットポイントと同じ値に変更されます。また、オートアカンパニメントのスプリットポイントをスプリットボイスのスプリットポイントより右側に(大きく)設定することはできません。設定すると、スプリットボイスモードのスプリットポイントがオートアカンパニメントのスプリットポイントと同じ値に変更されます。

コード検出方法を変更する(フィンガリングモード)

オートアカンパニメント演奏時のコード検出方法(フィンガリングモード)を変更することができます。

MENU ボタンを押してOVERALLメニューアイコンを点灯させて、「OVERALL」メニューを選びます。

SUB MENU ボタンを押してサブメニュー「FngrngMd」を選びます。現在選ばれているフィンガリングモードが、ディスプレイ最上段の左側に表示されます。



フィンガリングモードは、下記の5種類があります。

- シングルフィンガー(SF)
- フィンガード1(F1)
- フィンガード2(F2)
- フルキーボード(FuL)
- マルチフィンガー(MuL)

[+] [-] ボタンを使って、好きなフィンガリングモードを選びます。



AUTO ACCOMPANIMENT ON/OFFボタンを長く押し、ダイレクトにメニュー「OVERALL」のサブメニュー「FngrngMd」(フィンガリングモードの設定画面)を呼び出すことができます。



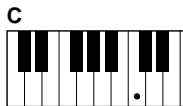
フィンガリングモードの初期設定は「マルチフィンガー(MUL)」です。

シングルフィンガー(SF)



このモードではアカンパニメント鍵域で、1~3本の指でメジャー、マイナー、セブンス、マイナーセブンスのコードを作ることができます。そして、そのコードと選ばれたアカンパニメントスタイルに従ってオートアカンパニメントが演奏されます。

シングルフィンガーモードで認識されるコードの押さえ方



メジャー(M)コード
ルートキーを押さえてください。



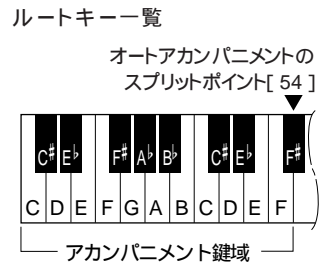
マイナー(m)コード
ルートキーと、ルートキーより左側の黒鍵を同時に押さえてください。



セブンス(7)コード
ルートキーと、ルートキーより左側の白鍵を同時に押さえてください。



マイナーセブンス(m7)コード
ルートキーと、ルートキーより左側の黒鍵と白鍵を同時に押さえてください。



フィンガード1(F1)



F1: Fingered

このモードでは、アカンパニメント鍵域でコードを押さえると、そのコードと選ばれたアカンパニメントスタイルに従ってオートアカンパニメントが演奏されます。

フィンガード1モードで認識されるコード

コード	押 鍵	コード(C)	ディスプレイ表示
メジャー[M]	1-3-5	C	C
アッドナインズ[9]	1-2-3-5	C(9)	C(9)
シックス[6]	1-(3)-5-6	C6	C6
シックスアッドナインズ[6(9)]	1-2-3-(5)-6	C6(9)	C6(9)
メジャーセブンス[M7]	1-3-(5)-7または 1-(3)-5-7	CM7	CM7
メジャーセブンスナインズ[M7(9)]	1-2-3-(5)-7	CM7(9)	CM7(9)
メジャーセブンスシャープイレブンス[M7#11]	1-2-3-#4-(5)-7または 1-(2)-3-#4-5-7	CM7#11	CM7#11
フラットファイブ[♭5]	1-3-♭5	C(♭5)	C(♭5)
メジャーセブンスフラットファイブ[M7♭5]	1-3-♭5-7	CM7♭5	CM7♭5
サスフォー[sus4]	1-4-5	Csus4	Csus4
オーギュメント[aug]	1-3-#5	Caug	Caug
メジャーセブンスオーギュメント[M7aug]	1-(3)-#5-7	CM7aug	CM7aug
マイナー[m]	1-♭3-5	Cm	Cm
マイナーアッドナインズ[m(9)]	1-2-♭3-5	Cm(9)	Cm(9)
マイナーシックス[m6]	1-♭3-5-6	Cm6	Cm6
マイナーセブンス[m7]	1-♭3-(5)-♭7	Cm7	Cm7
マイナーセブンスアッドナインズ[m7(9)]	1-2-♭3-(5)-♭7	Cm7(9)	Cm7(9)
マイナーセブンスイレブンス[m7_11]	1-(2)-♭3-4-5-(♭7)	Cm7_11	Cm7_11
マイナーメジャーセブンス[mM7]	1-♭3-(5)-7	CmM7	CmM7
マイナーメジャーセブンスナインズ[mM7(9)]	1-2-♭3-(5)-7	CmM7(9)	CmM7(9)
マイナーセブンスフラットファイブ[m7♭5]	1-♭3-♭5-♭7	Cm7♭5	Cm7♭5
マイナーメジャーセブンスフラットファイブ[mM7♭5]	1-♭3-♭5-7	CmM7♭5	CmM7♭5
ディミニッシュ[dim]	1-♭3-♭5	Cdim	Cdim
ディミニッシュセブンス[dim7]	1-♭3-♭5-6	Cdim7	Cdim7
セブンス[7]	1-3-(5)-♭7または 1-(3)-5-♭7	C7	C7
セブンスフラットナインズ[7(♭9)]	1-♭2-3-(5)-♭7	C7(♭9)	C7(♭9)
セブンスフラットサーティーンズ[7♭13]	1-3-5-♭6-♭7	C7♭13	C7♭13
セブンスナインズ[7(9)]	1-2-3-(5)-♭7	C7(9)	C7(9)
セブンスシャープイレブンス[7#11]	1-2-3-#4-(5)-♭7または 1-(2)-3-#4-5-♭7	C7#11	C7#11
セブンスアッドサーティーンズ[7(13)]	1-3-(5)-6-♭7	C7(13)	C7(13)
セブンスシャープナインズ[7(#9)]	1-#2-3-(5)-♭7	C7(#9)	C7(#9)
セブンスフラットファイブ[7♭5]	1-3-♭5-♭7	C7♭5	C7♭5
セブンスオーギュメント[7aug]	1-3-#5-♭7	C7aug	C7aug
セブンスサスフォー[7sus4]	1-4-(5)-♭7	C7sus4	C7sus4
ワンプラスツープラスファイブ[1+2+5]	1-2-5	C1+2+5	C

メモ

カッコ()内の音符は省略しても構いません。

パーフェクトフィフス(完全5度)の押鍵ではルート音と5度の音によるアカンパニメントが演奏され、メジャー、マイナーの多くのコードに利用できます。

オクターブ(完全8度)の押鍵では、ルート音のみによるアカンパニメントが演奏されます。

黒鍵を含めて隣接する3音を押鍵すると、コード演奏がキャンセルされ、リズム楽器のみの伴奏になります。(コードキャンセル)

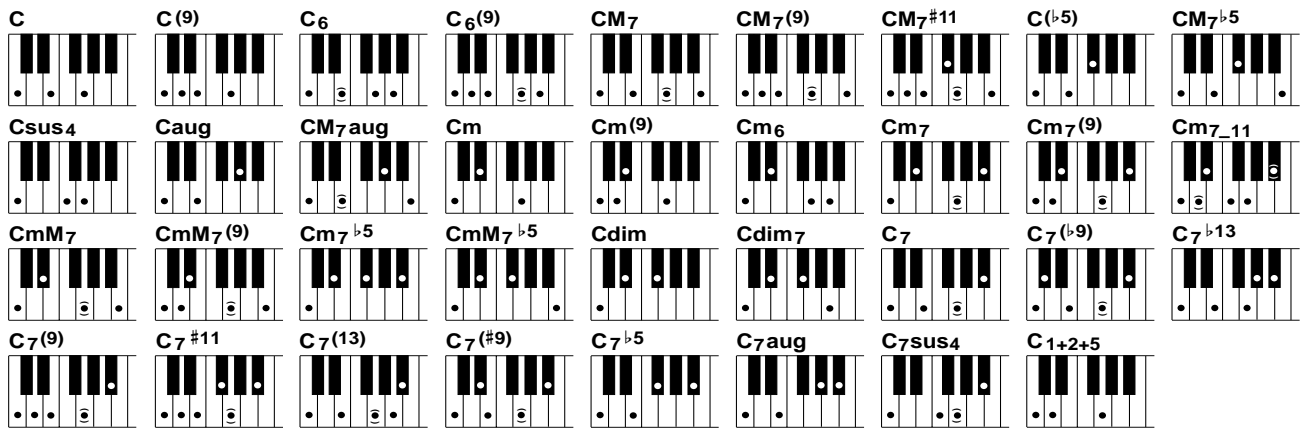
コード押鍵は全て基本形で書かれていますが、その転回形も受け付けます。ただし、以下の場合を例外とします。

m7, m7♭5, 6, m6, sus4, aug, dim7, 7♭5, 6(9), m7_11, 1+2+5

7sus4, 7#11は、省略した場合のみ転回形は受け付けません。

フィンガード1モードで認識されるコードの押さえ方(基本形)

[Cの押鍵例]



フィンガード2(F2)

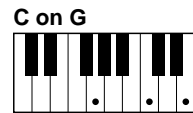


F2:Fngrnshld

このモードでは、フィンガード1で認識するコードに加え、オンベースコード(押さえたコード音の中で一番低い音がベース音になります)も認識しますので、より高度なコード進行を利用した演奏が可能になります。

オンベースコードを認識させるには、各コードの転回形を使用します。

たとえば、Cのコードはド(C)ミ(E)ソ(G)で構成され、基本形ではド(C)を最低音として押鍵されます。このコードを転回させて押鍵することによりオンベースコードが認識されます。



ミ(E)ソ(G)ド(C)の順に押鍵

ソ(G)ド(C)ミ(E)の順に押鍵

フルキーボード(FuL)



FuL:Fngrnshld

このモードでは全鍵域でコードを検出し、オートアカンパニメントを演奏します。また、同時に全鍵域で通常どおり鍵盤演奏も行えます。

演奏例1) 右手でメロディを、左手でコードを演奏する場合

フィンガード1の方法でコードは認識されますが、左手で押鍵したコードの最低音から、11度より上の音はコードとして認識されず、メロディ音として発音します。

演奏例2) 右手でコードを、左手でベースを演奏する場合

右手で押鍵したコードの最低音から、1オクターブより下の音はコードとして認識されず、ベース音として認識され、アカンパニメントが演奏されます。

鍵盤のどこで、どのようなスタイルで、コードを押さえてアカンパニメント演奏するかによって、ベースやストリングス音などが自動的に演奏に加わり、思いがけないアカンパニメント演奏の楽しみ方ができます。

マルチフィンガー (MuL)




MuL: Fingered

このモードでは、アカンパニメント鍵域で「シングルフィンガー」の押鍵ルールでコードを押さえても、「フィンガード1」の押鍵ルールでコードを押さえても、自動的にコードを識別します。

ボイスセットを活用する(ボイスセット)

PSR-330には、R1のパネルボイス(14ページ参照)それぞれに最適な他のボイス設定や、エフェクトなどの設定がプリセットされています。

ボイスセット機能をオンにすれば、R1ボイスにパネルボイス(ボイスナンバー1 ~ 136)を選んだ時に、そのパネルボイスに最適な設定が自動的にセットされるため、すぐに演奏を始めることができ、大変便利です。

MENU ボタンを押してOVERALLメニューアイコンを点灯させて、「OVERALL」メニューを選びます。

SUB MENU ボタンを押してサブメニュー「VoiceSet」を選びます。現在のボイスセットのオン/オフ設定がディスプレイ最上段の左側に表示されます。

on: VoiceSet

[+] [-] ボタンを使って、on/offを変更します。

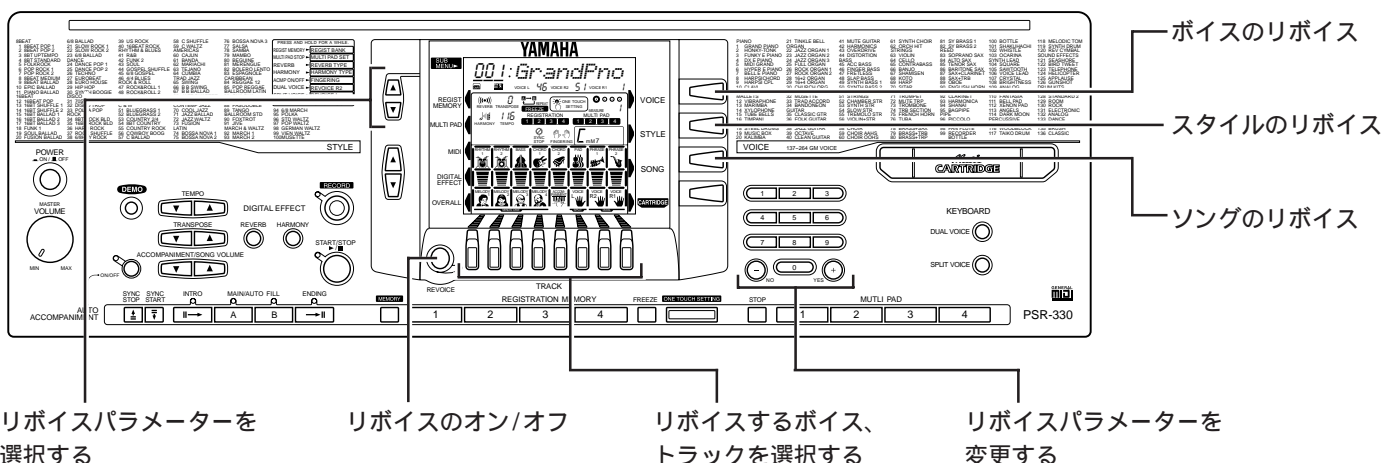
ボイスセット「オン」でセットされるデータ

- ・R1ボイス(ボリューム、オクターブ、パン、リバーブセンドレベル)
- ・R2ボイス(ボイスナンバー、ボリューム、オクターブ、パン、リバーブセンドレベル)
- ・Lボイス(ボイスナンバー、ボリューム、オクターブ、パン、リバーブセンドレベル)
- ・リバーブオン/オフ
- ・ハーモニータイプ、およびハーモニーボリューム



電源を入れると、ボイスセットは「on」に設定されます。

ボイスデータを変更しましょう(リボイス)



リボイスって何?

リボイスは、ボイスデータの設定を変更する機能です。

リボイスモードでは、以下の5種類のボイスパラメーター(ボイス、ボリューム、オクターブ、パン、リバーブセンドレベル)を変更することができます。

リボイスモードに入ると、ボイスパラメーター名とその設定値が、ディスプレイ最上段に表示されます。

[ボイスパラメーターリスト]

ディスプレイ	パラメーター	設定範囲	解説
GrandPno	ボイス名	1~264	ボイスナンバーを変更します。
Volume	ボリューム	0~127	ボリューム(音量)を変更します。各ボイス/各トラックのボリュームを変更すると、ディスプレイのボリューム表示(グラフィック)が変更されます。
Octave	オクターブ	-2~2	オクターブ(音程)の設定を変更します。
Pan	パン	-7~7	パン(音の定位)を変更します。「-7」で最も左、「7」で最も右に定位します。パンをバランスよく設定すると、臨場感のある演奏ができます。
RevSndLv	リバーブセンドレベル	0~127	リバーブのかかり具合を変更します。

リボイスには「ボイスのリボイス」、「スタイルのリボイス」、「ソングのリボイス」の3種類があります。

ボイスのリボイス

R1ボイス、R2ボイス、Lボイスごとにリボイス(各ボイスパラメーターの設定を変更)します。R1ボイス、R2ボイス、Lボイスをリボイスすれば、デュアルボイスモード(17ページ参照) スプリットボイスモード(17ページ参照)での演奏パリエーションが増加します。

スタイルのリボイス

各スタイルのアカンパニメントトラックごとにリボイス(各ボイスパラメーターの設定を変更)します。アカンパニメントトラックをリボイスすれば、まったく新しいアカンパニメントスタイルのような印象を与えることができます。

ソングのリボイス

ユーザーソングの各録音トラックごとにリボイス(各ボイスパラメーターの設定を変更)します。ユーザーソングのリボイスは、ユーザーソングデータの書き替えになります。(64ページ「ソングのボイスデータを書き替える」参照)

メモ

ボイスセットがオンの場合(38ページ参照)、R1ボイスにパネルボイスを選ぶと、R1ボイス、R2ボイス、Lボイスの各ボイスパラメーターが自動的に設定されます。この組み合わせを参考に、リボイスしてみてください。

スタイルのリボイスでは、オクターブを変更できません。

スタイルのリボイスは、すべてのセクションに共通の変更になります。

スタイルのリボイスで、RHYTHM1トラックには、ドラムキット(ボイスナンバー127~136)以外のボイスは選べません。

スタイルのリボイスで、RHYTHM2トラックには、すべてのボイスを選べますが、オートアカンパニメント使用時に、コード変換されません。

ソングのリボイスで、ACCOMPANIMENTトラックは、ボリュームだけリボイスできます。

ボイスのリボイス(R1/R2/Lボイスのボイスパラメーターの変更)

1 リボイスモードに入ります。

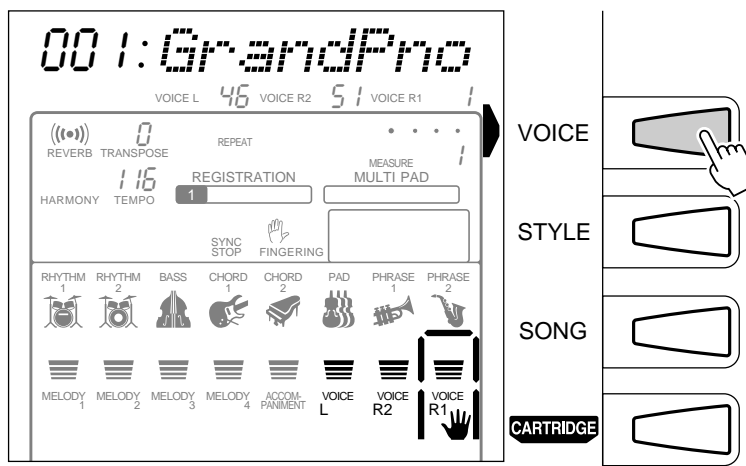
REVOICEボタンを押して、リボイスモードに入ります。(REVOICEランプ点灯)



REVOICE

2 必要に応じてボイスのリボイスモードに切り替えます。

スタイル、またはソングのリボイスモードが選ばれている場合は、VOICEボタンを押して、ディスプレイのVOICEメニューアイコンを点灯させ、ボイスのリボイスモードを選びます。ボイスのリボイスモードを選ぶと、ディスプレイ下段のR1アイコンの外枠が点灯します。(これはR1ボイスがリボイスできる状態であることを表します。)



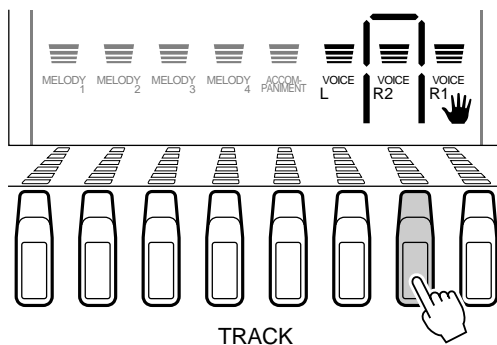
メモ

ボイスのリボイスモードに入ってから、STYLEボタンを押すとスタイルのリボイスモード(42ページ参照)に、SONGボタンを押すとソングのリボイスモード(64ページ参照)になります。また、CARTRIDGEボタンを押したり、MENUボタンを押してディスプレイ左側に表記されているメニューを選ぶと、リボイスは自動的にオフ(REVOICEランプ消灯)になります。

ソングの録音中はリボイスモードに入れません。

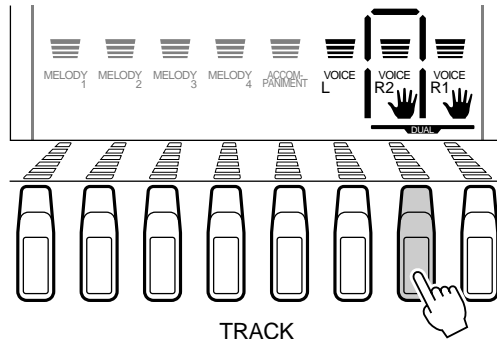
3 リボイスするボイス(R1/R2/L)を選びます。

ディスプレイの下のTRACKボタン(右から3つ)を押してR1ボイス、R2ボイス、Lボイスからリボイスするボイスを選びます。選んだボイスは、アイコンの外枠が点灯します。



TRACK

選んだボイスの下のTRACKボタンを押すと、R2ボイス、Lボイスのオン/オフ(アイコン点灯/消灯)を切り替えることができます。リボイス中に実際に音を鳴らして確認したい場合は、そのボイスをオンにしておきましょう。

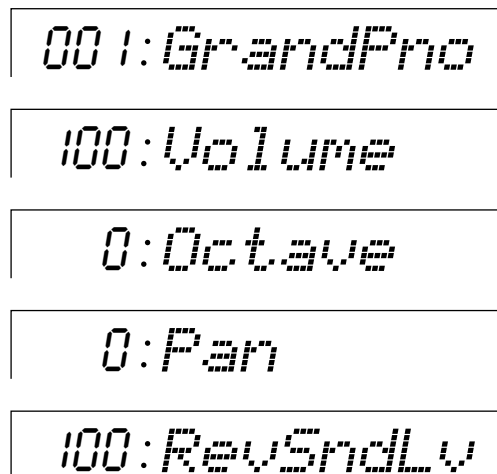


メモ

R1ボイスをオフにすることはできません。

4 リボイスします。

SUB MENU ボタンを押して、変更したいボイスパラメーターを選びます。選択したパラメーターと現在の設定が、ディスプレイ最上段に表示されます。



ナンバーボタン[1]~[0][+][-]ボタンを使って、設定を変更します。各パラメーターに関しては39ページを参照してください。

ショートカット

DUAL VOICEボタンを長く押すと、ダイレクトにリボイスモードのボイスパラメーター「R2ボイス名の設定画面」を呼び出すことができます。

SPLIT VOICEボタンを長く押すと、ダイレクトにリボイスモードのボイスパラメーター「Lボイス名の設定画面」を呼び出すことができます。

メモ

ボイスセットがオンの場合、R1ボイスにパネルボイスを選ぶと、R1ボイス、R2ボイス、Lボイスの各ボイスパラメーターの設定が自動的に変更され、リボイスデータは失われます。各ボイスパラメーターの設定を自動的に変更させたくない場合はボイスセットをオフに設定しましょう。(38ページ参照)

オクターブとパンを設定する場合、[-]を押しながらナンバーボタンを押すと、マイナスの値を設定することができます。

5 リボイスを終了します。

必要に応じて3~4を繰り返し、リボイスした状態で演奏して各ボイスパラメーターの設定を確認しましょう。

リボイスが終了したらREVOICEボタンを押してリボイスモードから抜けます(REVOICEランプ消灯)。



メモ

電源を切ったり、ボイスセットがオンの状態でR1ボイスにパネルボイスを選んだり、レジストレーションを呼び出したりすると、リボイスした設定は失われます。リボイスデータは、レジストレーションメモリー(44ページ参照)に記憶しておきましょう。

スタイルのリボイス(各アカンパニメントトラックのボイスパラメーターの変更)

1 リボイスモードに入ります。

REVOICEボタンを押してリボイスモードに入ります。(REVOICEランプ点灯)



REVOICE

メモ

「STYLE」メニューが選ばれている状態で、REVOICEボタンを押すと、自動的にスタイルのリボイスモードに入りますので、2の操作は不要になります。

リボイスモードに入った時に選ばれているアカンパニメントスタイルがリボイスされます。

アカンパニメントスタイル演奏中でも、REVOICEボタンを押せば、リボイスモードに入ることができます。

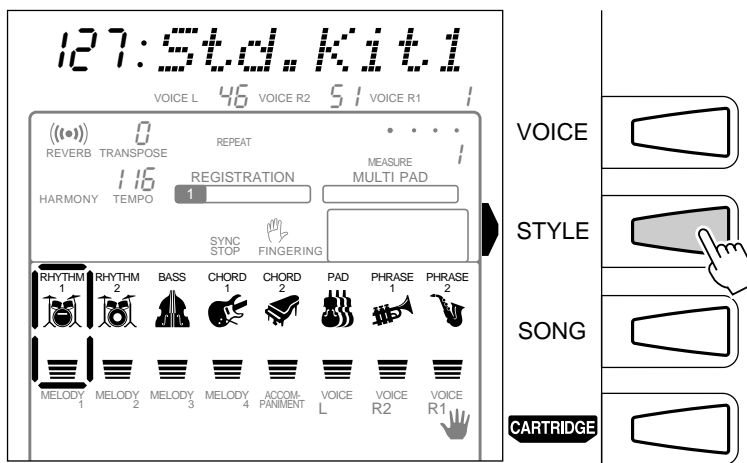
ソングの録音中は、リボイスモードに入れません。

ソングを再生しながら、ソング、またはボイスのリボイスをしている場合、スタイルのリボイスモードへ移行できません。

スタイルのリボイスモードに入ってから、VOICEボタンを押すとボイスのリボイスモード(40ページ参照)に、SONGボタンを押すとソングのリボイスモード(64ページ参照)になります。また、CARTRIDGEボタンを押したり、MENUボタンを押してディスプレイ左側に表記されているメニューを選ぶと、リボイスは自動的にオフ(REVOICEランプ消灯)になります。

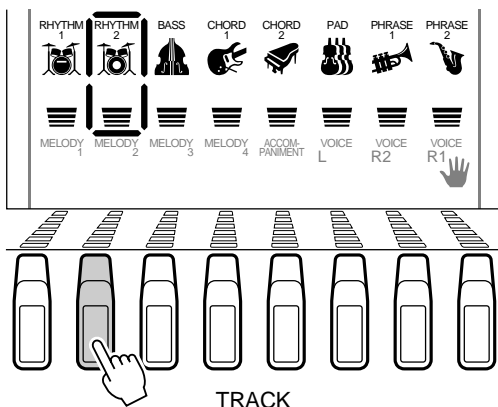
2 必要に応じてスタイルのリボイスモードに切り替えます。

ボイス、またはソングのリボイスモードが選ばれている場合は、STYLEボタンを押して、ディスプレイのSTYLEメニューアイコンを点灯させ、スタイルのリボイスモードを選びます。スタイルのリボイスモードを選ぶと、ディスプレイのRHYTHM1アイコンの外枠が点灯します。(これはRHYTHM1トラックがリボイスできる状態であることを表します。)



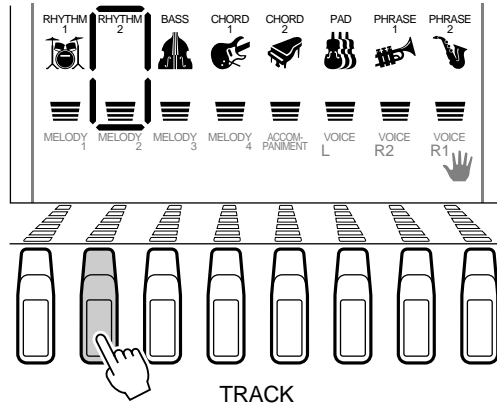
3 リボイスするアカンパニメントトラックを選びます。

ディスプレイの下のTRACKボタンを押してRHYTHM 1/2, BASS, CHORD 1/2, PAD, PHRASE 1/2トラックからリボイスするアカンパニメントトラックを選びます(24ページ参照「アカンパニメントトラックの構成」参照)。選んだトラックは、アイコンの外枠が点灯します。



TRACK

選んだトラックの下のTRACKボタンを押すと、各アカンパニメントトラックのオン/オフ(アイコン点灯/消灯)を切り替えることができます。リボイス中に実際に音を鳴らして確認したい場合は、そのトラックをオンにしておきましょう。



メモ

データのないアカンパニメントトラックを選んでリボイスしようとする、ディスプレイの最上段の左側に「- - -」が表示され、リボイスできません。

RHYTHM1トラックには、ドラムキット(ボイスナンバー127~136)以外のボイスは選べません。

RHYTHM2トラックには、すべてのボイスを選べますが、オートアカンパニメント使用時に、コード変換されません。

スタイルのリボイスでは、オクターブを変更できません。

4 リボイスします。

SUB MENU ボタンを押して、変更したいボイスパラメーターを選びます。選択したパラメーターと現在の設定が、ディスプレイ最上段に表示されます。
 ナンバーボタン[1]~[0][+][-]ボタンを使って、設定を変更します。
 各パラメーターに関しては39ページを参照してください。

5 リボイスを終了します。

必要に応じて3~4を繰り返し、リボイスした状態でオートアカンパニメントを演奏して、各ボイスパラメーターの設定を確認しましょう。
 リボイスの設定変更が終了したらREVOICEボタンを押してリボイスモードから抜けます(REVOICEランプ消灯)。



メモ

電源を切ったり、リボイスモードを抜けてから新しいアカンパニメントスタイルを選んだり、レジストレーションを呼び出したりと、リボイスした設定は失われます。リボイスデータは、レジストレーションメモリー(44ページ参照)に記憶しておきましょう。

ソングのリボイス

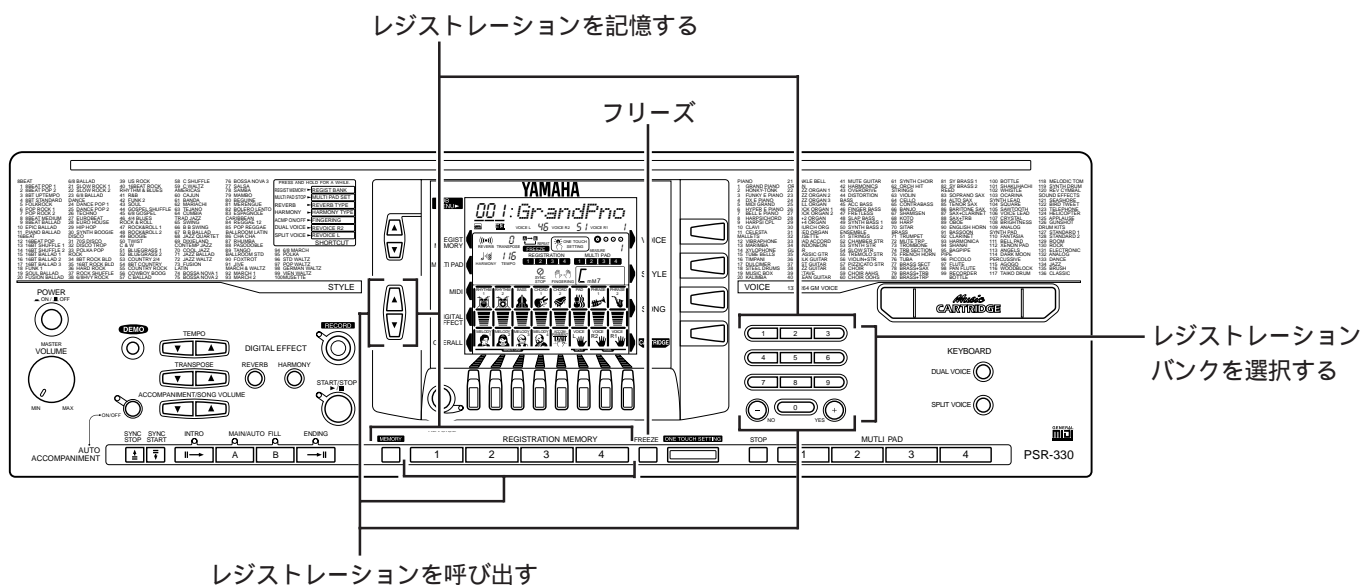
ソングのリボイスは「ソングのボイスデータを書き替える(64ページ参照)」の項を参照してください。

パネルの設定を記憶させましょう(レジストレーションメモリー)

レジストレーションメモリーは、レジストレーション(ボイス、アカンパニメントなどのパネル設定)を32種類 8バンク×4まで記憶(メモリー)させ、演奏中でもワンタッチで呼び出すことができる機能です。

メモ

初期設定(工場出荷時)のレジストレーションメモリー[1]~[4]には、電源を入れた時のパネル設定と同じデータが記録されています。



レジストレーションを記憶する

1 レジストレーションをセットします。

レジストレーション(ボイス、オートアカンパニメントなどのパネル設定)を記憶させたい状態にセットします。

レジストレーションメモリーで記憶されるデータ

ボイスデータ

- ・ R1ボイス(ボイスナンバー、ボリューム、オクターブ、パン、リバーブセンドレベル)
- ・ デュアルボイスオン/オフ
- ・ R2ボイス(ボイスナンバー、ボリューム、オクターブ、パン、リバーブセンドレベル)
- ・ スプリットボイスオン/オフ
- ・ Lボイス(ボイスナンバー、ボリューム、オクターブ、パン、リバーブセンドレベル)
- ・ スプリットポイント(スプリットボイス)
- ・ タッチセンス
- ・ リバーブオン/オフ
- ・ ハーモニーオン/オフ、タイプ、およびハーモニーボリューム
- ・ スケールチューニング

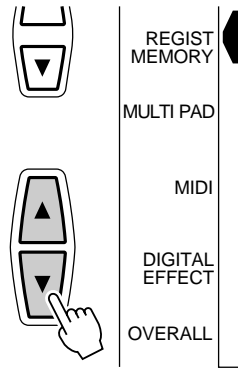
アカンパニメントデータ

- ・ オートアカンパニメントオン/オフ
- ・ スタイルナンバー
- ・ フィンガリングモード
- ・ テンポ
- ・ スプリットポイント(オートアカンパニメント)
- ・ アカンパニメントボリューム
- ・ トラック変更データ(トラックオン/オフ、ボイス、ボリューム、パン、リバーブセンドレベル)
- ・ アカンパニメントセクション(メインA, B)
- ・ マルチパッドセットナンバー
- ・ コードマッチオン/オフ(マルチパッド1~4)
- ・ トランスポーズ*
- ・ リバーブタイプ

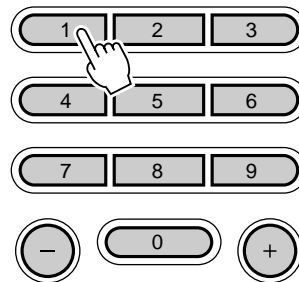
* ソング再生中、録音モード時にレジストレーションを切り替えても、トランスポーズは変更されません。

2 レジストレーションを記憶するバンクを選びます。

MENU ボタンを押してREGIST MEMORYメニューアイコン()を点灯させて、「REGIST MEMORY」メニューを選びます。



現在選ばれているバンク名とバンクナンバーがディスプレイ最上段に表示されます。ナンバーボタン[1]-[0][+][-]ボタンを使って、バンク1~8のいずれかを選びます。

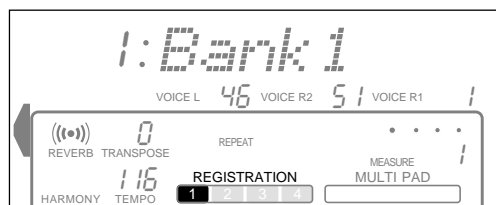
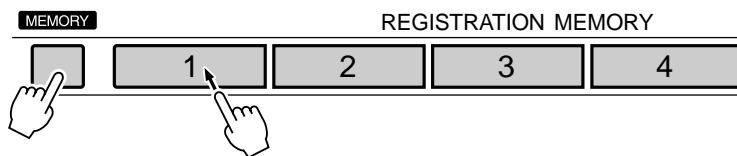


ショートカット

MEMORYボタンを長く押すと、ダイレクトにメニュー「REGIST MEMORY」のサブメニュー「レジストレーションバンク名(例: Bank1)」を呼び出すことができます。

3 レジストレーションを記憶します。

MEMORYボタンを押しながら、REGISTRATION MEMORY 1~4ボタンのいずれかを押し、指定したナンバーに、現在のパネルのレジストレーションが記憶されます。(レジストレーションナンバー点灯)



メモ

レジストレーションを記憶すると、そのREGISTRATION MEMORYナンバーに記憶されていたデータは消去され、新しいデータに書き換えられます。

電源を切っても、レジストレーションメモリーの内容をバックアップ(保持)することができます。詳しくは83ページをご参照ください。

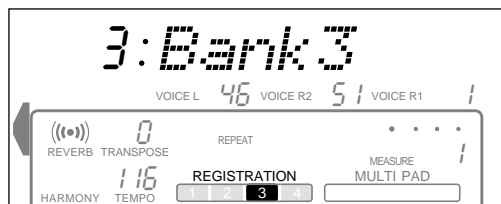
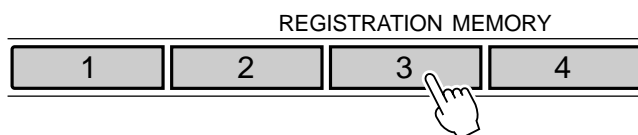
レジストレーションを呼び出す

MENU ボタンを押してREGIST MEMORYメニューアイコンを点灯させて、「REGIST MEMORY」メニューを選びます。

現在選ばれているバンクネームとバンクナンバーがディスプレイ最上段に表示されます。ナンバーボタン[1]~[0] [+] [-] ボタンを使って、バンク1~8のいずれかを選びます。

3: Bank 3

REGISTRATION MEMORY 1~4 ボタンを押すと、そのナンバーに記憶されていたレジストレーションデータがすぐに呼び出されます。ディスプレイには、パネルにセットされたレジストレーションナンバー[1]~[4]のいずれかが表示されます。



メモ

電源を入れた時やバンクを変更した時、ディスプレイのレジストレーションナンバー[1]~[4]はすべて消灯しています。

ワンタッチセッティングがオンの時は、レジストレーションデータを呼び出すことはできません。

ボイスデータだけを呼び出す(フリーズ機能)

フリーズ機能は、レジストレーションメモリーを呼び出すときに、現在のパネル上のアカンパニメントデータを固定(フリーズ)して、ボイスデータだけを呼び出す機能です。

FREEZEボタンを押して、フリーズ機能のオン/オフを切り替えます。

FREEZEボタンを押すと、フリーズがオンになり、ディスプレイのFREEZEのアイコンが点灯します。



点灯中にレジストレーションメモリーを呼び出すと、アカンパニメントデータはそのまま変更されず(フリーズされ)、ボイスデータが記憶されていた内容に変更されます。

FREEZEボタンを押して、ディスプレイのFREEZEのアイコンを消灯させると、フリーズがオフになります。

メモ

アカンパニメントデータに関しては44ページの「レジストレーションメモリーで記憶できるデータ」を参照してください。

レジストレーションのバンクを変更しても、フリーズのオン/オフ設定は変わりません。

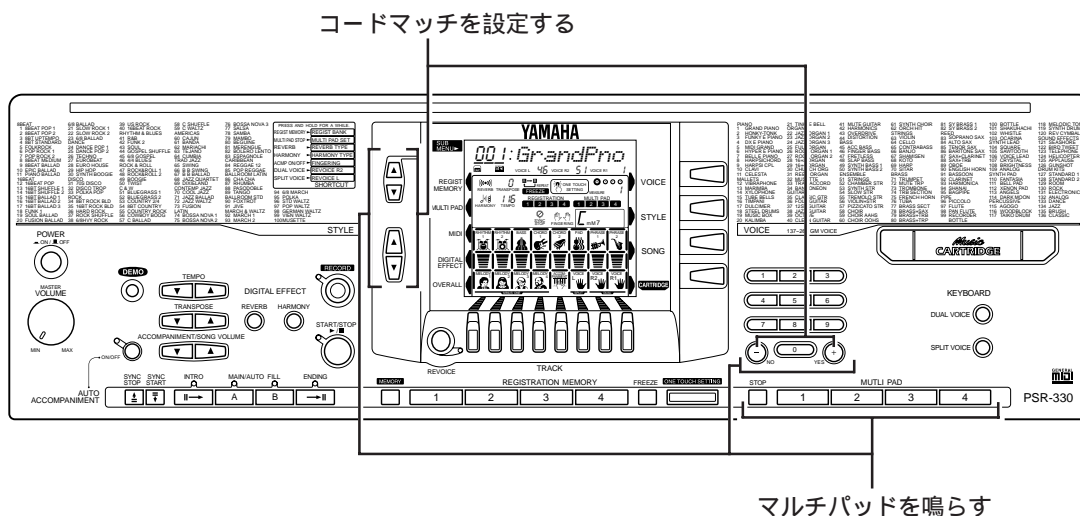
デモソング/カートリッジソングの再生中、ユーザーソングの録音/再生中に、レジストレーションメモリーを呼び出した場合、フリーズは自動的にオンになり、再生/録音が終了するとオフに戻ります。

パッドを鳴らしましょう(マルチパッド)

PSR-330のマルチパッドには、104種類のフレーズやドラムサウンドなどがプリセットされています(26セット×4)。演奏中にパッドを押すだけで、それらのフレーズやサウンドを鳴らすことができます。

マルチパッドは、演奏内容(ファンファーレやドラムなど)をそのまま鳴らすタイプと、コードマッチ可能なタイプの2種類があります。

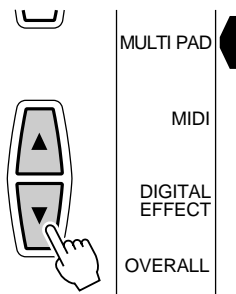
コードマッチタイプは、コードマッチの設定(48ページ参照)をオンにすれば、オートアカンパニメントのコードタイプとルート音に応じて、演奏内容の音程をトランスポーズ(移調)して鳴らします。オートアカンパニメントと一緒に使用すれば、演奏したコードに合ったフレーズを鳴らすことができます。



マルチパッドを鳴らす

1 マルチパッドセットを選びます。

MENU ボタンを押してMULTI PADメニューアイコンを点灯させて、「MULTI PAD」メニューを選びます。



SUB MENU ボタンを押してサブメニュー「マルチパッドセット名(例: Funky)」を呼び出すことができます。現在選ばれているセットがディスプレイの最上段に表示されます。ナンバーボタン[1]~[0][+][−]ボタンを使って、演奏したいセットナンバーを選びます。

01: Funky

ショートカット

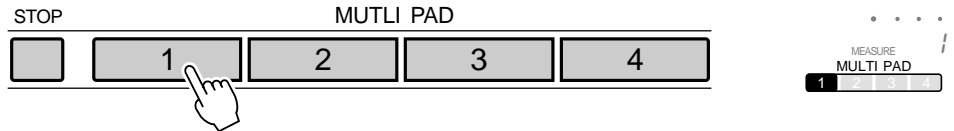
MULTI PAD STOPボタンを長く押すと、ダイレクトにメニュー「MULTI PAD」のサブメニュー「マルチパッドセット」(マルチパッドセットの選択画面)を呼び出すことができます。

メモ

マルチパッドセットのセット名に関しては77ページの「マルチパッドセットリスト」を参照してください。

2 マルチパッドを押します。

マルチパッド1~4のいずれかを押し、そのパッドの演奏が始まります。ディスプレイには演奏中のマルチパッド1~4のいずれかが表示されます。演奏を途中でストップしたい場合はSTOPボタンを押します。



メモ


パッドは、その時設定されているテンポで演奏されます。

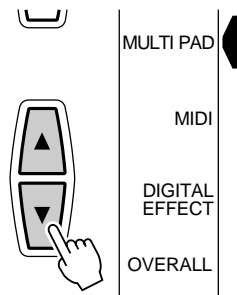
複数のパッドを同時に演奏することができます。ただし、ソング演奏中は、1パッドだけ演奏することができます。

コード変更に合わせてパッド演奏を移調する(コードマッチ)

コードマッチの設定をオンにすると、パッドの演奏内容はアカンパニメントのコード進行に合わせて移調されます。コードマッチオン/オフは、パッドごとに設定できます。

例)パッド1のコードマッチ設定

MENU ボタンを押してMULTI PADメニューアイコンを点灯させて、「MULTI PAD」メニューを選びます。



SUB MENU ボタンを押してサブメニュー「Pad1Chd」を選びます。現在のパッド1のコードマッチオン/オフ設定がディスプレイ最上段の左側に表示されます。

[+] [-] ボタンを使って、オン/オフを切り替えます。

on: Pad1Chd

同様に、マルチパッド2~4のコードマッチもサブメニュー「Pad2Chd」などを選び設定します。

メモ

ドラムやパーカッションのサウンドがプリセットされているパッドは、コードマッチを「オン」に設定しても移調されません。

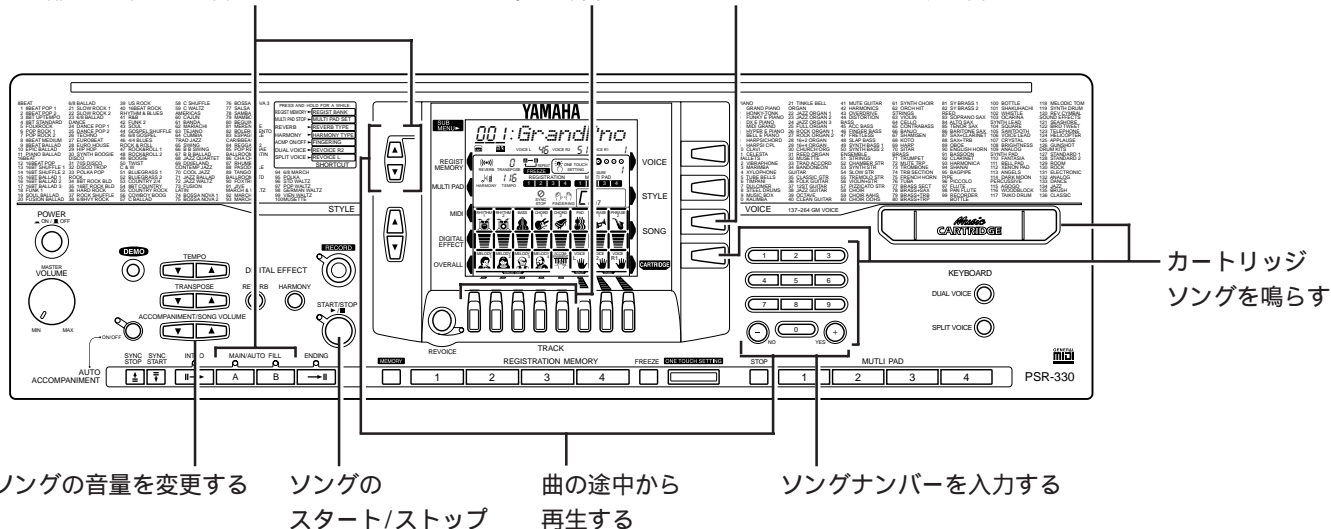
マルチパッドセットを選ぶと、コードマッチのオン/オフ設定は、初期設定に戻ります。

ソングを鳴らしましょ(ソング)

PSR-330のソングを選んで、1曲ずつ鳴らします。

カートリッジソングの鳴らし方は56ページを参照してください。

一部分を繰り返し再生する カラオケのように練習する 「SONG」メニューに切り替える

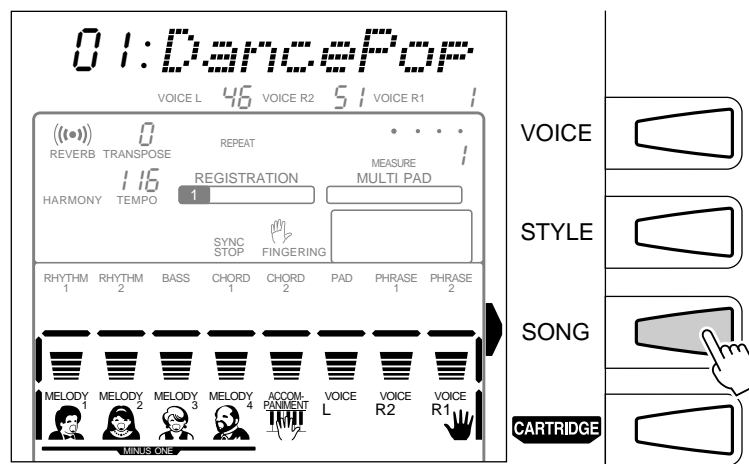


ソングを鳴らす(デモソング・ユーザーソング)

1 メニューを「SONG」に切り替えます。

SONGボタンを押すと、ディスプレイのSONGメニューアイコンが点灯し、「SONG」メニューに切り替わります。

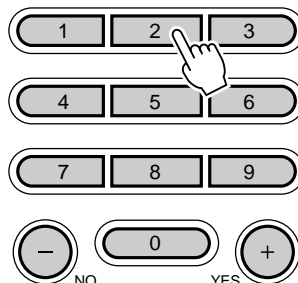
現在選ばれているソングナンバーとソング名がディスプレイの最上段に表示され、ソングトラック全体が枠で囲まれてディスプレイ下段に表示されます。



2 ソングナンバーを入力します。

ナンバーボタン[1]~[0][+][-]ボタンを使って、再生するソングを選びます。またSONGボタンを押すとソングナンバーが増加し、長く押すと連続して増加します。

02: W_Rock



3 ソングをスタート/ストップします。

START/STOPボタンを押すと、選ばれたソングの再生がスタートします。ソングの再生は、そのソングの演奏が終了すると自動的にストップします。



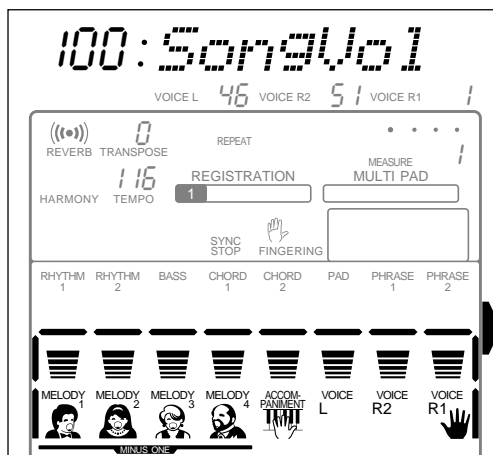
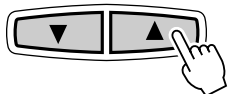
途中でソングをストップする場合は、もう一度START/STOPボタンを押してください。

ソングの音量を変更する(ソングボリューム)

ソング全体のボリュームを変更して、鍵盤演奏とのバランスをとることができます。

ディスプレイ下段にソングトラック全体が枠で囲まれて表示されている時に、ACCOMPANIMENT/SONG VOLUME ボタンを押すと、ディスプレイの最上段に現在のソングボリュームが表示されます。(ディスプレイ最上段のソングボリューム表示はしばらくするともとの表示に戻ります。)

ACCOMPANIMENT/SONG VOLUME



ACCOMPANIMENT/SONG VOLUME ボタンを使って、0～127の範囲でソングボリュームを変更します。ACCOMPANIMENT/SONG VOLUME ボタンを押すとディスプレイに表示された値が1増加、ACCOMPANIMENT/SONG VOLUME ボタンを押すと1減少、長く押すと連続で増減します。



メモ

ディスプレイの最上段にソングボリュームが表示されている間は、ナンバーボタン[1]～[0]、[+]、[-]ボタンを使ってソングボリュームを変更することもできます。

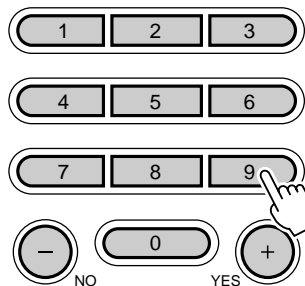
曲の途中から再生する(ソングメジャー)

SONGボタンを押すと、ディスプレイのSONGメニューアイコンが点灯し、「SONG」メニューに切り替わります。

SUB MENU ボタンを押してサブメニュー「Measure」を選びます。ディスプレイ最上段の左側に現在の小節ナンバーが表示されます。また、小節ナンバーはディスプレイにも常に表示されています。



ナンバーボタン[1]～[0][+][-]ボタンを使って、再生を始めた小節を指定してからSTART/STOPボタンを押すと、その小節から再生が始まります。



カラオケのように練習する(マイナスイオン再生)

ソングの各パートの演奏をミュート(消音)して、カラオケのようにそのパートを自分で演奏することをマイナスイオン再生と呼びます。マイナスイオン再生は特定のパート練習にたいへん便利です。

デモソングやミュージックカートリッジのソングを選び、ディスプレイ下のTRACKボタンを押して、練習したい演奏パートをミュートして、自分で演奏してみましょう。

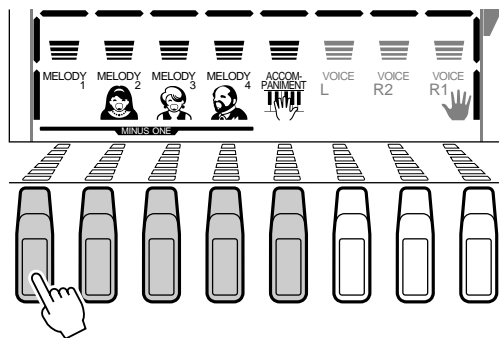
1 マイナスイオン再生するソングを選びます。

ソングの選びかた(49ページ参照)

カートリッジソングの選びかた(56ページ参照)

2 マイナスイオンするトラックを選びます。

ディスプレイの下のTRACKボタンを押してMELODY1~4, ACCOMPANIMENTトラックのトラックのアイコンを消灯させると、選んだトラックはオフになりそのパートはミュートされます。



3 マイナスイオン再生をスタート/ストップします。

ソングの再生と同様に、START/STOPボタンを押してマイナスイオン再生をスタート/ストップします。マイナスイオンしたパートを自分で演奏してみましょう。



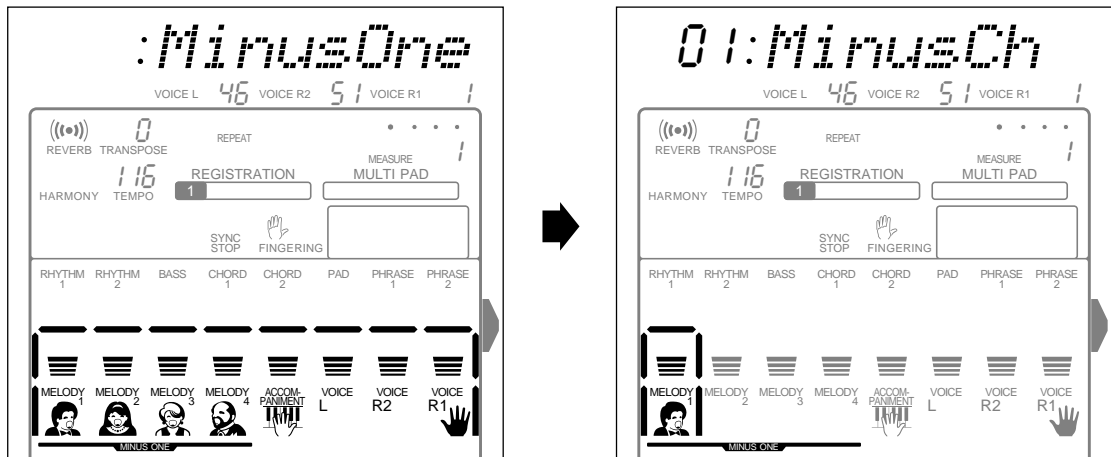
演奏中にTRACKボタンを押してアイコンを点灯させると、そのトラックがオンになりミュートされていたパート演奏が鳴り始めます。

マイナスイオンするチャンネルをトラックにアサインする

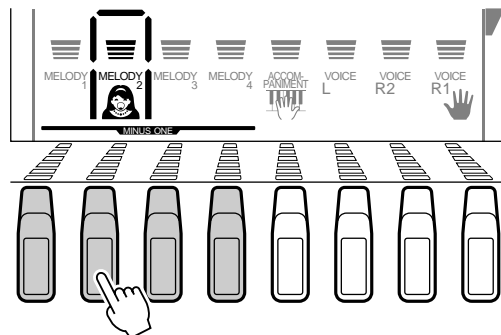
マイナスイオンするパートのチャンネルをトラックにアサインすれば(割り当てれば)そのチャンネルの演奏をTRACKボタンでオン/オフすることができます。マイナスイオンチャンネルを設定すれば、メロディ以外のパートをミュートするなど、自由にマイナスイオン再生することができます。

1 SONGボタンを押すと、ディスプレイのSONGメニューアイコン▶が点灯し、「SONG」メニューに切り替わります。

SUB MENU ボタンを押してサブメニュー「MinusOne」を選びます。しばらくするとディスプレイ表示が「MinusCh」に変わり、ディスプレイ最上段の左側にはマイナスイオンチャンネルが表示されます。また、ディスプレイ下段のMELODY1トラックのアイコンの外枠が点灯します。これはマイナスイオンチャンネルを設定するトラックを表しています。



2 TRACKボタンでMELODY1~4から設定変更するトラックを選ぶと、選んだトラックの外枠が点灯します。



ナンバーボタン[1]~[0][+][-]ボタンを使って、選んだトラックにアサインするチャンネルを1~16の中から選びます。

05: MinusCh

メモ

ソングを選んだ時、そのソングにマイナスイオンチャンネルの設定がある場合は、そのチャンネルが自動的に各トラックに設定されますが、そのチャンネルは変更することができます。

[+], [-]ボタンを同時に押し、ソングごとのそのトラックの初期設定チャンネルに戻ります。

ユーザーソングのマイナスイオンは、マイナスイオンチャンネルの設定に関らず、各トラックに録音した内容がマイナスイオンされます。

一部分を繰り返し演奏する(リピート再生)

デモソングやミュージックカートリッジのソングの自分が練習したいポイントに「A(リピートの始まり)」と「B(リピートの終り)」のマークを付けて、その間の演奏を繰り返し再生します。

1 リピート再生するソングを選びます。

ソングの選びかた(49ページ参照)

カートリッジソングの選びかた(56ページ参照)

2 サブメニュー「A-b Repeat」を選び、ソングをスタートします。

「SONG」メニューが選ばれていることを確認し、SUB MENU ボタンを押してサブメニュー「A-b Repeat」を選ぶと、MAIN/AUTO FILL A/Bランプが点滅します。(これはリピート再生の開始位置 [A] と終了位置 [B] が、まだマークされていないことを表します。)

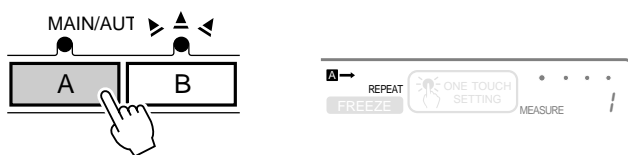


この状態でSTART/STOPボタンを押して、ソングをスタートします。




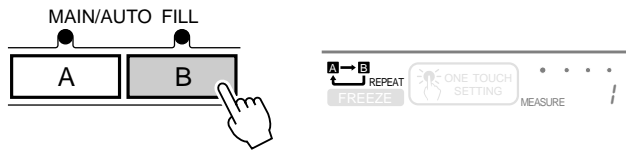
3 リピート再生の開始位置(A)をマークします。

ソングの再生中にMAIN/AUTO FILL Aボタンを押すと、MAIN/AUTO FILL Aランプが点灯し、リピート再生の開始位置(A)がマークされます。Aがマークされると、ディスプレイのREPEAT表示に A→ が点灯します。



4 リピート再生の終了位置(B)をマークします。

続いてMAIN/AUTO FILL Bボタンを押すと、MAIN/AUTO FILL Bランプが点灯し、リピート再生の終了位置(B)がマークされます。Bがマークされると、ディスプレイのREPEAT表示に  が点灯します。Bがマークされると、Aに戻ってA-B間のリピート再生を開始します。



メモ


A-B間のリピート再生は、小節単位で行われます。
Aだけをマークした場合は、ソング終了位置で自動的にBがマークされ、Aからソングの最後までを繰り返し演奏します。
リピート再生中に、もう一度MAIN/AUTO FILL Bボタンを押すと、終了位置(B)がキャンセルされ、終了位置(B)をもう一度設定することができます。
リピート再生中にメニューを変更しても、リピート再生は継続されます。
サブメニュー「A-b Repeat」が選ばれている時だけ、(A) (B)をマークすることができます。

5 リピート再生をストップします。

START/STOPボタンを押すと、ソングがストップします。
もう一度START/STOPボタンを押すと、再びリピート再生を行います。



リピート再生のキャンセル

MAIN/AUTO FILL Aボタンを押すと、 が消灯し、リピート再生はキャンセルされます。リピート再生中にキャンセルすると、そのまま通常の再生を続けます。



メモ

ソングナンバーを変えたり、RECORDボタンを押して録音モードに入ると、リピート再生はキャンセルされます。

ミュージックカートリッジのソングを鳴らす

デモソングやユーザーソング同様に、付属のミュージックカートリッジのソングを鳴らすことができます。

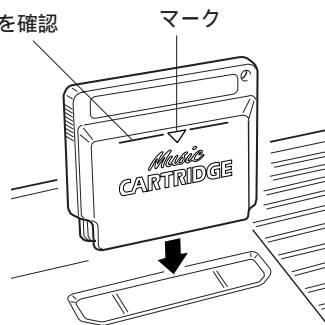
ミュージックカートリッジの挿入方法

- 1 PSR-330の電源を切り、ミュージックカートリッジの方向を間違えないように、挿入します。カートリッジの マークの下までは、軽く挿入できます。
- 2 ゆっくりと力を入れて、下図のように マーク全体が隠れるまで確実に挿入します。確認ラインまで挿入すると、挿入完了です。

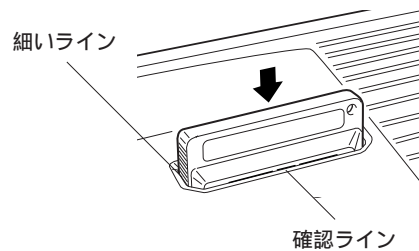
メモ

ミュージックカートリッジには、マークや確認ラインがないものがあります。この場合、カートリッジ側面の細いラインを目安に挿入してください。

確認ライン(挿入位置を確認するためのライン)



細いライン



ミュージックカートリッジ、およびカートリッジスロット取扱上の注意

極端な温度変化のあるところに、ミュージックカートリッジを置かないでください。

ミュージックカートリッジを落としたりして、ショックを与えないようご注意ください。

ミュージックカートリッジを分解しないでください。

ミュージックカートリッジの端子に直接触れないでください。端子が汚れて接触不良の原因になったり、静電気によりデータが破損し正常な動作をしなくなる場合があります。

本体のカートリッジスロットに、ヤマハミュージックカートリッジ以外の物を入れないでください。カートリッジスロット、およびミュージックカートリッジ破損の原因になります。

ミュージックカートリッジを、カートリッジスロット以外のものに挿入しないでください。ミュージックカートリッジ破損の原因になります。

ミュージックカートリッジの挿入や取り出しは、電源を切った状態で行ってください。電源を入れた状態で、ミュージックカートリッジを挿入したり、取り出したりすると、PSR-330のメモリーデータ(ユーザーソングデータ、レジストレーションデータ)が失われたり、PSR-330が操作不能になる場合があります。

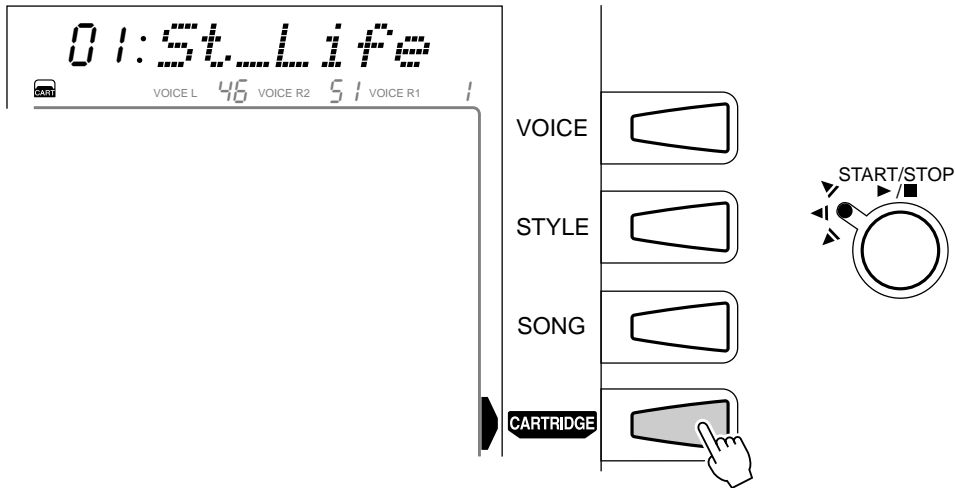
ミュージックカートリッジ基板の端子部分にゴミ、汚れなどが付着すると、ミュージックカートリッジを挿入してもカートリッジの内容が呼び出せなかったり、正しく再生されない場合があります。このような時は、ミュージックカートリッジを挿入したり、取り出したり、2~3回繰り返してください。それでもカートリッジの内容が呼び出せなかったり、正しく再生されない場合は、ミュージックカートリッジ基板の端子部分を乾いた布で拭いてください。

1 メニューを「CARTRIDGE」に切り替えます。

CARTRIDGEボタンを押すと、ディスプレイのCARTRIDGEメニューアイコンが点灯し、「CARTRIDGE」メニューに切り替わります。
ソングナンバーの下にカートリッジのアイコンが点灯し、現在選ばれているカートリッジソングがディスプレイの最上段に表示されます。また、START/STOPランプが点滅します。

メモ

ミュージックカートリッジが挿入されていない場合、ディスプレイに「No Cart」が表示されます。



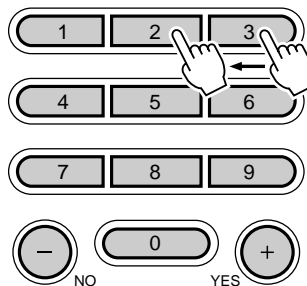
2 必要に応じてカートリッジのソングナンバーを入力します。

ナンバーボタン[1]~[0][+][-]ボタンを押して、カートリッジのソングナンバーを入力します。またCARTRIDGEボタンを押すとソングナンバーが増加し、長く押すと連続して増加します。

「SONG」メニューからカートリッジのソングを選ぶには...

「SONG」メニューで、サブメニューにソング名が選ばれている状態で、[3]を押し続けてアイコンを点灯させると、ナンバーボタン[1]~[0]を押してカートリッジのソングナンバーを選ぶことができます。

例) カートリッジのソングナンバー2を選ぶ場合
[3]を押し続けてアイコンを点灯させてから、
[2]を押します。



また、[+][-]ボタンを使って、カートリッジのソングナンバーを選ぶこともできます。この時、ソングナンバーは、内蔵ソングナンバー、ユーザーソングナンバー、カートリッジソングナンバーの順で表示されます。

3 ソングをスタートします。

デモソングやユーザーソング同様、START/STOPボタンを押して、カートリッジのソングの再生をスタート/ストップします。



メモ

カートリッジソングも、デモソングやユーザーソング同様、音量を変更したり、曲の途中から再生したりできます。(50ページ参照)

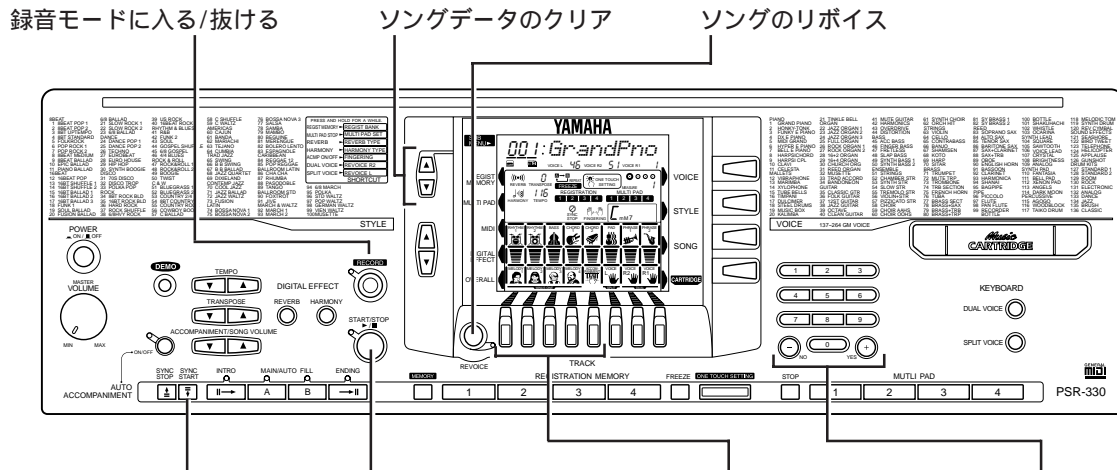
カートリッジソングは、リボイス(64ページ参照)はできません。

録音しましょう

PSR-330は、ユーザーソングとして2曲(ソングナンバー21~22)、自分の演奏を録音することができます。

ユーザーソングは、1曲ごとに5つのトラックを使って録音することができます。

- | | |
|-------------------|----------------------------|
| ACCOMPANIMENTトラック | コード進行やセクションの変更データなどを録音します。 |
| MELODY1~4トラック | メロディ演奏を録音します。 |



リハーサルモードに入る 録音をスタートする/ストップする 録音するトラックを選ぶ ソングナンバーを入力する

ユーザーソングに録音できるデータは以下のとおりです。

ACCOMPANIMENTトラックに録音できるデータ

- ・セクションの変更
- ・アカンパニメントスタイルナンバー*
- ・アカンパニメント8トラックの各トラック変更データ(トラックオン/オフ、ボイスナンバー、ボリューム、パン、リバーブセンドレベル)
- ・アカンパニメントボリューム*
- ・コード変更、コード押鍵のタイミング
- ・リバーブオン/オフ
- ・リバーブタイプ
- ・テンポ/拍子(ACCOMPANIMENTトラックとMELODYトラックの共有データ)

MELODY 1~4トラックに録音できるデータ

- ・ノートオン/オフ(押鍵/離鍵)
- ・ベロシティ(押鍵の強弱)
- ・R1ボイス(ボイスナンバー、ボリューム、オクターブ*、パン、リバーブセンドレベル)
- ・デュアルボイスオン/オフ
- ・R2ボイス(ボイスナンバー、ボリューム、オクターブ*、パン、リバーブセンドレベル)
- ・ハーモニーオン/オフおよび、タイプ**
- ・ペダルサステインオン/オフ
- ・スケールチューニング***

ソングメモリーの容量は「ACCOMPANIMENTトラックのコード変更:最大1400コード、またはMELODYトラック1~4の音(キーオン/オフ):最大1000音」です。

* は録音開始時のデータのみ、記録します。録音途中の変更はできません。

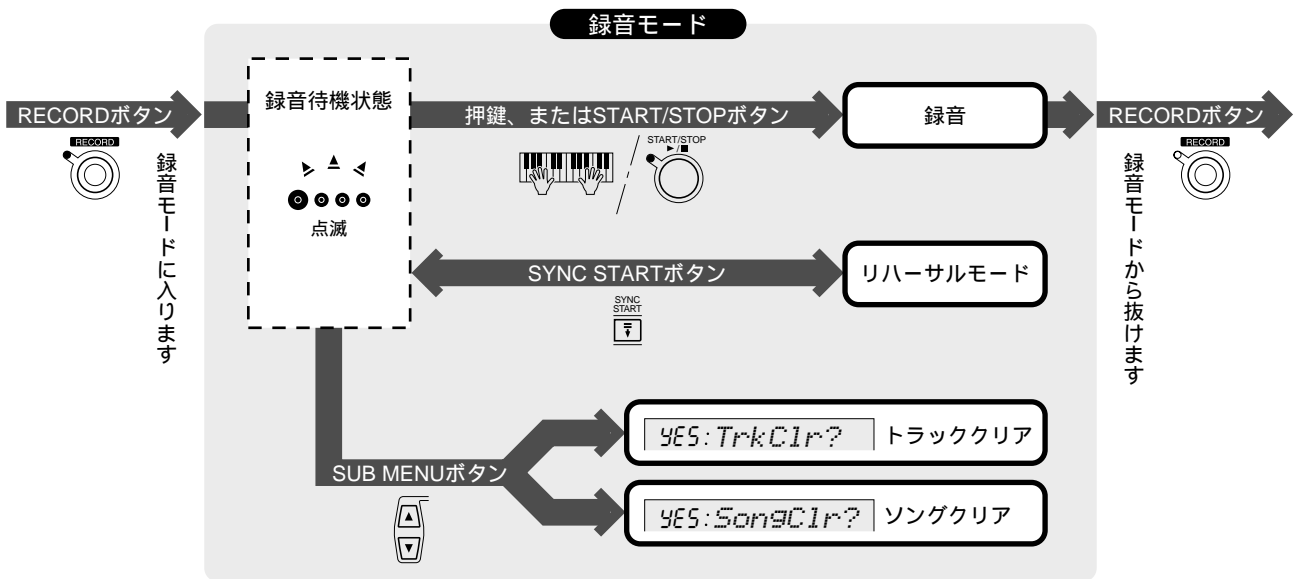
** は録音開始時に、メロディトラック全体で1つのデータが記録されます(後着優先)。複数のトラックにハーモニーをかけて録音した場合、最後にハーモニーをかけて録音したトラックのデータが記録されます。

*** は録音開始時のデータのみ、記録します。録音途中の変更はできません。また、メロディトラック全体で1つのデータ(後着優先)が記録されます。

メモ

録音中に電源を切った場合、録音中に電源アダプターがコンセントから外れた場合、電池が切れた場合、ソングデータが失われますのでご注意ください。

録音モードでできること



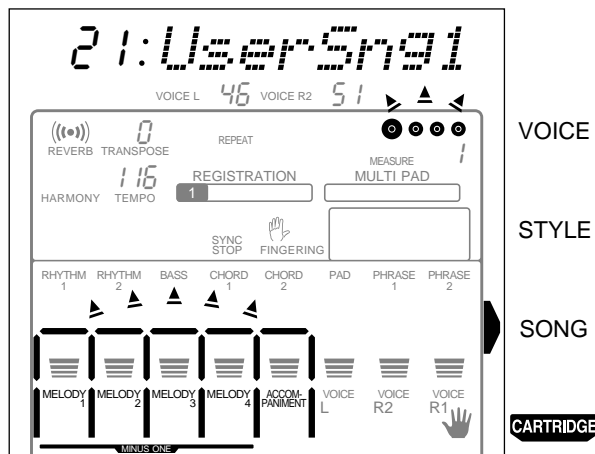
ソングを録音する(ユーザーソング)

1 録音モードに入ります。

RECORDボタンを押すと、RECORDランプが点灯し、録音モードに入ります。自動的にディスプレイのSONGメニューアイコン▶が点灯し、「SONG」メニューに切り替わります。ディスプレイ最上段にはユーザーソングナンバーが表示されます。

ディスプレイのビートランプ(4つすべて)がテンポに合わせて点滅し、録音待機状態(シンクロスタート待機状態)になります。

ディスプレイ下段のMELODY1~4トラックとACCOMPANIMENTトラックの外枠が点滅します。(録音トラック選択待機状態)



メモ

録音待機状態では、すでに録音データが記録されているトラックのアイコンは点灯しています。

デモソングやカートリッジソングが選ばれている時に録音モードに入ると、何も録音されていないユーザーソングナンバーが自動的に選ばれて、ディスプレイに表示されます。ただし、ユーザーソング2曲がすでに録音されている場合は、ソングナンバー「21」(ユーザーソングナンバー1)が選ばれます。

ユーザーソングナンバーが選ばれている状態で録音モードに入ると、そのユーザーソングナンバーの録音待機状態になります。

録音待機状態になると、パネルは以下のように変更されます。

Measureは「1」にリセットされます。(特定の小節からの録音はできません。)

メトロノームの設定(33ページ参照)がオンになっていれば、設定されているテンポでメトロノーム音が鳴ります。

レジストレーションメモリーのフリーズ設定は自動的にオンになります。(オフできません。)

シンクロストップはオフになります。

2 必要に応じてユーザーソングナンバーを選びます。

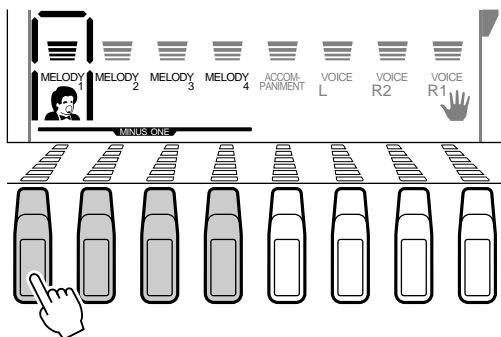
1で選ばれたユーザーソングナンバーを変更したい場合は、ナンバーボタン[1]-[0] [+] [-]ボタンを使って、別のユーザーソングナンバーを選びます。

3 録音するトラックを選びます。

MELODYトラックを録音する場合

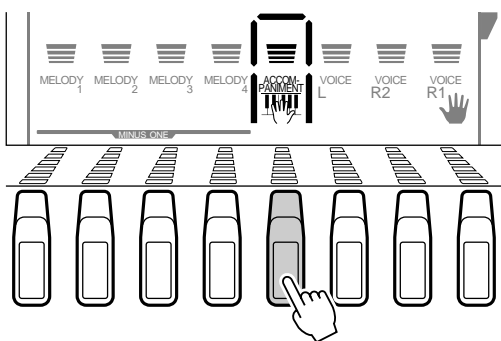
TRACKボタンを押して、MELODY1～4から録音トラックを1つ選びます。

たとえば、MELODY1トラックの下のTRACKボタンを押すと、MELODY1トラックの外枠が点灯し、その他のトラックの外枠は消灯します。これは、録音トラックとしてMELODY1トラックが選ばれたことを表しています。



ACCOMPANIMENTトラックを録音する場合

ACCOMPANIMENTトラックの下のTRACKボタンを押すと、ACCOMPANIMENTトラックの外枠が点灯し、録音トラックとしてACCOMPANIMENTトラックが選ばれます。(オートアカンパニメントがオフの時にこの操作をすると、オートアカンパニメントは自動的にオンになります。)



メモ

複数のMELODYトラックを同時に録音することはできません。

R1ボイスとR2ボイス(デュアルボイス)を、1つのMELODYトラックに同時に録音することができます。

パネルのAUTO ACCOMPANIMENTがオンの時に、録音するトラックを選ばずに録音をスタートすると、MELODY1トラックとACCOMPANIMENTトラックの録音になります。

メモ

ACCOMPANIMENTトラックとMELODYトラック1つを、同時に録音することができます。

ACCOMPANIMENTトラックをオフにすると、パネルのオートアカンパニメントもオフになります。

オートアカンパニメントをオンにすると、録音トラックとしてACCOMPANIMENTトラックが自動的に選ばれます。

録音がスタートすると、オートアカンパニメントのオン/オフの切り替えは行えません。

リハーサルモードについて

録音待機状態でSYNC STARTボタンを押すと、録音待機状態が解除され(ビートランプ消灯)、リハーサルモードに入ります。リハーサルモードでは、録音前に演奏してみることができます。

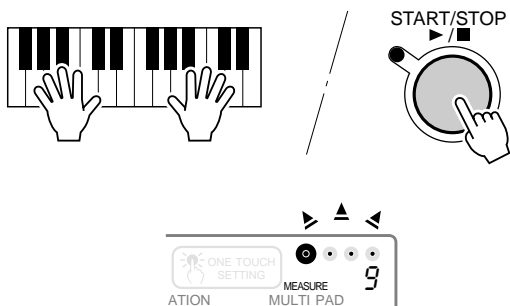
もう一度SYNC STARTボタンを押すと、録音待機状態に戻ります。



4 録音をスタートします。

演奏を始めると、録音がスタートします(シンクロスタート)。また、START/STOP ボタンを押して録音をスタートすることもできます。

録音中、ディスプレイのMEASUREには小節ナンバーが表示され、ビートランプがテンポに合わせて点滅します。



メモ

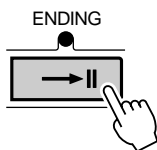
録音は小節単位で行われます。
録音をスタートすると、そのトラックに録音されていたデータは、新しいデータに書き変わります。
オートアкомпニメントがオンで、ACCOMPANIMENTトラックを録音する場合、START/STOPボタンを押しても録音はスタートしますが、コードを押さえるまでACCOMPANIMENTトラックにリズムだけが録音されます。
録音中、TRACKボタンを押して、他の録音済みのトラックの再生をオン/オフすることができます。
録音途中でメモリー容量がいっぱいになると「FULL」がディスプレイに表示され、録音は自動的にストップし、リハーサルモードになります。

5 録音をストップします。

START/STOPボタンを押すと録音がストップし、録音待機状態に戻ります。



ACCOMPANIMENTトラック録音中は、ENDINGボタンを押すと、エンディングセクションを演奏してから録音をストップし、録音待機状態に戻ります。



録音を終了すると、小節ナンバーは「1」に戻ります。

メモ

録音中にSYNC STARTボタンを押すと、録音をストップして録音待機状態に戻ります。
電源を切っても、ユーザーソングの内容をバックアップ(保持)することができます。詳しくは83ページをご参照ください。

6 必要に応じて、他のトラックを録音します。

必要に応じて、3~5を繰り返し、他のトラックを録音しましょう。

メモ

録音待機中にVOICEボタンを押して「VOICE」メニューを選ぶと、R1ボイスを変更することができます。(ボイスセットがオンの場合、R1ボイスにパネルボイスを選ぶと、R2ボイスは自動的に変更されます。)R2ボイスやその他の設定を変更したい場合は、一度録音モードを抜けてから設定します。

7 録音モードを抜けます。

RECORDボタンを押すと、RECORDランプが消灯し、録音モードから抜けます。
内蔵ソングと同様に、録音したユーザーソングを再生してみましょう。



メモ

ユーザーソングに録音したデータを書き替える(リボイスする)ことができます。(64ページ参照)

ソングデータのクリア

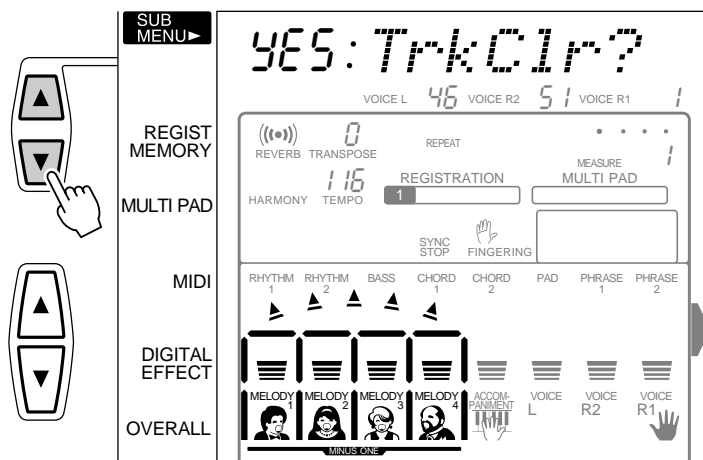
不要になった録音データをクリア(消去)します。ソングデータのクリアには「トラックごとのクリア」と「ソング全体のクリア」の2種類があり、クリア操作は録音待機状態、またはリハーサルモード時に行います。

トラックごとのクリア

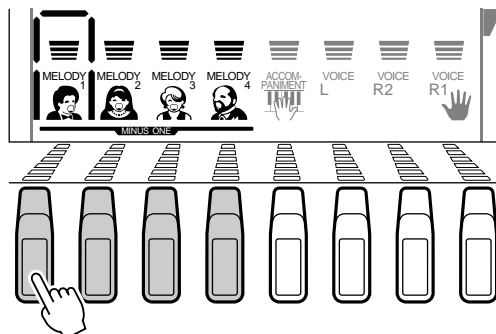
録音待機状態(59ページ参照) またはリハーサルモード時(60ページ参照)に、SUB MENU ボタンを押してサブメニュー「TrkClr?」を選びます。データが記録されているトラックの外枠が点滅して、クリアするトラックとして選べることを表します。

メモ

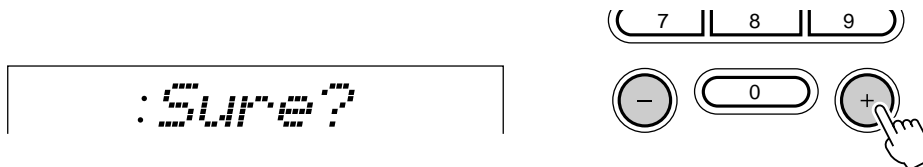
ACCOMPANIMENTトラックはクリアできません。
デモソング、カートリッジソングのトラックはクリアできません。



TRACKボタンを押してクリアするトラックを選びます。選んだトラックの外枠が点灯し、その他のトラックの外枠は消灯します。



YES[+]ボタンを押すと、ディスプレイに「Sure?」が表示され、トラッククリアの実行を確認します。もう一度YES[+]ボタンを押すと、トラッククリアが実行されます。NO[-]ボタンを押すと、トラッククリアは実行されません。(サブメニュー「TrkClr?」に戻ります。)



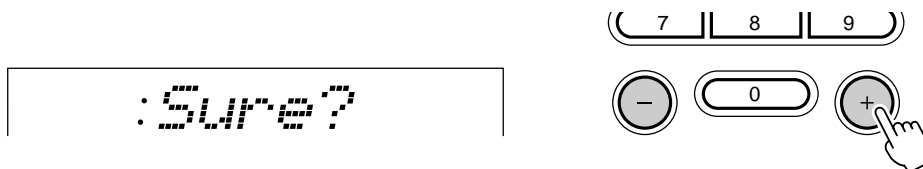
ソング全体のクリア

ソング選択のサブメニュー(59ページ参照)で、クリアしたいユーザーソングが選ばれていることを確認します。

録音待機状態(59ページ参照) またはリハーサルモード時(60ページ参照)に、SUB MENU ボタンを押してサブメニュー「SongClr?」を選びます。



YES[+]ボタンを押すと、ディスプレイに「Sure?」が表示され、ソングクリアの実行を確認します。もう一度YES[+]ボタンを押すと、ソングクリアが実行されます。NO[-]ボタンを押すと、ソングクリアは実行されません。(サブメニュー「SongClr?」に戻ります。)



メモ

デモソング、カートリッジソングはクリアできません。

ソングのボイスデータを書き替える(ユーザーソングのリボイス)

ボイスのリボイス(40ページ参照)、スタイルのリボイス(42ページ参照)同様に、ユーザーソングデータをリボイスすることができます。ユーザーソングのリボイスは、ユーザーソングデータの書き替えになります。

1 リボイスモードに入ります。

REVOICEボタンを押してリボイスモードに入ります。(REVOICEランプ点灯)



メモ

「SONG」メニューが選ばれている状態で、REVOICEボタンを押すと、自動的にソングのリボイスモードに入りますので、2の操作は不要になります。

リボイスモードに入った時に選ばれているユーザーソングがリボイスされます。

ソングの録音中は、リボイスモードに入れません。

アコンパニメントスタイルを再生しながら、スタイルまたはボイスのリボイスをしている場合、ソングのリボイスモードへ移行できません。

デモソング、カートリッジソングはリボイスできません。

2 必要に応じてソングのリボイスモードに切り替えます。

ボイス、またはスタイルのリボイスモードが選ばれている場合は、SONGボタンを押して、ディスプレイのSONGメニューアイコン()を点灯させ、ソングのリボイスモードを選びます。

ソングのリボイスモードを選ぶと、ディスプレイのMELODY1アイコンの外枠が点灯します。(これはMELODY1トラックがリボイスできる状態であることを表します。)

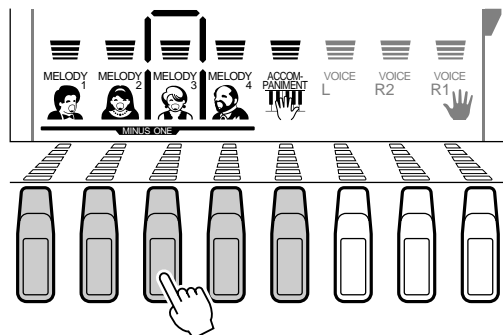


メモ

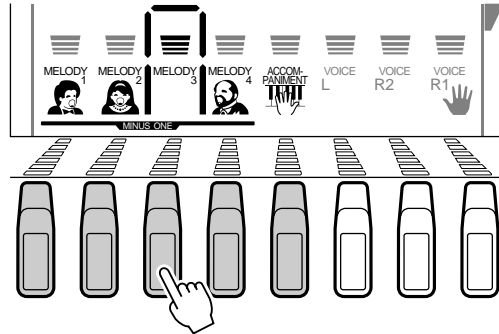
ソングのリボイスモードに入ってから、VOICEボタンを押すとボイスのリボイスモード(40ページ参照)に、STYLEボタンを押すとスタイルのリボイスモード(42ページ参照)になります。また、CARTRIDGEボタンを押したり、MENUボタンを押してディスプレイ左側に表記されているメニューを選ぶと、リボイスは自動的にオフ(REVOICEランプ消灯)になります。

3 リボイスするトラックを選びます。

ディスプレイの下のTRACKボタンを押してMELODY1~4、ACCOMPANIMENTトラックからリボイスするトラックを選びます。選んだトラックは、アイコンの外枠が点灯します。



選んだトラックの下のTRACKボタンを押すと、各トラックのオン/オフ(アイコン点灯/消灯)を切り替えることができます。リボイス中に実際に音を鳴らして確認したい場合は、そのトラックをオンにしておきましょう。



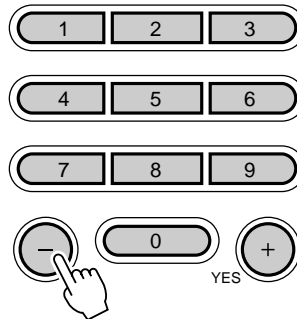
4 リボイスします。

SUB MENU ボタンを押して、変更したいボイスパラメーターを選びます。選んだパラメーターと現在の設定が、ディスプレイ最上段に表示されます。

100: RevSndLv

ナンバーボタン[1]~[0][+][-]ボタンを使って、設定を変更します。

70: RevSndLv



各パラメーターに関しては39ページを参照してください。

メモ

R1/R2ボイスを1つのトラックに録音した場合、R1ボイスだけをリボイスすることができます。

ACCOMPANIMENTトラックはボリュームだけリボイスできます。その他のパラメーターを選ぶと、ディスプレイの最上段の左側に「- - -」が表示され、リボイスできません。

データのないトラックを選ぶと、ディスプレイの最上段の左側に「- - -」が表示され、リボイスできません。

ソングのリボイスで変更した各パラメーターのデータは、1トラックに1つだけ記録できます。ソングを再生しながらリボイスした場合は、最後の変更データだけが記録されます。

5 リボイスを終了します。

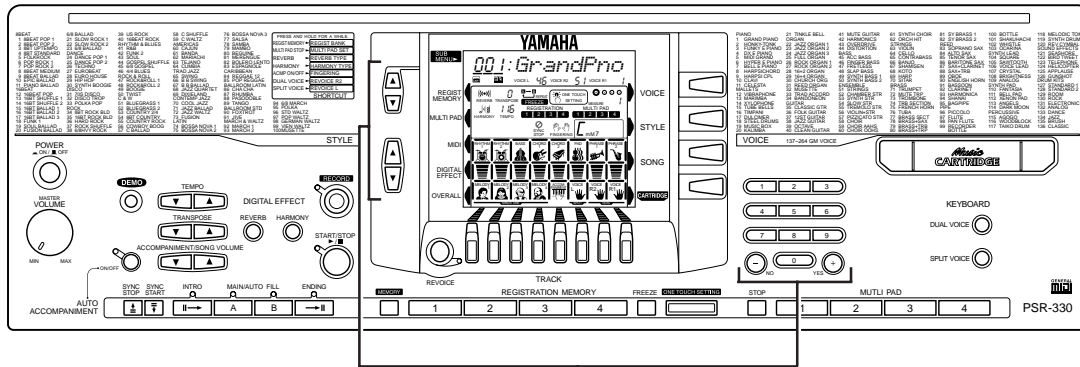
必要に応じて3~4を繰り返し、リボイスした状態でソングを再生して、各ボイスパラメーターの設定を確認しましょう。

リボイスの設定変更が終了したらREVOICEボタンを押してリボイスモードから抜けます(REVOICEランプ消灯)。



MIDI機器を接続して演奏しましょう

PSR-330はリアパネルにMIDI端子(MIDI IN、MIDI OUT)がついています。MIDI機能の活用により、音楽の可能性を広げることができます。ここではMIDIとは何か、MIDIでできること、PSR-330のMIDI関連の操作方法などについて説明します。



外部機器にMIDIデータを送信する
外部機器からMIDIデータを受信する
その他のMIDI設定

MIDIって何？

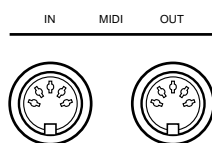
MIDI(ミディ)は、「Musical Instrument Digital Interface」の略で、「電子楽器間のデジタル通信」という意味です。MIDIは電子楽器どうし(またはコンピューターなどと)で演奏情報のやりとりを行うために生まれた世界共通の規格です。複数のMIDI楽器(機器)をケーブルで接続すれば、機器間で様々な演奏情報が送受信でき、より高度な演奏が可能になります。

MIDI端子について

PSR-330のリアパネルには2種類のMIDI端子がついています。

MIDI IN 他のMIDI機器からのMIDI信号を受信します。

MIDI OUT PSR-330の演奏情報をMIDI信号として他のMIDI機器へ送信します。



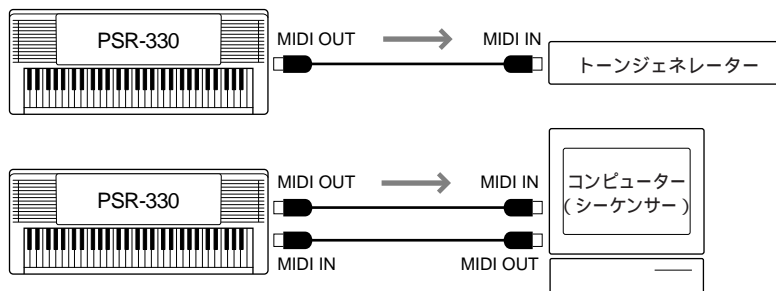
メモ

MIDI機器の接続には専用のMIDIケーブル(別売)が必要です。楽器店などで買い求めください。

あまり長いケーブルを使用すると、エラーが生じる場合があります。ケーブルは15m以内のものをご使用ください。

外部機器にMIDIデータを送信する(MIDI送信設定)


PSR-330のMIDI OUT端子とMIDIキーボードや音源ユニットを接続した場合、PSR-330で演奏するとMIDIキーボードまたは音源ユニットも同時に鳴り、厚みのある演奏ができます。また、PSR-330のMIDI OUT端子とシーケンサーのMIDI IN端子を接続した場合、PSR-330の演奏をMIDIシーケンサーに録音できます。コンピューターやシーケンサーのデータ入力にも使用できます。

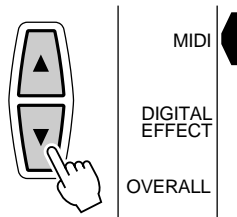


PSR-330では、何チャンネル(送信チャンネル)で、どのトラックの演奏内容を送信するか(送信トラック)を組み合わせ設定します。

下記の1~2の操作を繰り返せば、最大16チャンネルの送信設定が可能です。

1 送信チャンネルを選びます。

MENU ボタンを押してMIDIメニューアイコンを点灯させて、「MIDI」メニューを選びます。



SUB MENU ボタンを押してサブメニュー「Tr.Ch」を選びます。ディスプレイ最上段の左側に送信チャンネルが表示されます。

01: Tr. Ch

ナンバーボタン[1]~[0][+][-]ボタンを使って、1~16の中から送信チャンネルを選びます。

次に次頁の方法で、選んだMIDIチャンネルでデータを送信するトラックを設定します。

2 送信トラックを設定します。

SUB MENU ボタンを押してサブメニュー「Tr.Trk」を選びます。ディスプレイ最上段の左側に送信トラックが表示されます。

r 1: Tr. Trk

[+] [-] ボタンを使って、1で設定した送信チャンネルでデータを送信するトラック(下記参照)を選びます。

<i>r 1</i>	鍵盤の右手演奏(R1ボイス)
<i>r 2</i>	鍵盤の右手演奏(R2ボイス)
<i>L</i>	鍵盤の左手演奏(Lボイス)
<i>rH 1</i>	オートアカンパニメントのリズム1トラック演奏
<i>rH 2</i>	オートアカンパニメントのリズム2トラック演奏
<i>bB5</i>	オートアカンパニメントのベーストラック演奏
<i>[CH 1</i>	オートアカンパニメントのコード1トラック演奏
<i>[CH 2</i>	オートアカンパニメントのコード2トラック演奏
<i>PRd</i>	オートアカンパニメントのパッドトラック演奏
<i>PH 1</i>	オートアカンパニメントのフレーズ1トラック演奏
<i>PH 2</i>	オートアカンパニメントのフレーズ2トラック演奏
<i>oFF</i>	オフ(何も送信しません)

メモ

サブメニュー「Tr.Ch」と「Tr.Trk」はSUB MENU ボタンで切り替えることができます。

初期設定は「01チャンネル=鍵盤の右手演奏(R1ボイス)」、「02チャンネル=鍵盤の左手演奏(Lボイス)」、「11チャンネル=鍵盤の右手演奏(R2ボイス)」、「その他のチャンネル=OFF」です。

MIDIループによる機器の動作不良を避けるため、PSR-330のローカルオン/オフの設定(70 ページ参照)と、外部機器のMIDI THRUの設定を確認してください。

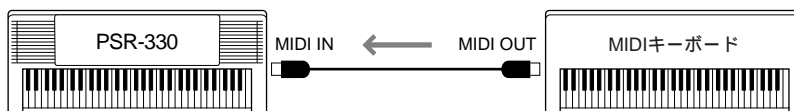
複数のチャンネルに同じ送信トラックを設定すると、数字の一番小さなチャンネルからそのトラックの演奏が出力されます。

電源を切っても、MIDI送信トラックの設定をバックアップ(保持)することができます。詳しくは83ページをご参照ください。

ディスプレイのソングトラック(MELODY 1 ~ 4, ACCOMPANIMENT)が枠で囲まれて表示されている時(ソング再生中、停止中、録音中、録音待機状態、リハーサルモード時)は、MIDIデータを送受信できません。

外部機器からMIDIデータを受信する(MIDI受信設定)

外部機器の送信チャンネルとPSR-330の受信チャンネルを合わせれば、MIDIキーボードでPSR-330を演奏できます。また、外部機器の演奏をPSR-330で鳴らすことができます。




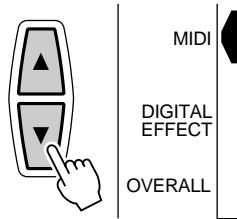
PSR-330では、どのチャンネル(受信チャンネル)でデータを受信して、PSR-330をどのように鳴らすか(受信モード)を組み合わせで設定します。次頁の1~2の操作を繰り返して、全チャンネルから演奏データを受信すれば、PSR-330は最大16チャンネルのマルチ音源になります。

メモ

受信チャンネルナンバーと外部機器の送信チャンネルナンバーは必ず合わせてください。

1 受信チャンネルを選びます。

MENU ボタンを押してMIDIメニューアイコンを点灯させて、「MIDI」メニューを選びます。



SUB MENU ボタンを押してサブメニュー「Rcv.Ch」を選びます。現在設定されているレシーブチャンネルナンバーが、ディスプレイ最上段の左側に表示されます。

01:Rcv.Ch

ナンバーボタン[1]~[0] [+] [-] ボタンを使って、1~16の中からレシーブチャンネルのナンバーを選びます。

次に下記の方法で、選んだ受信チャンネルの受信モードを設定します。

2 受信モードを設定します。

SUB MENU ボタンを押してサブメニュー「Rcv.Mod」を選びます。ディスプレイ最上段の左側に現在選ばれている受信モードが表示されます。

[+] [-] ボタンを使って、1で設定した受信チャンネルの受信モード(下記参照)を選びます。

rE(リモート)

受信した演奏データがPSR-330の押鍵と同様に扱われます。PSR-330のオートアカンパニメントをオンにしておけば、フィンガリングモードの設定(35ページ参照)に従い、MIDIキーボードでPSR-330のオートアカンパニメントを演奏できます。

rE:Rcv.Mod

nor(ノーマル)

受信した演奏データがPSR-330の音源に直接入力されます。外部機器の演奏をPSR-330の音源で鳴らすことができます。

全チャンネルを「nor」に設定すれば、PSR-330は最大16チャンネルのマルチ音源になります。

nor:Rcv.Mod

oFF(オフ)

演奏データを受信しません。

oFF:Rcv.Mod

メモ

サブメニュー「Rcv.Ch」と「Rcv.Mod」はSUB MENU ボタンで切り替えることができます。

電源を切っても、MIDI受信モードの設定をバックアップ(保持)することができます。詳しくは83ページをご参照ください。

ディスプレイのソングトラック(MELODY 1~4、ACCOMPANIMENT)が枠で囲まれて表示されている時(ソング再生中、停止中、録音中、録音待機状態、リハーサルモード時)は、MIDIデータを送受信できません。

その他のMIDI設定について

ローカルオン/オフ設定


ローカルコントロールのオン/オフ設定を行います。ローカルコントロールは、PSR-330の演奏を、PSR-330の内部音源で鳴らす(オン)鳴らさない(オフ)という設定です。

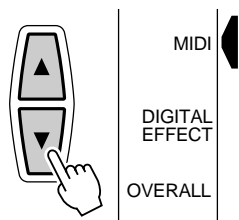
on(ローカルオン)

本体の演奏は通常どおりPSR-330で発音します。またMIDI INから受信した情報もPSR-330で発音します。

oFF(ローカルオフ)

本体の演奏はPSR-330で発音しません。ただし、MIDI INから受信した情報(受信モードが「no(ノーマル)」に設定された受信チャンネルの情報のみ)はPSR-330で発音します。

MENU ボタンを押してMIDIメニューアイコンを点灯させて、「MIDI」メニューを選びます。



SUB MENU ボタンを押してサブメニュー「Local」を選びます。現在のローカルオン/オフ設定が、ディスプレイの最上段の左側に表示されます。

on:Local


[+][-]ボタンを使って、on/oFF(ローカルオン/オフ)を設定します。

クロックの設定

PSR-330とMIDIケーブルで接続した外部機器のクロックに同期させる(オン)させない(オフ)を設定します。

oFF PSR-330の内部クロックで作動します。

on 外部機器のクロックで作動します。

MENU ボタンを押してMIDIメニューアイコンを点灯させて、「MIDI」メニューを選びます。

SUB MENU ボタンを押してサブメニュー「ExtClock」を選びます。現在のクロック設定が、ディスプレイ最上段の左側に表示されます。

oFF:ExtClock

[+][-]ボタンを使って、クロックon/oFFを設定します。



電源を入れた時、ローカルオン/オフの設定は「on」(ローカルオン)になります。



電源を入れた時、クロックの設定は「oFF」になります。

クロックが「on」の時、以下のような現象が起こります。

パネルのSTART/STOPボタンを押しても、オートアカンパニメントはスタートしません。


シンクロ待機状態で鍵盤を押さえても、アカンパニメントはスタートしません。

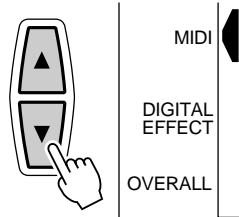
マルチパッドを押しても、演奏されません。

バルクダンプ送信/バルクダンプ受信

バルクダンプ送信

バルクダンプとは、PSR-330のメモリーデータ(ユーザーソングデータ、レジストレーションメモリーデータ)をMIDI OUTから送信する機能です。バルクダンプ送信して、データをシーケンサーやデータファイラーに記録しておくことができます。

MENU ボタンを押してMIDIメニューアイコンを点灯させて、「MIDI」メニューを選びます。



メモ

バルクダンプ送信を途中で中止する場合は、NO [-] ボタンを押してください。

バルクダンプ送信中は、NO [-] ボタン以外、パネルの操作はできません。

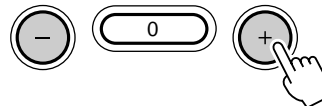
SUB MENU ボタンを押してサブメニュー「BkSnd?」を選びます。

YES: BkSnd?

YES[+] ボタンを押すと、ディスプレイに「Sure?」が表示され、バルクダンプ送信の実行を確認します。もう一度YES[+] ボタンを押すと、バルクダンプ送信が実行されます。NO[-] ボタンを押すと、バルクダンプは実行されません。

(7 | 8 | 9)

: Sure?



バルクダンプの送信中、ディスプレイは「BkSnd:Rg」(レジストレーションメモリーデータ送信中)、「BkSnd:Sg」(ユーザーソングデータ送信中)を表示します。送信が終了すると、ディスプレイに「End」が表示されます。

バルクダンプ受信

もう1台のPSR-330やデータファイラーなどの外部機器からバルクダンプ(エクスクルーシブメッセージ)を受信することができます。受信するとディスプレイに「BkRcv」を表示して、ユーザーソング、レジストレーションの受信データがPSR-330にメモリーされます。受信が終了すると、ディスプレイに「End」を表示した後、受信前の表示に戻ります。

: BkRcv



: End

メモ

バルクダンプ受信時、パネルの操作はできません。


受信中にエラーが起こると、ディスプレイに「Bk Err」が表示され、受信中だったPSR-330のメモリーデータ(ユーザーソングデータ、レジストレーションメモリーデータ)が初期化されます。

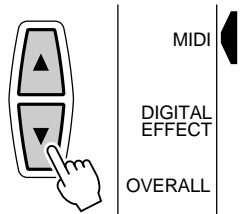
ソングの録音/再生中、オートアカンパニメント演奏中、パッドの演奏中は、バルクダンプ受信は受けつけません。

バルクダンプを受信すると、PSR-330のユーザーソングデータ、レジストレーションメモリーデータは、受信したデータに変更されます。

PSR-330のパネル設定を送信する(イニシャルセンド)

PSR-330のパネル設定を外部機器に送信することができます。たとえば、PSR-330の演奏を外部シーケンサーに録音する場合は、演奏の前にPSR-330のパネル設定を外部シーケンサーに送信(イニシャルセンド)して、録音してください。

MENU ボタンを押してMIDIメニューアイコンを点灯させて、「MIDI」メニューを選びます。



SUB MENU ボタンを押してサブメニュー「InitSnd?」を選びます。演奏を直接外部シーケンサーに録音する場合は、この状態で外部シーケンサーの録音を開始します。

YES: Init.Snd?

YES[+]ボタンを押すと、ディスプレイに「Sure?」が表示され、パネル設定送信の実行を確認します。もう一度YES[+]ボタンを押すと、パネル設定送信が実行されます。

NQ[-]ボタンを押すと、パネル設定送信は実行されません。送信が終了したら、演奏を始めてください。

メモ

直接外部シーケンサーに録音する場合、最初にパネルの設定が録音されていないと、演奏が正しく再生されません。

パネル設定データは、トラックごとに設定されている送信チャンネルから送信されます。(67, 68 ページ参照)

故障かな?と思ったら

現象	原因	解決方法
POWER ON/OFFボタンを押して、電源を入れたときに、ポツンという音がする。	本体に電流が流れるためです。	故障ではありません。
<ul style="list-style-type: none"> 音量が小さくなった。 音質が劣化した。 レジストレーションメモリーが正しくはたらかない。 ソングなどの録音内容が正しく演奏(再生)されない。 突然ディスプレイの表示が消え、パネル設定がリセットされた。 	電池が消耗しています。	6本とも新しい電池と交換するか、または、付属の電源アダプターを使用してください。
鍵盤を押さえても、音が鳴らない。	R1/R2/Lボイスのボリュームの設定が下がっています。	8, 40ページを参照して、それぞれのボリュームを確認してください。
	ローカルオン/オフの設定がオフに設定されています。	70ページの「ローカルオン/オフ設定」の項を参照して、ローカルオンに設定してください。
<ul style="list-style-type: none"> 同時に押さえた鍵盤の音で鳴らない音があった。 鍵盤演奏すると、アカンパニメントやソングの演奏音が途切れる。 	PSR-330の最大同時発音数を越えています。	PSR-330の最大同時発音数は31です。オートアカンパニメントやソングなども含めて最大31音の範囲で鳴らすことができます。
アカンパニメントがスタートしない。	クロックの設定が、オンに設定されています。	70ページの「クロックの設定」の項を参照して、クロックをオフに設定してください。
オートアカンパニメントが正しく演奏されない。	アカンパニメントトラックのいずれかがオフになっています。または、アカンパニメントボリュームの設定が下がっています。	24, 25, 43ページを参照して、それぞれの設定を確認してください。
	コード押鍵に対し、オートアカンパニメントのスプリットポイントの設定が不適切です。	34ページの「アカンパニメント鍵域を変更する」の項を参照して、オートアカンパニメントのスプリットポイントを適切な位置に設定してください。
オートアカンパニメントの演奏中、押鍵コードを変えても正しく伴奏が変わらない。	設定したフィンガリングモードに合ったコードの押さえ方をしていません。	フィンガリングモードによって、それぞれコードの押鍵方法が異なります。コードを確認して正しく押さえてください。(35ページ参照)
ハーモニーがオンにできない。	フィンガリングモードに「フルキーボード」が選択されています。	フィンガリングモードに「フルキーボード」以外を選択してください。
	R1ボイスにドラムキット(ボイスナンバー127~136)が選択されています。	R1ボイスに他のボイスを選択してください。
鍵盤演奏やソング、アカンパニメント、マルチパッドの演奏で、特定の音程が正しく鳴らない。	スケールチューニングが設定(変更)されています。	32ページの「鍵盤ごとの音程を調整する」の項を参照して、チューニング値を(初期設定値)に設定してください。
ミュージックカートリッジの内容が呼び出せない、または正しく再生されない。	<ul style="list-style-type: none"> ミュージックカートリッジがカートリッジスロットにしっかり挿入されていません。 ミュージックカートリッジの基板の端子部分に、ゴミや汚れなどが付着しています。 	<ul style="list-style-type: none"> ミュージックカートリッジの向きを間違えないように、まっすぐにしっかり挿入してください。 ミュージックカートリッジを挿入したり、取り出したり、2~3回繰り返してください。それでもカートリッジの内容が呼び出せなかったり、正しく再生されない場合は、ミュージックカートリッジ基板の端子部分を乾いた布で拭いてください。
サステインペダル(フットスイッチ)のオン/オフが逆になった。	フットスイッチを踏みながら電源を入れたり、サステインペダル端子にプラグを接続したりしたからです。	電源を切り、フットスイッチを踏まずに、もう一度電源を入れ直してください。
外部シーケンサーなどから、ソング、レジストレーションメモリーのデータをひとつずつPSR-330へバルクダンプ送信しても、PSR-330でうまく受信できない。	データの送信間隔を調整する必要があります。	ソング、レジストレーションメモリーのひとつずつのデータを、継続して(2秒未満の間隔)送信するか、完全にひとつひとつのデータの間隔をあけて(PSR-330でバルクダンプ受信が終了し、ディスプレイが通常の状態に戻ってから)送信してください。

ボイスリスト

最大同時発音数について

PSR-330の最大同時発音数は31音ですが、デュアルボイスやスプリットボイス、オートアカンパニメント、ソングなどを含まずすべての発音数の合計が31音ということです。したがって、オートアカンパニメントやソングの再生などで発音している分だけ、鍵盤演奏の発音数は減少します。31音以上になると、後着優先で発音します。

なお、PSR-330のボイスの中には、2音使って作られているものがあります。これらは1音の発音が2音の発音に相当します。

各ボイスごとの使用発音数は、次のリストを参照してください。(リスト内の発音数は、そのボイスの使用する最大の使用発音数を示していますが、音程によってはこれ以下の使用発音数となっているものもあります。)

ボイスナンバー127~264欄に記載されているバンクセレクト(MSB No./LSB No.) およびMIDIプログラムNo.をMIDIから受信すると、PSR-330はGMボイスに切り替わります。



リストにはMIDIプログラムナンバー(ボイスナンバー)を掲載します。MIDIを使ってPSR-330のボイスを鳴らす場合は、このプログラムナンバーを使用してください。
ボイスナンバー95と246の「Bagpipe」のA#2以上の鍵域、およびボイスナンバー182の「Pizzicato Strings」のC#2以下とF5以上の鍵域の使用発音数は1です。

[パネルボイスリスト]

ボイス No.	バンクセレクト		MIDI プログラムNo.	ボイスネーム	使用発音数
	MSB No.	LSB No.			
PIANO(ピアノ)					
001	0	112	0	Grand Pian(グランドピアノ)	1
002	0	112	3	Honky-tonk Pian(ホンキートンクピアノ)	2
003	0	112	4	Funky Electric Piano (ファンキーエレクトリックピアノ)	2
004	0	112	5	DX Electric Pian(DXエレクトリックピアノ)	2
005	0	112	2	MIDI Grand Pian(MIDIグランドピアノ)	2
006	0	113	5	Hyper Electric Piano (ハイパーエレクトリックピアノ)	2
007	0	114	5	Bell Electric Pian(ベルエレクトリックピアノ)	2
008	0	112	6	Harpichord(ハープシコード)	1
009	0	113	6	Harpichord Coupled (ハープシコードカップルド)	2
010	0	112	7	Clav(クラビ)	1
011	0	112	8	Celesta(チェレスタ)	1
MALLETS(マレット)					
012	0	112	11	Vibraphon(ビブラフォン)	1
013	0	112	12	Marimba(マリンバ)	1
014	0	112	13	Xylophon(シロフォン)	1
015	0	112	14	Tubular Bell(チューブラーベル)	1
016	0	112	47	Timpan(ティンパニ)	1
017	0	112	15	Dulcime(ダルシマー)	2
018	0	112	114	Steel Drums(スチールドラム)	2
019	0	112	10	Music Box(ミュージックボックス)	2
020	0	112	108	Kalimba(カリンバ)	1
021	0	112	112	Tinkle Bell(ティンクルベル)	2
ORGAN(オルガン)					
022	0	112	17	Jazz Organ 1(ジャズオルガン1)	2
023	0	113	17	Jazz Organ 2(ジャズオルガン2)	2
024	0	112	16	Jazz Organ 3(ジャズオルガン3)	2
025	0	113	16	Full Organ(フルオルガン)	2
026	0	112	18	Rock Organ 1(ロックオルガン1)	2
027	0	113	18	Rock Organ 2(ロックオルガン2)	2
028	0	114	16	16' + 2' Organ(16' + 2' オルガン)	2
029	0	115	16	16' + 4' Organ(16' + 4' オルガン)	2
030	0	112	19	Church Organ(チャーチオルガン)	2

ボイス No.	バンクセレクト		MIDI プログラムNo.	ボイスネーム	使用発音数
	MSB No.	LSB No.			
031	0	112	20	Reed Organ(リードオルガン)	2
032	0	112	21	Musette Accordion(ミュゼットアコーディオン)	2
033	0	113	21	Traditional Accordion (トラディショナルアコーディオン)	2
034	0	112	23	Bandoneon(バンドネオン)	2
GUITAR(ギター)					
035	0	112	24	Classical Guitar(クラシックギター)	1
036	0	112	25	Folk Guitar(フォークギター)	1
037	0	113	25	12Strings Guitar(12弦ギター)	2
038	0	112	26	Jazz Guitar(ジャズギター)	2
039	0	113	26	Octave Guitar(オクターブギター)	2
040	0	112	27	Clean Guitar(クリーンギター)	2
041	0	112	28	Muted Guitar(ミュートギター)	1
042	0	112	31	Guitar Harmonics(ギターハーモニクス)	1
043	0	112	29	Overdriven Guitar(オーバードライブギター)	2
044	0	112	30	Distortion Guitar(ディストーションギター)	2
BASS(ベース)					
045	0	112	32	Acoustic Bass(アコースティックベース)	1
046	0	112	33	Finger Bass(フィンガーベース)	1
047	0	112	35	Fretless Bass(フレットレスベース)	1
048	0	112	36	Slap Bass(スラップベース)	1
049	0	112	38	Synth Bass 1(シンセベース1)	2
050	0	112	39	Synth Bass 2(シンセベース2)	2
ENSEMBLE(アンサンブル)					
051	0	112	48	Strings(ストリングス)	2
052	0	112	49	Chamber Strings(チャンバーストリングス)	2
053	0	112	51	Synth Strings(シンセストリングス)	2
054	0	113	49	Slow Strings(スローストリングス)	2
055	0	112	44	Tremolo Strings(トレモロストリングス)	2
056	0	114	49	Violin + Strings(バイオリン + ストリングス)	2
057	0	112	45	Pizzicato Strings(ピチカートストリングス)	1
058	0	113	52	Choir(クワイア)	2
059	0	112	52	Choir Aahs(クワイア アー)	2
060	0	112	53	Choir Oohs(クワイア ウー)	2
061	0	112	54	Synth Choir(シンセクワイア)	2
062	0	112	55	Orchestra Hit(オーケストラヒット)	2

ボイス No.	バンクセレクト		MIDI プログ ラムNo.	ボイスネーム	使用 発音数
	MSB No.	LSB No.			
STRINGS(ストリングス)					
063	0	112	40	Violin(バイオリン)	1
064	0	112	42	Cell(チェロ)	1
065	0	112	43	Contrabas(コントラバス)	1
066	0	112	105	Banjo(バンジョー)	1
067	0	112	106	Shamiser(三味線)	1
068	0	112	107	Kota(琴)	1
069	0	112	46	Harp(ハープ)	2
070	0	112	104	Sita(シタール)	2
BRASS(ブラス)					
071	0	112	56	Trumpet(トランペット)	1
072	0	112	59	Muted Trumpet(ミュートトランペット)	1
073	0	112	57	Trombone(トロンボーン)	1
074	0	113	57	Trombone Section(トロンボーンセクション)	2
075	0	112	60	French Horn(フレンチホルン)	1
076	0	112	58	Tuba(チューバ)	1
077	0	112	61	Brass Section(ブラスセクション)	2
078	0	113	61	Brass + Sax(ブラス+サクス)	2
079	0	114	61	Brass + Trombone(ブラス+トロンボーン)	2
080	0	115	61	Brass + Trumpet(ブラス+トランペット)	2
081	0	112	62	Synth Brass 1(シンセブラス1)	2
082	0	113	63	Synth Brass 2(シンセブラス2)	2
REED(リード)					
083	0	112	64	Soprano Sax(ソプラノサクス)	1
084	0	112	65	Alto Sax(アルトサクス)	1
085	0	112	66	Tenor Sax(テナーサクス)	1
086	0	112	67	Baritone Sax(バリトンサクス)	1
087	0	113	66	Sax + Clarinet(サクス+クラリネット)	2
088	0	114	66	Sax + Trombone(サクス+トロンボーン)	2
089	0	112	68	Oboe(オーボエ)	1
090	0	112	69	English Horn(イングリッシュホルン)	1
091	0	112	70	Bassoon(バスーン)	1
092	0	112	71	Clarinet(クラリネット)	1
093	0	112	22	Harmonica(ハーモニカ)	1
094	0	112	111	Shana(シャナイ)	1
095	0	112	109	Bagpipe(バグパイプ)	2
PIPE(パイプ)					
096	0	112	72	Piccolo(ピッコロ)	1
097	0	112	73	Flute(フルート)	1
098	0	112	75	Pan Flute(パンフルート)	1
099	0	112	74	Recorder(リコーダー)	1
100	0	112	76	Blown Bottle(ボトル)	2
101	0	112	77	Shakuhachi(尺八)	1
102	0	112	78	Whistle(ホイッスル)	1
103	0	112	79	Ocarina(オカリナ)	1
SYNTH LEAD(シンセリード)					
104	0	112	80	Square Lead(矩形波リード)	2
105	0	112	81	Sawtooth Lead(ノコギリ波リード)	2
106	0	112	85	Voice Lead(ボイスリード)	2
107	0	112	98	Crystal(クリスタル)	2
108	0	112	100	Brightness(ブライイトネス)	2
109	0	113	81	Analog Lead(アナログリード)	2

ボイス No.	バンクセレクト		MIDI プログ ラムNo.	ボイスネーム	使用 発音数
	MSB No.	LSB No.			
SYNTH PAD(シンセパッド)					
110	0	112	88	Fantasia(ファンタジア)	2
111	0	113	100	Bell Pad(ベルパッド)	2
112	0	112	89	Xenon Pad(ゼノンパッド)	2
113	0	112	91	Angels(エンジェルズ)	2
114	0	114	81	Dark Moor(ダークムーン)	2
PERCUSSIVE(パーカッシブ)					
115	0	112	113	Agogo(アゴゴ)	1
116	0	112	115	Woodblock(ウッドブロック)	1
117	0	112	116	Taiko Drum(和太鼓)	1
118	0	112	117	Melodic Tom(メロディックタム)	1
119	0	112	118	Synth Drum(シンセドラム)	1
120	0	112	119	Reverse Cymbal(リバースシンバル)	1
SOUND EFFECTS(サウンドエフェクト)					
121	0	112	122	Seashore(海辺)	2
122	0	112	123	Bird Tweak(鳥のさえずり)	2
123	0	112	124	Telephone Ring(電話のベル)	1
124	0	112	125	Helicopter(ヘリコプター)	2
125	0	112	126	Applause(拍手)	2
126	0	112	127	Gunshot(銃声)	1
DRUM KITS(ドラムキット)					
127	127	0	0	Standard Kit 1(スタンダードキット1)	1
128	127	0	1	Standard Kit 2(スタンダードキット2)	1
129	127	0	8	Room Kit(ルームキット)	1
130	127	0	16	Rock Kit(ロックキット)	1
131	127	0	24	Electronic Kit(エレクトロニックキット)	1
132	127	0	25	Analog Kit(アナログキット)	1
133	127	0	27	Dance Kit(ダンスキット)	1
134	127	0	32	Jazz Kit(ジャズキット)	1
135	127	0	40	Brush Kit(ブラッシュキット)	1
136	127	0	48	Classic Kit(クラシックキット)	1

ボイスリスト

ボイス No.	バンクセレクト		MIDI プログラム No.	ボイスネーム	使用 発音数
	MSB No.	LSB No.			
Piano(ピアノ)					
137	0	0	0	Acoustic Grand Piano(グランドピアノ)	1
138	0	0	1	Bright Acoustic Piano(ブライトピアノ)	1
139	0	0	2	Electric Grand Piano (エレクトリックグランドピアノ)	2
140	0	0	3	Honky-tonk Piano(ホンキートンクピアノ)	2
141	0	0	4	Electric Piano 1(エレクトリックピアノ1)	2
142	0	0	5	Electric Piano 2(エレクトリックピアノ2)	2
143	0	0	6	Harpichord(ハーピシコード)	1
144	0	0	7	Clav(クラビ)	1
Chromatic Percussion(クロマチックパーカッション)					
145	0	0	8	Celesta(チェレスタ)	1
146	0	0	9	Glockenspiel(グロッケンシュピール)	1
147	0	0	10	Music Box(ミュージックボックス)	2
148	0	0	11	Vibraphone(ビブラフォン)	1
149	0	0	12	Marimba(マリンバ)	1
150	0	0	13	Xylophone(シロフォン)	1
151	0	0	14	Tubular Bells(チューブラーベル)	1
152	0	0	15	Dulcimer(ダルシマー)	2
Organ(オルガン)					
153	0	0	16	Drawbar Organ(ドローバーオルガン)	2
154	0	0	17	Percussive Organ(パーカッシブオルガン)	2
155	0	0	18	Rock Organ(ロックオルガン)	2
156	0	0	19	Church Organ(チャーチオルガン)	2
157	0	0	20	Reed Organ(リードオルガン)	1
158	0	0	21	Accordion(アコーディオン)	2
159	0	0	22	Harmonica(ハーモニカ)	1
160	0	0	23	Bandoneon(バンドネオン)	2
Guitar(ギター)					
161	0	0	24	Acoustic Guitar(nylon)(ガットギター)	1
162	0	0	25	Acoustic Guitar(steel)(フォークギター)	1
163	0	0	26	Electric Guitar(jazz)(ジャズギター)	1
164	0	0	27	Electric Guitar(clean)(エレクトリックギター)	2
165	0	0	28	Electric Guitar(muted)(ミュートギター)	1
166	0	0	29	Overdriven Guitar(オーバードライブギター)	1
167	0	0	30	Distortion Guitar(ディストーションギター)	1
168	0	0	31	Guitar Harmonic(ギターハーモニクス)	1
Bass(ベース)					
169	0	0	32	Acoustic Bass(アコースティックベース)	1
170	0	0	33	Electric Bass(finger)(エレクトリックベース)	1
171	0	0	34	Electric Bass(pick)(ピックベース)	1
172	0	0	35	Fretless Bass(フレットレスベース)	1
173	0	0	36	Slap Bass 1(スラップベース1)	1
174	0	0	37	Slap Bass 2(スラップベース2)	1
175	0	0	38	Synth Bass 1(シンセベース1)	1
176	0	0	39	Synth Bass 2(シンセベース2)	1
Strings(ストリングス)					
177	0	0	40	Violin(バイオリン)	1
178	0	0	41	Viola(ビオラ)	1
179	0	0	42	Celli(チェロ)	1
180	0	0	43	Contrabass(コントラバス)	1
181	0	0	44	Tremolo Strings(トレモロストリングス)	2
182	0	0	45	Pizzicato Strings(ピチカートストリングス)	2
183	0	0	46	Orchestral Harp(ハーブ)	1
184	0	0	47	Timpani(ティンパニ)	1

ボイス No.	バンクセレクト		MIDI プログラム No.	ボイスネーム	使用 発音数
	MSB No.	LSB No.			
Ensemble(アンサンブル)					
185	0	0	48	Strings Ensemble 1(ストリングスアンサンブル1)	1
186	0	0	49	Strings Ensemble 2(ストリングスアンサンブル2)	1
187	0	0	50	Synth Strings 1(シンセストリングス1)	2
188	0	0	51	Synth Strings 2(シンセストリングス2)	2
189	0	0	52	Choir Aahs(クワイアアー)	1
190	0	0	53	Voice Oohs(ボイスウー)	1
191	0	0	54	Synth Voice(シンセボイス)	1
192	0	0	55	Orchestra Hit(オーケストラヒット)	1
Brass(ブラス)					
193	0	0	56	Trumpet(トランペット)	1
194	0	0	57	Trombone(トロンボーン)	1
195	0	0	58	Tuba(チューバ)	1
196	0	0	59	Muted Trumpet(ミュートトランペット)	1
197	0	0	60	French Horn(フレンチホルン)	1
198	0	0	61	Brass Section(ブラスセクション)	1
199	0	0	62	Synth Brass 1(シンセブラス1)	2
200	0	0	63	Synth Brass 2(シンセブラス2)	2
Reed(リード)					
201	0	0	64	Soprano Sax(ソプラノサクソ)	1
202	0	0	65	Alto Sax(アルトサクソ)	1
203	0	0	66	Tenor Sax(テナーサクソ)	1
204	0	0	67	Baritone Sax(バリトンサクソ)	1
205	0	0	68	Oboe(オーボエ)	1
206	0	0	69	English Horn(イングリッシュホルン)	1
207	0	0	70	Bassoon(バスーン)	1
208	0	0	71	Clarinet(クラリネット)	1
Pipe(パイプ)					
209	0	0	72	Piccolo(ピッコロ)	1
210	0	0	73	Flute(フルート)	1
211	0	0	74	Recorder(リコーダー)	1
212	0	0	75	Pan Flute(パンフルート)	1
213	0	0	76	Blown Bottle(ボトル)	2
214	0	0	77	Shakuhachi(尺八)	1
215	0	0	78	Whistle(ホイッスル)	1
216	0	0	79	Ocarina(オカリナ)	1
Synth Lead(シンセリード)					
217	0	0	80	Lead 1(square)(矩形波リード)	2
218	0	0	81	Lead 2(sawtooth)(ノコギリ波リード)	2
219	0	0	82	Lead 3(calliope)(カリオペリード)	2
220	0	0	83	Lead 4(chiff)(チフリード)	2
221	0	0	84	Lead 5(charang)(チャランリード)	2
222	0	0	85	Lead 6(voice)(ボイスリード)	2
223	0	0	86	Lead 7(fifth)(5度リード)	2
224	0	0	87	Lead 8(bass+Lead)(ベース&リード)	2
Synth Pad(シンセパッド)					
225	0	0	88	Pad 1(new age)(ニューエイジパッド)	2
226	0	0	89	Pad 2(warm)(ウォームパッド)	2
227	0	0	90	Pad 3(polysynth)(ポリシンセパッド)	2
228	0	0	91	Pad 4(choir)(クワイアパッド)	2
229	0	0	92	Pad 5(bowed)(ボウドパッド)	2
230	0	0	93	Pad 6(metallic)(メタリックパッド)	2
231	0	0	94	Pad 7(halo)(ヘイロパッド)	2
232	0	0	95	Pad 8(sweep)(スイープパッド)	2

ボイス No.	バンクセレクト		MIDI プログ ラムNo.	ボイスネーム	使用 発音数
	MSB No.	LSB No.			
Synth Effects(シンセエフェクト)					
233	0	0	96	FX 1(rain 雨)	2
234	0	0	97	FX 2(soundtrack サウンドトラック)	2
235	0	0	98	FX 3(crystal クリスタル)	2
236	0	0	99	FX 4(atmosphere アトモスフィア)	2
237	0	0	100	FX 5(brightness ブライトネス)	2
238	0	0	101	FX 6(goblins ゴブリン)	2
239	0	0	102	FX 7(echoes エコー)	2
240	0	0	103	FX 8(sci-fi サイエンスフィクション)	2
Ethnic(エスニック)					
241	0	0	104	Sita(シタール)	1
242	0	0	105	Banjo(バンジョー)	1
243	0	0	106	Shamisen(三味線)	1
244	0	0	107	Koto(琴)	1
245	0	0	108	Kalimba(カリンバ)	1
246	0	0	109	Bagpipe(バグパイプ)	2
247	0	0	110	Fiddle(フィドル)	1
248	0	0	111	Shana(シャナイ)	1
Percussive(パーカッシブ)					
249	0	0	112	Tinkle Bell(ティンクルベル)	2
250	0	0	113	Agogo(アゴゴ)	1
251	0	0	114	Steel Drums(スチールドラム)	2
252	0	0	115	Woodblock(ウッドブロック)	1
253	0	0	116	Taiko Drum(和太鼓)	1
254	0	0	117	Melodic Tom(メロディックタム)	1
255	0	0	118	Synth Drum(シンセドラム)	1
256	0	0	119	Reverse Cymbal(リバースシンバル)	1
Sound Effects(サウンドエフェクト)					
257	0	0	120	Guitar Fret Noise(フレットノイズ)	1
258	0	0	121	Breath Noise(ブレスノイズ)	1
259	0	0	122	Seashore(海辺)	2
260	0	0	123	Bird Tweak(鳥のさえずり)	2
261	0	0	124	Telephone Ring(電話のベル)	1
262	0	0	125	Helicopter(ヘリコプター)	2
263	0	0	126	Applause(拍手)	2
264	0	0	127	Gunshot(銃声)	1

マルチパッドセットリスト

セットNo.	セットネーム
1	Funky(ファンキー)
2	Techno 1(テクノ1)
3	Techno 2(テクノ2)
4	Guitar Play(ギタープレイ)
5	Pianist(ピアニスト)
6	Strings(ストリングス)
7	Arpeggio(アルペジオ)
8	Twinkle(トゥィンクル)
9	Brass Hit(ブラスヒット)
10	Synth Brass(シンセブラス)
11	Fanfare 1(ファンファーレ1)
12	Fanfare 2(ファンファーレ2)
13	Jingle 1(ジングル1)
14	Jingle 2(ジングル2)
15	Sound Effect(サウンドエフェクト)
16	Crysta(クリスタル)
17	Rock Kit(ロックキット)
18	Tom Flam(トムフラム)
19	Techno Kit(テクノキット)
20	Techno Sequence(テクノシーケンス)
21	Analog Kit(アナログキット)
22	Analog Sequence(アナログシーケンス)
23	Latin Percussion 1(ラテンパーカッション1)
24	Latin Percussion 2(ラテンパーカッション2)
25	Bongo Sequence(ボンゴシーケンス)
26	Timbales(ティンパレス)

ドラムキットリスト

← は「127:スタンダードキット」と同じ内容であることを表します。

各パーカッション音の使用発音数は1です。

MIDIのNote#とNoteは、この表記よりも1オクターブ下になります。たとえば、ボイスナンバー 127: Standard Kitの「クリック(スクエアウェーブ)」(Note# 36/Note C1)は、(MIDI Note# 24/Note C0)に対応します。

オルタネートナンバー *1~2が同じものは、同時に鳴らすことはできません。

Voice#	127	128	129	130	131	
Bank MSB#	127	127	127	127	127	
Bank LSB#	0	0	0	0	0	
Program #	0	1	8	16	24	
Keyboard		スタンダードキット1	スタンダードキット2	ルームキット	ロックキット	エレクトロニックキット
Note#	Note					
36	C1	シーク クリック	←	←	←	←
37	C#1	ブラッシュ タップ	←	←	←	←
38	D1	ブラッシュ スワール	←	←	←	←
39	D#1	ブラッシュ スラップ	←	←	←	←
40	E1	ブラッシュスワール アタック付	←	←	←	リバースシンバル
41	F1	スネアロール	←	←	←	←
42	F#1	カスタネット	←	←	←	ハイキュー
43	G1	スネア L	スネア L2	←	スネア ロック M	スネア M3
44	G#1	スティック	←	←	←	←
45	A1	バスドラム L	バスドラム L2	←	バスドラム L3	バスドラム H4
46	A#1	オープンリムショット	←	←	←	←
47	B1	バスドラム M	←	←	バスドラム H3	バスドラム ロック2
48	C2	バスドラム H	バスドラム H2	←	バスドラム ロック	バスドラム ロック 3
49	C#2	サイドスティック	←	←	←	←
50	D2	スネア M	スネア M2	←	スネア ロック L	スネア ロック M
51	D#2	ハンドクラップ	←	←	←	←
52	E2	スネア H	スネア H2	←	スネア ロック リム	スネア ロック H
53	F2	フロアタム L	←	ルーム タム 1	ロック タム 1	エレクトロニック タム 1
54	F#2 *1	ハイハットクローズ	←	←	←	←
55	G2	フロアタム H	←	ルーム タム 2	ロック タム 2	エレクトロニック タム 2
56	G#2 *1	ハイハットヘダル	←	←	←	←
57	A2	ロータム	←	ルーム タム 3	ロック タム 3	エレクトロニック タム 3
58	A#2 *1	ハイハットオープン	←	←	←	←
59	B2	ミッドタム L	←	ルーム タム 4	ロック タム 4	エレクトロニック タム 4
60	C3	ミッドタム H	←	ルーム タム 5	ロック タム 5	エレクトロニック タム 5
61	C#3	クラッシュシンバル 1	←	←	←	←
62	D3	ハイタム	←	ルーム タム 6	ロック タム 6	エレクトロニック タム 6
63	D#3	ライドシンバル 1	←	←	←	←
64	E3	チャイニーズシンバル	←	←	←	←
65	F3	ライドシンバル カップ	←	←	←	←
66	F#3	タンバリン	←	←	←	←
67	G3	スブラッシュシンバル	←	←	←	←
68	G#3	カウベル	←	←	←	←
69	A3	クラッシュシンバル 2	←	←	←	←
70	A#3	ヒブラスラップ	←	←	←	←
71	B3	ライドシンバル 2	←	←	←	←
72	C4	ボンゴ H	←	←	←	←
73	C#4	ボンゴ L	←	←	←	←
74	D4	コンガ H ミュート	←	←	←	←
75	D#4	コンガ H オープン	←	←	←	←
76	E4	コンガ L	←	←	←	←
77	F4	ティンパレス H	←	←	←	←
78	F#4	ティンパレス L	←	←	←	←
79	G4	アゴゴ H	←	←	←	←
80	G#4	アゴゴ L	←	←	←	←
81	A4	カバサ	←	←	←	←
82	A#4	マラカス	←	←	←	←
83	B4	サンバホイッスル H	←	←	←	←
84	C5	サンバホイッスル L	←	←	←	←
85	C#5	ギロ ショート	←	←	←	←
86	D5	ギロ ロング	←	←	←	←
87	D#5	クラベス	←	←	←	←
88	E5	ウッドブロック H	←	←	←	←
89	F5	ウッドブロック L	←	←	←	←
90	F#5	クイーカ ミュート	←	←	←	スクラッチ ブッシュ
91	G5	クイーカ オープン	←	←	←	スクラッチ ブル
92	G#5 *2	トライアングル ミュート	←	←	←	←
93	A5 *2	トライアングル オープン	←	←	←	←
94	A#5	シェイカー	←	←	←	←
95	B5	ジングルベル	←	←	←	←
96	C6	ベルツリー	←	←	←	←

ドラムキットリスト

Voice#		132	133	134	135	136
Bank MSB#		127	127	127	127	127
Bank LSB#		0	0	0	0	0
Program #		25	27	32	40	48
Keyboard		アナログキット	ダンスキット	ジャズキット	ブラッシュキット	クラシックキット
Note#	Note					
36	C1	<—	<—	<—	<—	<—
37	C#1	<—	<—	<—	<—	<—
38	D1	<—	<—	<—	<—	<—
39	D#1	<—	<—	<—	<—	<—
40	E1	リバースシンバル	リバースシンバル	<—	<—	<—
41	F1	<—	<—	<—	<—	<—
42	F#1	ハイキュー	ハイキュー	<—	<—	<—
43	G1	スネア ロック H	スネア アナログ 2	<—	ブラッシュ スラップ ロー	<—
44	G#1	<—	<—	<—	<—	<—
45	A1	バスドラム H5	バスドラム アナログ 2	<—	<—	バスドラム L2
46	A#1	<—	スネア アナログ オープンリム	スネア ジャズ オープンリム	スネア ジャズ オープンリム	<—
47	B1	バスドラム アナログ 1L	バスドラム アナログ 3	<—	<—	グランカーサ
48	C2	バスドラム アナログ 1H	バスドラム アナログ 4	バスドラム ジャズ	バスドラム ジャズ	グランカーサ ミュート
49	C#2	アナログサイドスティック	アナログサイドスティック	<—	<—	<—
50	D2	スネア アナログ 1H	スネア アナログ 3	スネア ジャズ L	ブラッシュ スラップ ハイ	マーチング スネア M
51	D#2	<—	<—	<—	<—	<—
52	E2	スネア アナログ 1L	スネア アナログ 4	スネア ジャズ H	ブラッシュ タップ	マーチング スネア H
53	F2	アナログ タム 1	アナログ タム 1	ジャズ タム 1	ブラッシュ タム 1	ジャズ タム 1
54	F#2 *1	アナログ ハイハット 1 クローズ	アナログ ハイハット 3 クローズ	<—	<—	<—
55	G2	アナログ タム 2	アナログ タム 2	ジャズ タム 2	ブラッシュ タム 2	ジャズ タム 2
56	G#2 *1	アナログ ハイハット 2 クローズ	アナログ ハイハット 4 クローズ	<—	<—	<—
57	A2	アナログ タム 3	アナログ タム 3	ジャズ タム 3	ブラッシュ タム 3	ジャズ タム 3
58	A#2 *1	アナログ ハイハット 1 オープン	アナログ ハイハット 3 オープン	<—	<—	<—
59	B2	アナログ タム 4	アナログ タム 4	ジャズ タム 4	ブラッシュ タム 4	ジャズ タム 4
60	C3	アナログ タム 5	アナログ タム 5	ジャズ タム 5	ブラッシュ タム 5	ジャズ タム 5
61	C#3	アナログ シンバル	アナログ シンバル	<—	<—	ハンドシンバル L オープン
62	D3	アナログ タム 6	アナログ タム 6	ジャズ タム 6	ブラッシュ タム 6	ジャズ タム 6
63	D#3	<—	<—	<—	<—	ハンドシンバル L クローズ
64	E3	<—	<—	<—	<—	<—
65	F3	<—	<—	<—	<—	<—
66	F#3	<—	<—	<—	<—	<—
67	G3	<—	<—	<—	<—	<—
68	G#3	アナログ カウベル	アナログ カウベル	<—	<—	<—
69	A3	<—	<—	<—	<—	ハンドシンバル H オープン
70	A#3	<—	<—	<—	<—	<—
71	B3	<—	<—	<—	<—	ハンドシンバル H オープン
72	C4	<—	<—	<—	<—	<—
73	C#4	<—	<—	<—	<—	<—
74	D4	アナログ コンガ H	アナログ コンガ H	<—	<—	<—
75	D#4	アナログ コンガ M	アナログ コンガ M	<—	<—	<—
76	E4	アナログ コンガ L	アナログ コンガ L	<—	<—	<—
77	F4	<—	<—	<—	<—	<—
78	F#4	<—	<—	<—	<—	<—
79	G4	<—	<—	<—	<—	<—
80	G#4	<—	<—	<—	<—	<—
81	A4	<—	<—	<—	<—	<—
82	A#4	アナログ マラカス	アナログ マラカス	<—	<—	<—
83	B4	<—	<—	<—	<—	<—
84	C5	<—	<—	<—	<—	<—
85	C#5	<—	<—	<—	<—	<—
86	D5	<—	<—	<—	<—	<—
87	D#5	アナログ クラベス	アナログ クラベス	<—	<—	<—
88	E5	<—	<—	<—	<—	<—
89	F5	<—	<—	<—	<—	<—
90	F#5	スクラッチ ブッシュ	スクラッチ ブッシュ	<—	<—	<—
91	G5	スクラッチ プル	スクラッチ プル	<—	<—	<—
92	G#5 *2	<—	<—	<—	<—	<—
93	A5 *2	<—	<—	<—	<—	<—
94	A#5	<—	<—	<—	<—	<—
95	B5	<—	<—	<—	<—	<—
96	C6	<—	<—	<—	<—	<—

0 デフォルト(工場出荷時)は16チャンネル・マルチティンバー音源として機能します。パネル設定によりリモートチャンネルの設定が可能です。設定されたチャンネルは、本体の鍵盤をオン/オフした場合と同様に扱われます。このモードに設定したチャンネルは以下のメッセージを受信します。これ以外は受信しません。

- ・ ノートオン
- ・ ノートオフ
- ・ コントロールチェンジ：バンク・セレクトMSB、LSB
ボリューム
パン
サステイン
リバーブ・デプス
オールサウンド・オフ
リセット・オール・コントローラー
- ・ プログラムチェンジ
- ・ エクスクルーシブ

1 バンクセレクト

- ・ MSBはメロディ音色/リズム音色の切り替えに用いられます。(MSB 00H：メロディ音色/MSB 7FH：リズム音色)
- ・ LSBはボイスリストを参考にしてください。

2 RPN送受信

- ピッチベンド・センシティブィティ BnH, 64H, 00H, 65H, 00H
 ファイン・チューン BnH, 64H, 01H, 65H, 00H
 コース・チューン BnH, 64H, 02H, 65H, 00H
 ヌル BnH, 64H, 7FH, 65H, 00H

3 ピッチベンド、モジュレーション、エクスプレッション、サステイン、ソステヌート、RPNの各データをデフォルトに戻します。また、ポルタメント・コントロールの設定をリセットします。

4 エクスクルーシブ

- <GMシステムオン> F0H, 7EH, 7FH, 09H, 01H, F7H
 ・ MIDIマスターチューニングを除く全てのデータの設定値をデフォルトに戻します。

<DISK ORCHESTRAオン> F0H, 43H, 73H, 01H, 14H, F7H

<DISK ORCHESTRAオフ> F0H, 43H, 73H, 01H, 13H, F7H

<MIDIマスターボリューム> F0H, 7FH, 7FH, 04H, 01H, ll, mm, F7H

- ・ 全チャンネルの音量を一度に変えるメッセージです。(ユニバーサルシステムエクスクルーシブ)
- ・ mmの値をMIDIマスターボリューム値として用います。(llは無視)
- ・ MIDIマスターボリューム値と実際の音量の関係は、コントロールチェンジのマスターボリュームと同一です。
- ・ mmの値のデフォルトは7FHです。

<MIDIマスターチューニング>

F0H, 43H, 1nH, 27H, 30H, 00H, mm, ll, cc, F7H

- ・ 全チャンネルの音程を一度に変えられるメッセージです。
- ・ mm, llの値をMIDIマスターチューニング値として用い、実際のチューニング値は次の式で表されます。

$$T = M - 128 \left(\frac{28}{M} - 228 \right)$$
 T：チューニング値(セント)
 M：mmの0~3ビットをMSB、llの0~3ビットをLSBとする1バイトの値の10進値
- ・ mm, llのデフォルトは08H, 00Hです。また、n、およびccの値は任意です。
- ・ この値はGM1システムオンでもリセットオールコントローラーでも初期化されません。

<バルクダンプ>

レジストメモリー

F0H, 43H, 73H, 4CH, 06H, 09H, 0nH, 0nH, 0nH, 0nH, [DATA] sum, F7H

0nH, 0nH, 0nH, 0nH : データ長(nnnnHバイト)
 sum : チェックサム

ユーザーソングデータ

F0H, 43H, 73H, 4CH, 06H, 0AH, 0nH, 0nH, 0nH, 0nH, 0nH, [DATA] sum, F7H

0nH, 0nH, 0nH, 0nH, 0nH, 0nH : データ長(nnnnnHバイト)
 sum : チェックサム

<セクションコントロール> F0H, 43H, 7EH, 00H, ss, dd, F7H

- ・ セクションSWの操作に関するメッセージです。

ss : 00H~07H INTRO
 08H MAIN A
 09H~0FH MAIN B
 10H FILL IN AA
 11H~17H FILL IN BB
 18H FILL IN AB
 19H~1FH FILL IN BA
 20H~27H ENDING

dd : スイッチON/OFF 7FH(ON)00H(OFF)

<スタート、ストップコントロール> F0H, 43H, 6nH, xx, F7H

- ・ スタイルのスタート、ストップをコントロールするメッセージです。(受信のみ)

n : デバイス番号 無視

xx : 7A = Reset Start, 7D = Stop & Rewind

<テンポコントロール> F0H, 43H, 7EH, 01H, tt, tt, tt, F7H

- ・ テンポ値を変更する際に使うメッセージです。

tt, tt, tt : テンポデータ

<Internalクロック、Externalクロック>(受信のみ)

F0H, 43H, 73H, 01H, 02H, F7H(Internalクロック)

F0H, 43H, 73H, 01H, 03H, F7H(Externalクロック)

- ・ スタイルのクロックのモードをコントロールします。

<XGシステムオン>(受信のみ)

F0H, 43H, 1nH, 4CH, 00H, 00H, 7EH, 00H, F7H

n : デバイス番号 無視

- ・ MIDIマスターチューニングを除く全てのデータの設定値をデフォルトに戻します。

- ・ リモートチャンネルの設定をキャンセルします。

- ・ このメッセージの実行には、約50mSかかるため、次のメッセージとの間隔を開けてください。

<XGパラメーターチェンジ>

F0H, 43H, 1nH, 4CH, aaH, bbH, ccH, ddH, ..., F7H

n : デバイス番号 無視

aa, bb, cc : アドレスHigh, Mid, Low

dd : データ(別表1内のサイズ分は連続して送受信可能)

- ・ 詳細は別表1を参照してください。

注) 本機は、別表1に掲げるXGフォーマットのパラメータに対応していますが、これはXGフォーマットのパラメータの一部であり、XGフォーマットの全てに対応しているわけではありません。

5 外部クロック、内部クロックの切り替えが可能です。

6 クロックの設定が「on」の時、スタイルのスタート、ストップを送受信します。

7 ソングモードでは、一切のMIDIメッセージの送受信が行われません。

MIDIデータフォーマット

別表1：XGパラメーターチェンジ

	Address (H)	Size (H)	Data (H)	Parameter	Description	Default Value (H)
システム	00 00 7E	1	00	XG SYSTEM ON		
エフェクト	02 01 00	2	00 ~ 7F 00 ~ 7F	REVERB TYPE MSB REVERB TYPE LSB	別表2参照 別表2参照	01 (= HALL1) 00
マルチパート	08 nn 41	1	00 ~ 7F	SCALE TUNING C	- 64 ~ + 63cent	40
	08 nn 42	1	00 ~ 7F	SCALE TUNING C#	- 64 ~ + 63cent	40
	08 nn 43	1	00 ~ 7F	SCALE TUNING D	- 64 ~ + 63cent	40
	08 nn 44	1	00 ~ 7F	SCALE TUNING D#	- 64 ~ + 63cent	40
	08 nn 45	1	00 ~ 7F	SCALE TUNING E	- 64 ~ + 63cent	40
	08 nn 46	1	00 ~ 7F	SCALE TUNING F	- 64 ~ + 63cent	40
	08 nn 47	1	00 ~ 7F	SCALE TUNING F#	- 64 ~ + 63cent	40
	08 nn 48	1	00 ~ 7F	SCALE TUNING G	- 64 ~ + 63cent	40
	08 nn 49	1	00 ~ 7F	SCALE TUNING G#	- 64 ~ + 63cent	40
	08 nn 4A	1	00 ~ 7F	SCALE TUNING A	- 64 ~ + 63cent	40
	08 nn 4B	1	00 ~ 7F	SCALE TUNING A#	- 64 ~ + 63cent	40
	08 nn 4C	1	00 ~ 7F	SCALE TUNING B	- 64 ~ + 63cent	40

別表2：エフェクトマップ

MSB \ LSB	00H	01H	02H	7FH
00H	NO EFFECT	NO EFFECT			
01H	HALL1	HALL2			
02H	ROOM1	ROOM2			
03H	HALL1	HALL2			
04H	PLATE1	PLATE2			
05H	DELAY1	DELAY2			
06H	NO EFFECT	NO EFFECT			
⋮	⋮	⋮			
7FH	NO EFFECT	NO EFFECT			

LSBが00H以外のエフェクトタイプでタイプ名が入っていない部分は、そのMSBでLSBが00Hの部分のエフェクトタイプとなります。

GM システムレベル1について

現在さまざまな楽器に普及しているMIDIは、メーカーや機種が違って演奏やその他の各種情報を伝達できる規格です。これにより、例えばA社の音源用に作成したデータを使ってB社の音源を演奏できます。ただし、メーカーや機種によって音色配列やコントローラーの使い方が異なるため、データに互換性がありません。そこでシンセサイザーやトーンジェネレーターの音色配列やコントローラーの使い方に一定の基準を設け、メーカーや機種が異なってもほぼ同じ音色で演奏できるようにしたものが、GMシステムレベル1という規格です。PSR-330のGMボイスの音色配列は「GMシステムレベル1」に準拠しています。

バックアップ/初期化(イニシャライズ)の方法

バックアップの方法

PSR-330のパネル上の設定は、電源を切るとそれぞれの初期設定に戻りますが、

- ・レジストレーションメモリーデータ
- ・MIDI送信設定
- ・ユーザーソングデータ
- ・MIDI受信設定

については、乾電池がセットされた状態で以下の操作方法に従えば、その内容をバックアップ(保持)することができます。

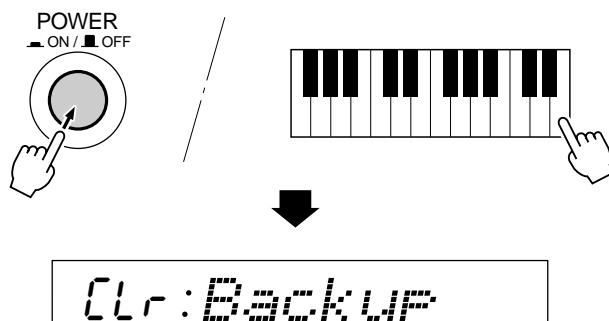
- 1 POWER ON/OFFスイッチを押して、電源を切ります。
- 2 アダプターのDCプラグを、リアパネルのDC IN 10-12V端子から抜きます。
- 3 アダプターのACプラグを、コンセントから抜きます。

電源を入れるときは、逆の手順(アダプターのACプラグをコンセントにさす アダプターのDCプラグを本体の端子にさす POWER ON/OFFスイッチを押して電源を入れる)で行ってください。

初期化(イニシャライズ)の方法

上記のデータも含め、PSR-330のすべての設定を初期設定(工場出荷時の状態)に戻すことを「初期化」と呼びます。初期化は以下の方法で行ってください。

- 1 POWER ON/OFFスイッチを押して電源を切ります。
- 2 鍵盤の最高音(白鍵)を同時に押しながら、POWER ON/OFFスイッチを押して電源を入れると、初期化が実行されます。初期化が完了するとディスプレイに「Clr:Backup」が表示されます。



メモ

初期化を実行すると、バックアップされていた設定は、初期設定値に戻りますのでご注意ください。

PSR-330が、何らかの原因で操作不能になったり、誤動作した場合は、一旦電源を切り、初期化の操作を行ってください。

オプション商品のご紹介

ヘッドフォン	
HPE-150	¥4,000
フットスイッチ	
FC4	¥3,000
FC5	¥1,500
キーボードスタンド	
L-6	¥8,000

MIDIケーブル	
YAMAHA MIDI-15(15m).....	¥3,000
MIDI-03(3m).....	¥1,100
ソフトケース	
SCC-36	¥8,000

商品の金額には、消費税は含まれておりません。

インデックス

ア	R1/R2/Lボイス 16	コ	故障かな?と思ったら 73	タ	タッチセンス 31
	アカンパニメントセクション 23		コード		タッチレスボンス 31
	アカンパニメントトラック		(オートアカンパニメント)..... 21	チ	チューニング 31
	(オートアカンパニメント)..... 24		コード(フィンガード1モードで	テ	ディスプレイ 10
	アカンパニメントトラック		認識されるもの)..... 36		デジタルエフェクト 27
	(ユーザーソング)..... 60		コード1/2		デモソング 8
	アカンパニメントボリューム 25		(アカンパニメントトラック).. 24		デュアルボイスモード 17
	アカンパニメント鍵域 19		コードマッチ(マルチパッド)..... 48		電源アダプター 4
イ	イニシャルセンド 72		コード検出方法 35		電源の準備 4
	イントロ(セクション)..... 23	サ	再生(ソング)..... 49, 62		電源を入れる 8
	イントロシンクロスタート		最大同時発音数 74		電源を入れる 8
	(オートアカンパニメント)..... 21		サステインペダル端子 5		テンポ 22
			サブメニュー 12	ト	同梱品 7
エ	演奏に効果をかける 27	シ	GENERAL MIDI 10		トラックごとのクリア
	演奏の準備 5		GMシステムレベル1 82		(ユーザーソング)..... 62
	演奏をはじめる前に 4		GMボイス 14		ドラムキット 18
	エンディング(セクション)..... 23		自動伴奏 19		ドラムキットリスト 78
オ	オクターブ(リボイス)..... 39		受信チャンネル 68, 69		トランスポーズ 30
	オートアカンパニメント 19		仕様 86	ナ	ナンバーボタン 12
	オートアカンパニメント		初期化(イニシャライズ)..... 83		
	オン/オフ 20		ショートカット 13	ノ	ノーマル(MIDI受信モード)..... 69
	オートフィル 23		シングルフィンガー	ハ	パッド
	オプション商品 83		(フィンガリングモード)..... 35		(アカンパニメントトラック).. 24
	音程の変更 30		シンクロスタート		ハーモニー 28
	音量の調整 8		(オートアカンパニメント)..... 21		ハーモニータイプ 28
カ	外部機器からの		シンクロストップ機能 25		ハーモニータイプリスト 29
	MIDIデータの受信 68	ス	スケールチューニング 32		ハーモニーボリューム 29
	外部機器へのMIDIデータの送信 .. 67		スタイル 19		パネル設定の記憶 44
	各部の名称 6		スタイルのリボイス 42		パネル設定の送信 72
	カートリッジスロット 56		スタート		パネルボイス 14
	カートリッジソング 56		(オートアカンパニメント)..... 21		パッド演奏の移調 48
	カラオケ 52		スプリットボイスモード 17		パラメーター 39
	乾電池 4		スプリットポイント		パルクダンプ受信 71
キ	キーボードパーカッション 18		(オートアカンパニメント)..... 34		パルクダンプ送信 71
	曲の途中から再生する 51		スプリットポイント		パン(リボイス)..... 39
ク	クロック 70		(スプリットボイスモード)..... 33		バンク 45
ケ	鍵盤ごとの音程の調整 32	セ	セクション	ヒ	ビートランプ 23
	鍵盤タッチの感度の変更 31		(オートアカンパニメント)..... 23	フ	フィルイン(セクション)..... 23
	鍵盤で打楽器音を鳴らす 18	ソ	送信チャンネル 67, 68		フィンガード1
	鍵盤設定 16		ソングデータのクリア 62		(フィンガリングモード)..... 36
			ソング全体のクリア		フィンガード2
			(ユーザーソング)..... 63		(フィンガリングモード)..... 37
			ソングの音量変更 50		フィンガリングモード 35
			ソングのリボイス 43, 64		
			ソングボリューム 50		
			ソングメジャー 51		

フットスイッチ	5	ユ	ユーザーソング	59
譜面立て	5		ユーザーソングのリボイス	64
フリーズ機能	46	リ	リズム1/2 (アカンパニメントトラック)..	24
フルキーボード (フィンガリングモード)	37		リハーサルモード	60
フレーズ1/2 (アカンパニメントトラック) ..	24		リバーブ	27
ヘ			リバーブタイプリスト	27
ベース (アカンパニメントトラック) ..	24		リバーブセンドレベル (リボイス)	39
ヘッドフォン	5		リピート再生	54
ホ			リボイス	39
ボイス(音色)	14		リモート(MIDI受信モード)	69
ボイスセット	38	レ	レジストレーションメモリー	44
ボイスデータの呼び出し	46		レジストレーションの記憶	44
ボイスデータの変更	39		レジストレーションの呼び出し ..	46
ボイスのリボイス	40	ロ	ローカルオン/オフ	70
ボイスパラメーター	39		録音	58
ボイスリスト	74		録音モード	59
保証とアフターサービス	87	ワ	和文シート	5
ボリューム(リボイス)	39		ワンタッチセッティング	26
マ				
マイナスワン再生	52			
マイナスワンチャンネル	53			
マスターボリューム	8			
マルチパッド	47			
マルチパッドセットリスト	77			
マルチフィンガー (フィンガリングモード)	38			
ミ				
MIDI	66			
MIDIインプリメンテーション チャート	80			
MIDI機器の接続	66			
MIDI受信設定	68			
MIDI受信チャンネル	69			
MIDI受信モード	69			
MIDI送信設定	67			
MIDI送信チャンネル	67			
MIDI端子	66			
MIDIデータフォーマット	82			
ミュージックカートリッジ	56			
メ				
メインA/B(セクション)	23			
メジャー	51			
メトロノーム	33			
メニュー	12			
メロディ1~4トラック	60			

PSR-330仕様

鍵盤

レギュラーサイズ61鍵(C1~C6:タッチレスボンス付)

ディスプレイ

大型液晶ディスプレイ(LCD)

セットアップ

パワースイッチ : オン/オフ
マスターボリューム : MIN~MAX

コントロール&ナンバーボタン

MENU ボタン、VOICEボタン、STYLEボタン、SONGボタン、CARTRIDGEボタン、SUB MENU ボタン、[1]~[0]ボタン、[+] [YES]、[-] [NO] ボタン

カートリッジスロット

デモソング

20曲

ボイス

パネルボイス126音色 + 10ドラムキット + GMボイス128音色(最大同時発音数31)
ボイスセット機能付

R1/R2/Lボイス

リボイス: ボリューム、オクターブ、パン、リバーブセンドレベル

スプリットボイスモード

デュアルボイスモード

オートアカンパニメント(自動伴奏機能)

100スタイル

アカンパニメント : オン/オフ
アカンパニメントトラック : リズム1/2、ベース、コード1/2、パッド、フレーズ1/2

アカンパニメントトラック設定 : オン/オフ

アカンパニメントコントロール : シンクロスタート、シンクロス
トップ、スタート/ストップ、イントロ、メインA/B(オートフィル)、エンディング

ビートランプ

アカンパニメントボリューム

リボイス: ボリューム、パン、リバーブセンドレベル

ワンタッチセッティング

全体のコントロール

テンポ: 32~280

トランスポーズ

タッチセンス

チューニング

スケールチューニング

メトロノーム

スプリットボイスモードのスプリットポイント

オートアカンパニメントのスプリットポイント

フィンガリングモード: シングルフィンガー/フィンガード1/フィンガード2/フルキーボード/マルチフィンガー

ボイスセット

デジタルエフェクト

リバーブ : 9種類

ハーモニー : 25種類

レジストレーションメモリー: 1~4

8バンク

アカンパニメントフリーズ

マルチパッド: 1~4

26マルチパッドセット

ユーザーソング

ユーザーソング: 2曲

録音トラック : アカンパニメント、メロディ 1~4

ソングクリア、トラッククリア

ソングボリューム

マイナスワン再生(マイナスワンチャンネル設定)

リピート再生

リボイス: ボリューム、オクターブ、パン、リバーブセンドレベル

MIDI

送信設定

受信設定

ローカルオン/オフ

クロック

バルクダンプ送信/受信

イニシャルセンド

付属端子

DC IN 10-12V、ヘッドフォン、サステインペダル、MIDI IN/OUT

アンプ実用最大出力

電源アダプターPA-5B使用時 6.0W + 6.0W (EIAJ)

乾電池使用時 5.5W + 5.5W (EIAJ)

スピーカー

12cm x 2

使用電池

単1乾電池(1.5V) x 6

電池寿命

マンガン電池で約6時間

(デモ演奏連続使用: マスターボリューム約70%)

使用電源アダプター

PA-5、PA-5B、PA-5C

消費電力

電源アダプターPA-5B使用時 26W

寸法(幅 x 奥 x 高mm)

933 x 372 x 128

重量(kg) 乾電池含まず

5.9

付属品

ミュージックカートリッジ、電源アダプターPA-5BまたはPA-5C、譜面立て、和文シート、取扱説明書、保証書

仕様および外観は、改良のため、予告なく変更する場合があります。

保証とアフターサービス

サービスのご依頼、お問い合わせは、お買い上げ店、またはお近くのヤマハ電気音響製品サービス拠点にご連絡ください。

保証書

本機には保証書がついています。

保証書は販売店がお渡ししますので、必ず「販売店印・お買い上げ日」などの記入をお確かめのうえ、大切に保管してください。

保証期間

お買い上げ日から1年間です。

保証期間中の修理

保証書記載内容に基づいて修理いたします。詳しくは保証書をご覧ください。

保証期間経過後の修理

修理すれば使用できる場合は、ご希望により有料にて修理させていただきます。

補修用性能部品の最低保有期間

製品の機能を維持するために必要な部品の最低保有期間は、製造打切後8年です。

持込み修理のお願い

まず本書の「故障かな?と思ったら」をよくお読みのうえ、もう一度お調べください。

それでも異常があるときは、お買い上げの販売店、または最寄りのヤマハ電気音響製品サービス拠点へ本機をご持参ください。

製品の状態は詳しく

修理をご依頼いただくときは、製品名、モデル名などとあわせて、故障の状態をできるだけ詳しくお知らせください。

ヤマハ電気音響製品サービス拠点 (修理受付および修理品お持ち込み窓口)

北海道サービスセンター	〒064-0810	札幌市中央区南10条西1-1-50 ヤマハセンター内 TEL. 011-512-6108
仙台サービスセンター	〒984-0015	仙台市若林区卸町5-7 仙台卸商共同配送センター3F TEL. 022-236-0249
首都圏サービスセンター	〒211-0025	川崎市中原区木月1184 TEL. 044-434-3100
東京サービスステーション* (*お持ち込み修理のみお取り扱い)	〒108-8568	東京都港区高輪2-17-11 TEL. 03-5488-6625
浜松サービスセンター	〒435-0048	浜松市上西町911 ヤマハ(株)宮竹工場内 TEL. 053-465-6711
名古屋サービスセンター	〒454-0058	名古屋市中川区玉川町2-1-2 ヤマハ(株)名古屋流通センター3F TEL. 052-652-2230
大阪サービスセンター	〒565-0803	吹田市新芦屋下1-16 ヤマハ(株)千里丘センター内 TEL. 06-877-5262
四国サービスステーション	〒760-0029	高松市丸亀町8-7 ヤマハ(株)高松店内 TEL. 0878-22-3045
広島サービスセンター	〒731-0113	広島市安佐南区西原6-14-14 TEL. 082-874-3787
九州サービスセンター	〒812-8508	福岡市博多区博多駅前2-11-4 TEL. 092-472-2134
[本社 カスタマーサービス部	〒435-0048	浜松市上西町911ヤマハ(株)宮竹工場内 TEL. 053-465-1158

ポータブル楽器に関するお問い合わせ窓口

ポータブル楽器インフォメーションセンター

〒430-8650 静岡県浜松市中沢町10-1 TEL. 053-460-1696

受付日 月曜日～金曜日(祝日およびセンターの休業日を除く)

受付時間 10:00～12:00 / 13:00～17:00

電子楽器営業部	〒108-8568	東京都港区高輪2-17-11 TEL. 03-5488-6641
ポータブル楽器営業課	〒064-0810	札幌市中央区南10条西1-1-50 ヤマハセンター内 TEL. 011-512-6113
北海道支店 第二営業課	〒980-0804	仙台市青葉区大町2-2-10 住友生命仙台青葉通ビル TEL. 022-222-6147
仙台支店 第二営業課	〒108-8568	東京都港区高輪2-17-11 TEL. 03-5488-5476
東京支店 第二営業部 企画課	〒108-8568	東京都港区高輪2-17-11 TEL. 03-5488-1688
関東支店 第二営業課	〒460-8588	名古屋市中区錦1-18-28 TEL. 052-201-5199
名古屋支店 第二営業課	〒542-0081	大阪市中央区南船場3-12-9 心齋橋プラザビル東館 TEL. 06-252-7491
大阪支店 第二営業部 第二営業課	〒730-0031	広島市中区紙屋町1-1-18 TEL. 082-244-3749
広島支店 第二営業課	〒812-8508	福岡市博多区博多駅前2-11-4 TEL. 092-472-2130
九州支店 第二営業課		

住所および電話番号は変更になる場合があります。

インターネットホームページのご案内

製品等に関する情報をホームページ上でご案内しております。ご参照下さい。

ヤマハ株式会社のホームページ <http://www.yamaha.co.jp/>

メ 毛





ヤマハ株式会社

M.D.G., EMI Division © 1997 Yamaha Corporation

VV67420 709PO-02B0 Printed in China